

2016 年 10 月分新聞書評



プリズン・ブック・クラブ〜コリンズ・ベイ刑務所読書会の一年〜

アン・ウォームズリー 著

紀伊國屋書店出版部

カナダで雑誌記者をしている著者が刑務所の読書会に一年間、ボランティアとして参加した記録。みずからの経験を背負いつつ、さまざまな意見を率直にぶつけていく受刑者たちの、熱気あふれるやりとりを生き生きと描き出す。

2016:8./ 445p

978-4-314-01142-6

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2016/10/01、日本経済新聞 2016/10/23



光学(岩波文庫 青 904-1)

ニュートン、島尾 永康 著

岩波書店

ニュートン(1642-1727)は力学や数学と同じように、いやそれにも増して光学の研究に前人未踏の分野をきりひらいた。本書はその集大成であり、太陽の白色光が屈折率を異にする色光の複合から成ることを発見した実験をはじめ光の干渉・回折などを臨場感いっぱい記述する。

1983:11./ 406p

978-4-00-339041-2

本体 ¥960+税



産経新聞 2016/10/02



ロウソクの科学 改版(角川文庫 フ 11-1)

ファラデー 著

角川書店

たった一本のロウソクをめくりながら、ファラデーはその種類、製法、燃焼、生成物質を語ることによって、自然との深い交わりを伝える。大科学者 18 世紀のファラデーの講演記録。

2012:6./ 206p

978-4-04-100284-1

本体 ¥520+税



産経新聞 2016/10/02



いいわけサウルス

絵本館

「家を出ようとしたら犬がくつをどこかに隠した」「学校へ来る途中、大きなカラスがぼうしを持って行ってしまった」…。何かといいわけが多いたかしくん。すると、なんということでしょう!たかしくんの体に異変が…。

2016:3./ 32p

978-4-87110-336-7

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/10/02



海の家族

石原 慎太郎 著

文藝春秋

死地から生還した人間たちのその後の運命とは 試合相手を殺めたキックボクサー。海難を生き延びた兄弟。特攻の生き残り。地獄を見て変容する人生を描く五篇。石原文学の新境地。

2016:7./ 189p

978-4-16-390488-7

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/10/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、資料 No.、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2016 年 11 月時点での税抜価格です。



沖縄両論～誰も訊かなかった米軍基地問題～

月刊フォーNET「沖縄両論」取材班 編

メディア・パル

なぜ、基地問題はかくも泥沼化したのか。「沖縄戦、祖国復帰」「日米関係」「日米安保」などのテーマごとに、基地反対・容認それぞれの考えや思いをまとめる。沖縄問題の本質に迫るインタビュー集。

2016:9./ 430p

978-4-8021-3032-5

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2016/10/02



邪馬台国は熊本にあった!～「魏志倭人伝」後世改ざん説で見る邪馬台国～ (扶桑社新書 219)

伊藤 雅文 著

扶桑社

いったい邪馬台国はどこにあったのだろうか。「魏志倭人伝」後世改ざん説を糸口に、記述に現れる国々の位置を比定(=比較して推定)。邪馬台国への道を解き明かす。「魏志倭人伝」全文も掲載。

2016:9./ 309p

978-4-594-07543-9

本体 ¥820+税



産経新聞 2016/10/02



不平等論～格差は悪なのか?～

ハリー・G.フランクファート 著

筑摩書房

世界中で深刻化する格差問題。しかし、不平等それ自体が本当に問題なのか?平等主義が隠してしまった最も重要なものとは?訳者による決定版・格差議論解説付。

2016:9./ 146p

978-4-480-84311-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/10/02



神武天皇はたしかに存在した～神話と伝承を訪ねて～

産経新聞取材班 著

産経新聞出版

現代日本は「神武東征」から始まった!神武天皇が日向・高千穂宮から東征の旅に出て、大和・白橿原宮(橿原宮)に着くまでの足跡を、記紀に基づいて追体験する。地図、写真も多数掲載。『産経新聞』連載に加筆し書籍化。

2016:8./ 294p

978-4-8191-1289-5

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/02



花は散るものは死ぬもの

長嶋南子 著

花神社

産経新聞 2016/10/02

2016:1.

978-4-7602-2054-0

本体 ¥1,500+税



交わらないから面白い日韓の常識(祥伝社新書 480)

前川 恵司 著

祥伝社

国交正常化 50 年を経ても、韓国との溝は未だ埋まらない。元朝日新聞ソウル特派員が、日韓の違いを学校教育、食文化、旅文化といった身近な事柄から探り、消えない「反日感情」の秘密に迫る。

2016:9./ 290p

978-4-396-11480-0

本体 ¥840+税



産経新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/02



あたらしい名前

ノヴァイオレット・ブラワヨ 著

早川書房

ジンバブエの少女ダーリンは、暴力的でもろい世界のなかで成長していく。ジュノ・ディアスが絶賛した新人作家のデビュー作がついに登場。ブッカー賞最終候補作、PEN／ヘミングウェイ賞受賞作

2016:7./ 317p

978-4-15-209624-1

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/23



一流の睡眠～「MBA×コンサルタント」の医師が教える快眠戦略～

裴 英洙 著

ダイヤモンド社

誰でも今日から実践でき、最短で常に一定以上のパフォーマンスを出し続ける「一流の人」に近づくための最強スキル「睡眠」。医学的根拠と事例に基づく 32 の快眠術を、医師とビジネスパーソン両方の視点から紹介する。

2016:8./ 190p

978-4-478-06728-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/08



不機嫌な姫とブルックナー団

高原 英理 著

講談社

図書館の非正規職員として働くゆたきは、コンサート会場で「ブルックナー団」と名乗るオタク 3 人組に声をかけられ…。今も昔もうまく生きられない男女を可笑しくも温かく描く、書き下ろし小説。

2016:8./ 167p

978-4-06-220187-2

本体 ¥1,450+税



産経新聞 2016/10/09



酔狂市街戦

戌井 昭人 著

扶桑社

おかかえ運転手に、売れない舞台役者、同じく甲斐性なしのサックス奏者…。しぶとく這い回る底辺男の諧謔と哀歓と正義を描く。表題作ほか全 4 編を収録。『en□taxi』掲載を単行本化。

2016:7./ 168p

978-4-594-07523-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/10/09



沖方丁のこち留～こちら渋谷警察署留置場～

沖方 丁 著

集英社インターナショナル

ベストセラー作家に降りかかった妻への DV 容疑。身に覚えのない嫌疑を晴らすために余儀なくされた 9 日に及ぶ留置場生活。そこから見えてきた日本の刑事司法の問題点と可笑しさを世に問う衝撃の手記。

2016:8./ 222p

978-4-7976-7331-9

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2016/10/09



金魚たちの放課後

河合 二湖 著

小学館

三度目の転校。新しい友だちに案内された不思議な場所は、金魚の畑だった。東京の外れの金魚の街。生き物とつきあうのが苦手な少年や、金魚大好きな少女たちの発見と成長の物語。

2016:9./ 219p

978-4-09-289751-9

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/09



スマホをやめたら生まれ変わった

クリスティーナ・クルック、安部 恵子 著

幻冬舎

31 日間、スマートフォンをオフにし、電子メールを完全にやめた著者の体験を紹介し、テクノロジー中心の生活の意味と、オンラインとオフラインのあり方、ネットワーク社会で生きていくための方法を示す。書き込み欄あり。

2016:9./ 310p

978-4-344-03006-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/09



中国人エリートは日本をめざす～なぜ東大は中国人だらけなのか?～(中公新書 ラクレ 565)

中島 恵 著

中央公論新社

東大・早稲田は留学生の 5 割が中国人!“爆留学”と“爆就職”に的を絞り、中国人の考え方や日本への思い、彼らを受け入れる日本の大学や企業の採用活動と対応、ダイバーシティとの関わりなどについて紹介する。

2016:10./ 238p

978-4-12-150565-1

本体 ¥780+税



産経新聞 2016/10/09



逆転の大中国史～ユーラシアの視点から～

楊 海英 著

文藝春秋

視点を北京から移してみると、歴史は違って見えてくる。ユーラシアの遊牧民の歴史と文明に即して中国史と中華思想を相対化。最新の考古学、文化人類学、言語学を駆使した、まったく新しい視座をあたえる「逆転の大中国史」。

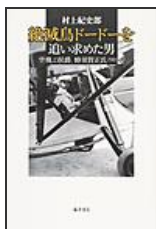
2016:8./ 309p

978-4-16-390506-8

本体 ¥1,550+税



産経新聞 2016/10/09、朝日新聞 2016/10/23



絶滅鳥ドードーを追いかめた男～空飛ぶ侯爵、蜂須賀正氏 1903-53～

村上 紀史郎 著

藤原書店

蜂須賀小六の末裔にして、徳川慶喜の孫、海外では謎の鳥「ドードー」の探究に生涯を捧げた異色の鳥類学者として知られる蜂須賀正氏。国内では奇人扱いを受け、正當に評価されてこなかったその生涯と業績を明らかにする。

2016:7./ 350p

978-4-86578-081-9

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2016/10/09、読売新聞 2016/10/16



熊と踊れ<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-1)

アンデシュ・ルースルンド、ステファン・トゥンベリ 著

早川書房

軍倉庫から銃を盗み出した青年レオは、弟たちとともに、恐るべき連続銀行襲撃を計画する。果たして彼らを待ち受けるものとは……

2016:9./ 561p

978-4-15-182151-6

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2016/10/09、日本経済新聞 2016/10/23



熊と踊れ<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-2)

アンデシュ・ルースルンド、ステファン・トゥンベリ 著

早川書房

緻密かつ大胆な犯行で警察を翻弄し、次々と銀行を襲うレオたち。その暴力の扱い方は少年時代に父から学んだものだった。かつて彼らに何がおこったのか。そして今、父は何を思うのか。実際の事件をモデルにした北欧ミステリ。

2016:9./ 570p

978-4-15-182152-3

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2016/10/09、日本経済新聞 2016/10/23



どんなに体がかたい人でもベターツと開脚できるようになるすごい方法

Eiko 著

サンマーク出版

子どものころから体がかたい人でも大丈夫。わずか「4 週間」程度で「ベターツ」を実現できる開脚プログラムを写真で紹介する。小説「開脚もできないやつが、何かを成せるとするな」も収録。

2016:4./ 181p

978-4-7631-3542-1

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/10/15、朝日新聞 2016/10/30



憲法改正とは何か～アメリカ改憲史から考える～(新潮選書)

阿川 尚之 著

新潮社

「改憲」しても変わらない、「護憲」しても変わってしまう。27 回の正式な改正と、多くの実質的改憲を経てきたアメリカ合衆国憲法の歴史から、立憲主義の意外な側面が見えてくる。日本人の硬直した憲法観を解きほぐす。

2016:5./ 316p

978-4-10-603787-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/16



シベリア抑留～絵画が記録した命と尊厳～

彩流社

冷凍庫より寒い地で、死に至る労働と飢え。人としての尊厳とは? シベリア抑留体験の作品を描き続けた勇崎作衛による 87 枚の作品群やスケッチ、それらに関する文章をまとめる。

2016:7./ 143p

978-4-7791-2250-7

本体 ¥2,300+税



産経新聞 2016/10/16



立原道造の夢みた建築

種田 元晴 著

鹿島出版会

詩人・立原道造の建築家としての思想を解説。自然豊かに描かれた建築図から「田園」を志向する建築観を初めて浮かび上がらせる。

2016:9./ 270p

978-4-306-04643-6

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2016/10/16



砂の果実～80 年代歌謡曲黄金時代疾走の日々～

売野 雅勇 著

朝日新聞出版

フリーのコピーライターだったぼくは、一度も歌詞なんて書いたことがなかった-。「少女 A」「涙のリクエスト」「2 億 4 千万の瞳」など、数々のヒット曲を書いた作詞家が綴る名作誕生秘話と、輝ける時代の物語。

2016:9./ 244p,3p

978-4-02-251407-3

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/10/16



パイルドライバー

長崎 尚志 著

KADOKAWA

15 年の時を経て起きた、一家惨殺事件。謎が解決したと思いきや、新たな謎が……。イマドキの刑事と伝説の元刑事の迷コンビが謎を追う。予想もつかないラストが待ち受ける、衝撃の警察ミステリー！

2016:9./ 318p

978-4-04-104601-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/10/16



バッハ・古楽・チェロ～アンナー・ビルスマは語る～(Books ウト)

加藤 拓未 編

アンナー・ビルスマ、渡邊 順生 著

アルテスパブリッシング

草創期の古楽運動を牽引したバロック・チェロの巨匠と日本を代表するチェンバロ奏者による対話。レオンハルト、ブリュッヘンらとの交友、愛器、バッハほかの音楽論・演奏論を語り尽くす。未発表ライブ CD 付き。

2016:10./ 267p

978-4-86559-148-4

本体 ¥3,800+税



産経新聞 2016/10/16



60年代ポップ少年

亀和田 武 著

小学館

1960年代。私は勉強もせずに、ポップなものだけを追い求めた。60年代を教科書的に叙述した文化史や社会史とはまったく異なるアプローチで、12歳から22歳までのことをつづる。『本の窓』連載を大幅に加筆・修正。

2016:10./ 316p

978-4-09-388471-6

本体 ¥1,650+税



産経新聞 2016/10/16



憂国の芸術～The Art of Passion～

執行 草舟 著

講談社エディトリアル

執行草舟コレクションの根幹を成す思想を語ったインタビュー記事をはじめ、コレクションの代表的な作品を紹介するカラーグラビア、安田靫彦の作品紹介などを収録する。『正論』掲載を書籍化。

2016:9./ 242p

978-4-907514-62-4

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/10/16



人狼知能～だます・見破る・説得する人工知能～

鳥海 不二夫、片上 大輔、大澤 博隆、稲葉 通将、篠田 孝祐、狩野 芳伸 著

森北出版

人間ならではのコミュニケーションが戦略の鍵を握るゲーム「人狼」。人狼をプレイする AI システム「人狼知能」研究の概要および越えるべき課題、そして現状について解説する。人狼ゲームのルールやプレイ方法も紹介。

2016:8./ 7p,152p

978-4-627-85371-3

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2016/10/23



太陽と痛み

ヘスス・カラスコ、轟 志津香 著

早川書房

長い間雨が降らず、強い陽射しで干上がった大地。村を脱走した少年はヤギ飼いの老人と出会う。荒野をともに往く二人。旅路の果てに何が待つか。スペイン文学の気鋭が描く、苦痛と救いの物語。

2016:9./ 228p

978-4-15-209636-4

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/10/23



賢女の極意～人生がきっと変わる!126 の言葉～

林 真理子 著

文藝春秋

30 年超の『週刊文春』の名連載には金言が山を成す。仕事に恋愛に、人生のために。「女友だちはやっぱり美人を選ぶべきである」「女の小ジワというのは、男のハゲに近い」など、林真理子の 126 の言葉を収録する。

2016:10./ 191p

978-4-16-390551-8

本体 ¥630+税



産経新聞 2016/10/23



またおこられてん(童心社のおはなしえほん)

小西 貴士 著

童心社

「かたづけや～」 「またうそついて～」... ぼくがきらいなことだらけやから、かあちゃんがおこりんぼマシーンになってまうんやろか。

2016:9./ 32p

978-4-494-01625-9

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/10/23



御嶽山噴火生還者の証言～あれから 2 年、伝え?ぐ共生への試み～(ヤマケイ新書 YS030)

小川 さゆり 著

山と溪谷社

2014 年 9 月 27 日、剣ヶ峰は一瞬にして生死の境に放り込まれた。御嶽山噴火とはなんだったのか。頂上直下で被災した山岳ガイドが、決死の脱出行とそこから得られた教訓を綴る。照合しながら文が読める折り込み地図付き。

2016:10./ 252p 図版 5

枚

978-4-635-51036-3

本体 ¥880+税



産経新聞 2016/10/23



コクーン

葉真中 顕 著

光文社

1995 年 3 月、カルト教団「シンラ」の信者たちが丸の内で無差別乱射事件を起こす。その宗教は、1958 年ひとりの女が呪われた子を産む決意をした日に始まる...。狂った神のつくった<悪の世界>に挑む長編ミステリー。

2016:10./ 307p

978-4-334-91124-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/10/23



自衛隊幻想～拉致問題から考える安全保障と憲法改正～

荒木 和博、荒谷 卓、伊藤 祐靖、予備役ブルーリボンの会 著

産経新聞出版

おかざりか実力組織か?朝鮮半島有事に働けるか?自衛官 OB と予備自衛官らが、現行憲法でできることと改正憲法でできることを語り、日本のリアリティの欠如を指摘する。拉致被害者救出シミュレーションも収録。

2016:10./ 221p

978-4-8191-1292-5

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2016/10/23



まわり舞台の上で 荒木一郎

文遊社編集部 編

荒木 一郎 著

文遊社

「空に星があるように」「今夜は踊ろう」「いとしのマックス」など数々のヒットを放ったシンガー・ソングライター、個性派俳優、小説家...。自在に越境する奇才・荒木一郎が、その活動の軌跡と人生の明暗を語る。

2016:10./ 562p 図版 24p

978-4-89257-120-6

本体 ¥3,200+税



産経新聞 2016/10/23



罪喰い(P+D BOOKS)

赤江 瀑 著

小学館

<罪喰い>という魔の言葉に取り憑かれた新進建築家の彷徨を描く表題作、一年中花の香りが絶えることのない妖かしの庭に魅せられた若い庭師を描く「花夜叉殺し」など全 6 編を収録した、赤江瀑初期の代表短編集。

2016:8./ 389p

978-4-09-352277-9

本体 ¥600+税



産経新聞 2016/10/29



やきそばばんばん

はらぺこめがね 著

あかね書房

やきそばを作っていたおばあさんが、やきそばを置いてどこかへ行ってしまった。そこへ、コックさんやカレー屋さん、音楽家に旅人がやってきて、やきそば作りに手を出して…。いったいどうなっちゃうの!?

2016:7./ 31p

978-4-251-09893-1

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/10/30



「海道東征」への道

新保 祐司 著

藤原書店

封印されていた交声曲「海道東征」は、なぜ復活したのか。東日本大震災に直面し「戦後日本」が根底から揺るがされた戦後 60 年から 70 年の 10 年間における、日本社会の精神的考察を集成する。『産経新聞』連載を書籍化。

2016:8./ 324p

978-4-86578-086-4

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2016/10/30



競馬の世界史～サラブレッド誕生から 21 世紀の凱旋門賞まで～(中公新書 2391)

本村 凌二 著

中央公論新社

中東生まれのアラブ馬を始祖とし、イギリスで誕生したサラブレッド。この純血種は欧米から世界中に広まり、20 世紀以降、凱旋門賞をはじめとするビッグレースが創設された。優駿たちが演じたドラマを世界史としてたどる。

2016:8./ 12p,268p

978-4-12-102391-9

本体 ¥840+税



産経新聞 2016/10/30



世界が称賛する国際派日本人

伊勢 雅臣 著

育鵬社

4 千万人を感染症から救ったノーベル賞化学者・大村智。70 歳の誕生日にネパールへ旅立った現代の二宮尊徳・近藤亨…。日本人なら知っておきたい国際派日本人を紹介する。メールマガジンを書籍化。

2016:9./ 261p

978-4-594-07568-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/10/30



白衣の嘘

長岡 弘樹 著

KADOKAWA

あの先生、?をついているかもしれない-。主治医と患者、研修医と指導医...そこには悲哀にみちた人間ドラマがある。予想外の謎を駆使して人間の本性を鮮やかにあぶり出した、傑作ミステリ集。『小説野性時代』掲載を単行本化。

2016:9./ 202p

978-4-04-103731-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/10/30



ぼくのにゃんた

鈴木 康広 著

ブロンズ新社

ゆるくてやさしい、少年とねこのおはなし。ねこのにゃんたは気がつくといつも何かに変身していて…。日常にある身近なものを題材に、遊び心のある作品を発表してきたアーティスト・鈴木康広の初の絵本！

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)

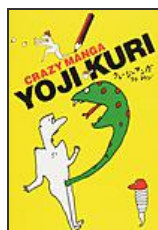
978-4-89309-622-7

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 8 9 3 0 9 6 2 2 7 *

産経新聞 2016/10/30



クレージーマンガ(YUJIKU BOOKS)

クリ ヨウジ 著

ふゅーじょんぶろだくと

神様、蜘蛛の糸、喫煙時代、おばあちゃん、記憶、老人のための試聴室、四角の箱の物語…。アート・アニメの元祖が1年かけて描いた、500ページのマンガ集。折り込み式の表紙の裏に目次とイラストあり。

2016:8./ 511p

978-4-86589-254-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 8 9 2 5 4 3 *

産経新聞 2016/10/30



カルティエ=ブレッソン〜二十世紀写真の言説空間〜

佐々木 悠介 著

水声社

20世紀を代表する写真家は、いかなる言説によって受容されていたのか。写真をとりまく言説分析とイメージ分析のクロスジャンルのアプローチによって新たなカルティエ=ブレッソン像を提示し、20世紀写真史を書き換える。

2016:10./ 390p 図版24p

978-4-8010-0197-8

本体 ¥6,000+税



* 9 7 8 4 8 0 1 0 0 1 9 7 8 *

産経新聞 2016/10/30



マイルス・デイヴィスが語ったすべてのこと〜マイルス・スピークス〜

小川 隆夫 著

河出書房新社

自宅で料理をしながら、ホテルで衣装のチェックをしながら、そして大好きな絵を描きながら…これまで描かれなかったマイルスの素顔。

2016:10./ 373p

978-4-309-27770-7

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 7 7 0 7 *

産経新聞 2016/10/30、毎日新聞 2016/10/30



3月のライオン〜March comes in like a lion〜<1>(JETS COMICS)

羽海野 チカ、先崎 学 著

白泉社

その少年は、幼い頃すべてを失った。夢も家族も居場所も一。この物語は、そんな少年がすべてを取り戻すストーリー。その少年の職業は一やさしさ溢れるラブストーリー。

2008:2./ 1 冊

978-4-592-14511-0

本体 ¥467+税



* 9 7 8 4 5 9 2 1 4 5 1 1 0 *

朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン〜March comes in like a lion〜<2>(JETS COMICS)

羽海野 チカ、先崎 学 著

白泉社

「勝つ理由が無い」といいながら、負けると苦しいのは何故だ。将棋に対して中途半端な自分に悩む零。そんな零の前に、義姉・香子が現れる…。少しずつ、零の過去が明かされる第2巻。

2008:11./ 1 冊

978-4-592-14512-7

本体 ¥486+税



* 9 7 8 4 5 9 2 1 4 5 1 2 7 *

朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<3>(JETS COMICS)

羽海野 チカ、先崎 学 著

白泉社

年末にかけて体調を崩していた桐山零だが、三姉妹の献身的な看病を受けて回復する。復調した桐山は因縁の相手・後藤九段と対決すべく、一層の気合いで獅子王戦挑戦者決定トーナメントに挑むのだが...

2009:8./ 184p

978-4-592-14513-4

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



REMIX～ハイブリッド経済で栄える文化と商業のあり方～

ローレンス・レッシング、山形 浩生 著

翔泳社

ハイブリッド経済が花開く世界に、非効率な規制制度である著作権をいかに適応させればいいのか。ビジネス活動に資するイノベーション面での自由と、非商業的文化活動に資する自由のどちらも許容する知的財産権のあり方を提案。

2010:2./ 297p,20p,5p

978-4-7981-1980-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<4>(JETS COMICS)

羽海野 チカ、先崎 学 著

白泉社

獅子王戦の挑戦者となり、宗谷名人に挑む島田八段。体調不良の島田を気遣い、桐山は一路京都へ向かう。河の流れのように進む優しいラブストーリー。

2010:4./ 147p

978-4-592-14514-1

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<5>(JETS COMICS)

羽海野チカ 著

白泉社

林田先生、二海堂、川本家の三姉妹...。周りの人々の温かさに少しずつ心溶かされ、学校生活・棋士生活の両面で前を向き始める零。しかし、そんな零の心を乱す事件がひなたに振りかかる...

2010:11./ 142p

978-4-592-14515-8

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



氷壁 改版(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

奥穂高に挑んだ小坂乙彦は、切れるはずのないザイルが切れて墜死した一恋愛と男同士の友情がドラマチックにくり広げられる長編。

2002:6./ 633p

978-4-10-106310-2

本体 ¥840+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<6>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

学校で友達をかばったために、いじめに合うひな。周りに負けず戦う彼女のために零はできることを必死に探す。零は元担任の林田先生に「お前にできることを一つずつやりなさい。」と諭され、ひなのために戦うことを誓う。

2011:7./ 1 冊

978-4-592-14516-5

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<7>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

新人王を獲った零だったが、いじめられているヒナのために、自分が何もできないと勝手に思い込んでいた。一方、ヒナは学校で心が折れそうになりながらも、懸命にいじめと戦っていた。

2012:3./ 152p

978-4-592-14517-2

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



「ネットの自由」vs.著作権～TPP は、終わりの始まりなのか～(光文社新書 604)

福井 健策 著

光文社

TPP=環太平洋経済連携協定の参加国間で深刻な対立を招いている分野の代表格は、著作権・特許などの知的財産である。グーグルやアップル等の動向も踏まえながら、情報社会に最適なルールメイクのあり方を考える。

2012:9./ 216p

978-4-334-03707-9

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<8>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

新人王となった零は多くの期待を受け宗谷名人との記念対局に臨むが、宗谷の重大な秘密を知り…。一方、島田八段は棋匠戦で初タイトルをかけ柳原棋匠と死闘を演じる。

2012:12./ 146p

978-4-592-14518-9

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<9>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

高校進学を前に、ひなたは零の通う高校を受験することを決意。零もそんなひなたに勉強を教えながら将棋を指す中で、今の自分にとってひなたの存在がいかに大きいかを自覚し出し…。

2013:9./ 166p

978-4-592-14519-6

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<10>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

零と同じ高校に進学し、充実した日々を送るひなた。3 年になり、やり直した高校生活を自分なりに振り返る零。2 人のもとに思わぬ人物が現れて…。珠玉の第 10 巻!!

2014:11./ 1 冊

978-4-592-14520-2

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<11>(JETS COMICS)

羽海野 チカ 著

白泉社

川本家に自分勝手な提案をする彼女たちの父親・誠二郎に、一步も引かずに渡り合った零。あかり、ひなた、美咲、相米二、川本家の皆が彼の存在の大きさを感じていた…。

2015:9./ 152p

978-4-592-14521-9

本体 ¥486+税



朝日新聞 2016/10/02



怒り<上>(中公文庫 よ 43-2)

吉田 修一 著

中央公論新社

惨殺現場に残された「怒」の血文字。杳として行方の知れない犯人。そして、事件から 1 年後の夏。房総の漁港で暮らす洋平・愛子親子の前に田代が現れ、ゲイの優馬は直人と出会い、女子高生・泉は田中と知り合う…。

2016:1./ 310p

978-4-12-206213-9

本体 ¥600+税



朝日新聞 2016/10/02



怒り<下>(中公文庫 よ 43-3)

吉田 修一 著

中央公論新社

愛子は田代から秘密を打ち明けられ、疑いを持った優馬の前から直人が消え、泉は田中が暮らす無人島である発見をする。整形をして逃亡を続ける、殺人事件の犯人はどこにいるのか?犯人を追う刑事が見た衝撃の結末とは!

2016:1./ 279p

978-4-12-206214-6

本体 ¥600+税



朝日新聞 2016/10/02



日本の著作権はなぜもっと厳しくなるのか

山田 奨治 著

人文書院

米国からの年次改革要望書、フェアユース、違法ダウンロード刑事罰化、ACTA、TPP、五輪エンブレム問題…。国会議員の言動、彼らを動かした人々、米国政府の意向に焦点を当て、知的財産・著作権問題の核心に迫る。

2016:4./ 202p

978-4-409-24108-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/02



パルプ(ちくま文庫 ふ 50-1)

チャールズ・ブコウスキー 著

筑摩書房

人生に見放され、酒と女に取り憑かれた超ダメ探偵が次々と奇妙な事件に巻き込まれる。伝説的カルト作家の遺作、待望の復刊!

2016:6./ 325p

978-4-480-43347-3

本体 ¥840+税



朝日新聞 2016/10/02



ウルトラQの精神史(フィギュール彩 64)

小野 俊太郎 著

彩流社

1966 年に放映が始まった「ウルトラ Q」全 28 話を、主題や関連する特徴別に「戦後社会を破壊する力」「日本にやってくる怪獣たち」「見慣れぬ怪物へと変貌する」の 3 部に分け、「Q」が描いた戦後日本を独自に解説する。

2016:7./ 233p

978-4-7791-7070-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/02



丸山真男回顧談～定本～<上>(岩波現代文庫)

松沢 弘陽、植手 通有、平石 直昭 編

丸山 真男 著

岩波書店

政治思想家・丸山真男が、自らの生涯を語りおろした回顧談。昭和史の一断面を生き生きと伝える貴重な証言。上は、生い立ちから敗戦前後までを収録。読解を助ける詳細な注・補注も添える。

2016:7./ 8p,404p

978-4-00-600351-7

本体 ¥1,480+税



朝日新聞 2016/10/02



自治体がひらく日本の移民政策～人口減少時代の多文化共生への挑戦～

毛受 敏浩 著

明石書店

外国人との共生を通じて日本社会の刷新を図るにはどうすればよいのか。外国人を受け入れる移民政策について、自治体の役割に焦点を当て、草の根の視点から考え、日本の将来を展望する。

2016:7./ 231p

978-4-7503-4365-5

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/10/02



光炎の人<上>

木内 昇 著

KADOKAWA

日露戦争の行方に国内の関心が集まっていたころ。徳島の貧しい農家に生まれた少年は、電気の可能性に魅せられていた。電気は必ず世を変えるという確信を胸に、少年は大阪へ渡る決心をする…。『小説野性時代』連載を単行本化。

2016:8./ 399p

978-4-04-110145-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/02



光炎の人<下>

木内 昇 著

KADOKAWA

大阪の工場ですべてを技術開発に捧げた音三郎は、製品化という大きなチャンスを手にする。だが、それは無惨にも打ち砕かれてしまう。東京へ移った彼は、無線開発の分野で頭角をあらわすが…。『小説野性時代』連載を単行本化。

2016:8./ 379p

978-4-04-104194-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/02



丸山眞男回顧談～定本～<下>(岩波現代文庫)

丸山 眞男、平石 直昭 編

丸山 眞男 著

岩波書店

政治思想家・丸山眞男が、自らの生涯を語りおろした回顧談。昭和史の一断面を生き生きと伝える貴重な証言。下は、戦後の激動期の社会・思想状況、60 年安保、東大辞職などを収録。読解を助ける詳細な注・補注も添える。

2016:8./ 8p,355p,13p

978-4-00-600352-4

本体 ¥1,420+税



朝日新聞 2016/10/02



うそつきの娘～妖怪の子預かります 2～(創元推理文庫 F 11 2-2)

廣嶋 玲子 著

東京創元社

正式に妖怪の子預かり屋となった弥助だったが、妖怪の子供たちが行方不明になる事件が発生。探しにいった弥助は、一人の少女に出会うが……。お江戸妖怪ファンタジー第二弾。

2016:8./ 278p

978-4-488-56503-9

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/10/02



女帝の名のもとに～ファースト・コンタクト～<上>(ハヤカワ文庫 SF 2086)

マイケル・R.ヒックス 著

早川書房

銀河系に版図を広げた人類は、高度な軍隊を持った女性異星種族クリーンと遭遇する！

2016:8./ 345p

978-4-15-012086-3

本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/10/02



女帝の名のもとに～ファースト・コンタクト～<下>(ハヤカワ文庫 SF 2087)
マイケル・R.ヒックス 著
早川書房
高度な軍事力を有する女性異星種族クリーランに宣戦布告された人類は……。大型戦争 SF 開幕！

2016:8./ 351p
978-4-15-012087-0
本体 ¥900+税
* 9 7 8 4 1 5 0 1 2 0 8 7 0 *

朝日新聞 2016/10/02



マイナス金利政策～3次元金融緩和の効果と限界～
岩田 一政、左三川 郁子、日本経済研究センター 著
日本経済新聞出版社
賛否両論が渦巻く歴史的な大実験、マイナス金利政策。経済、マーケットへの影響は？ 副作用は？ 長期停滞論、ヘリコプター・マネー論も交え、マイナス金利政策の効果を徹底検証する。

2016:8./ 405p
978-4-532-35704-7
本体 ¥2,800+税
* 9 7 8 4 5 3 2 3 5 7 0 4 7 *

朝日新聞 2016/10/02



漂うまに島に着き
内澤 旬子 著
朝日新聞出版
乳がん治療の果てに離婚し、香川県の小豆島に移住を決めた著者。引っ越しを終えてからの折々の心境の変化をつづった地方移住?末記。折り込み地図付き。『一冊の本』掲載「流れるまに島に着き」を改題し加筆修正して書籍化。

2016:8./ 266p
978-4-02-251403-5
本体 ¥1,500+税
* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 4 0 3 5 *

朝日新聞 2016/10/02



3月のライオン～March comes in like a lion～<12>(YOUNG ANIMAL COMICS)
羽海野 チカ 著
白泉社
藤本雷堂対土橋健司、桐山零対滑川臨也の対局は激戦を極めて...!?あかり、ひなた、島田、二海堂、林田先生も活躍の最新刊!!

2016:9./ 152p
978-4-592-14522-6
本体 ¥486+税
* 9 7 8 4 5 9 2 1 4 5 2 2 6 *

朝日新聞 2016/10/02



ヒト～異端のサルの1億年～(中公新書 2390)
島 泰三 著
中央公論新社
華奢な骨格と裸の皮膚、巨大脳をもつ、異端なサル=現代人は、いつ、どこで生まれたのか。そして日本人の祖先はどこからやってきて、どこに行こうとしているのか。サルから日本人へのはるかな足跡を追う。

2016:8./ 2p,290p
978-4-12-102390-2
本体 ¥920+税
* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 3 9 0 2 *

朝日新聞 2016/10/02



桐谷さん ちょっとそれ食うんすか!?(Action Comics)
ぼんとごたんだ 著
双葉社
男女問わず学校で人気を集める桐谷さん。一見普通の見目麗しい女子高生に比べて、人と比べて変わっているところが.....それは、食に対する好奇心が強すぎる!学校のウサギや道端の鳥にまで好奇の目を向ける彼女。

2016:9.
978-4-575-84847-2
本体 ¥620+税
* 9 7 8 4 5 7 5 8 4 8 4 7 2 *

朝日新聞 2016/10/02



村上春樹はノーベル賞をとれるのか?(光文社新書 840)

川村 湊 著

光文社

毎年世間をにぎわす、村上春樹とノーベル文学賞。村上文学は世界文学たり得るのか?ノーベル文学賞の歴史や傾向と対策などのトピックを交えながら、世界文学に「村上春樹」と「ノーベル文学賞」から切り込む。

2016:9./ 259p

978-4-334-03943-1

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/10/02



鉱山(ヤマ)のビッグバンド

小田 豊二 著

白水社

昭和 30 年代、好景気に沸き返っていた飛騨・三井金属の鉱山労働者たちが結成した玄人はだしの楽団が巻き起こす、笑いと涙の感動物語。

2016:7./ 253p

978-4-560-09260-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/02



都市と地方をかきまぜる〜「食べる通信」の奇跡〜(光文社新書 833)

高橋 博之 著

光文社

タブロイド紙と野菜や魚などの生産物をセットで届ける「東北食べる通信」。その名物編集長が、「都市」と「地方」を切り口に、これからの農業・漁業、地域経済、消費のあり方、情報社会における生き方までを語り尽くす。

2016:8./ 230p

978-4-334-03936-3

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/23



同時通訳はやめられない(平凡社新書 822)

袖川 裕美 著

平凡社

機械のように右から左へと言葉を変換していると思われがちな同時通訳者。その知られざる世界、格闘する日々をユーモラスに描く。

2016:8./ 230p

978-4-582-85822-8

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/10/02、日本経済新聞 2016/10/09



鳥獣害〜動物たちと、どう向きあうか〜(岩波新書 新赤版 1618)

祖田 修 著

岩波書店

クマ、シカ、サルなどによる鳥獣害が急増している。田畑を荒らして経済的な損失を与え、時には人を襲うことも。近年は都市部にも現れる。なぜ増えたのか。各地の対策は。農業経済の研究者が、自ら田畑を耕すなかで考察する。

2016:8./ 8p,212p,7p

978-4-00-431618-3

本体 ¥820+税



朝日新聞 2016/10/02、毎日新聞 2016/10/16



日本語のために(日本文学全集 30)

河出書房新社

日本文学の定義は日本語で書かれていることである。言語と文学の関係を明らかにするための実例と日本語論を幅広く集め、豊饒の由来を明らかにする。

2016:8./ 524p

978-4-309-72900-8

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2016/10/02、毎日新聞 2016/10/30



鏡花夢幻～泉鏡花/原作より～(白泉社文庫)

泉 鏡花、波津 彬子 著

白泉社

播州姫路・白鷺城の見事で優美な大天守。人が踏み入る事のない最上部には美しい魔が棲むという。『天守物語』他、『夜叉ヶ池』『海神別荘』泉鏡花の三大戯曲の夢幻的世界を流麗に描いた傑作集。

2000:6./ 238p

978-4-592-88337-1

本体 ¥524+税



朝日新聞 2016/10/09



老人のための残酷童話(講談社文庫)

倉橋 由美子 著

講談社

昔話の裏側にある摩訶不思議な世界。「姥捨山(うばすてやま)」や、織女(おりひめ)と牽牛(けんぎゅう)の「天の川」といった、有名な昔話をベースにしながらも、独特の解釈で綴られた 10 の物語。

2006:6./ 233p

978-4-06-275421-7

本体 ¥467+税



朝日新聞 2016/10/09



戦後日本外交の証言～日本はこうして再生した～<上>

下田武三、永野信利 著

行研

朝日新聞 2016/10/09

1984:8./ 294p

978-4-905786-34-4

本体 ¥1,700+税



下田武三戦後日本外交の証言～日本はこうして再生した～<下>

下田武三、永野信利 著

行研

朝日新聞 2016/10/09

1985:4./ 345p

978-4-905786-44-3

本体 ¥1,700+税



海神別荘～他二篇～(岩波文庫 緑 27-15)

泉 鏡花 著

岩波書店

美女「ここは極楽でございますか」。公子「ははは、そんな処と一所にされて堪るものか。おい、女の行く極楽に男はおらんぞ。男の行く極楽に女はいない」。「山吹」「多神教」を併収。

1994:4./ 159p

978-4-00-312715-5

本体 ¥460+税



朝日新聞 2016/10/09



日ソ国交回復秘録～北方領土交渉の真実～(朝日選書 892)

松本 俊一 著

朝日新聞出版

1955?56 年、日ソ国交正常化交渉の最前線に立った「日本側全権」松本俊一が詳細なメモをもとに「発端」から「共同宣言成立」まで、交渉の知られざる舞台裏を明かす。「日ソ交渉日誌」など貴重な史料も多数収録。

2012:8./ 305p

978-4-02-259992-6

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/09



松山俊太郎蓮の宇宙

松山 俊太郎、安藤 礼二 編

松山 俊太郎 著

太田出版

インド、法華経、ボードレール、そして蓮-。無限をおそれぬ探求の果てに、独自の学問を築き上げた伝説の碩学、松山俊太郎。生涯をかけて磨き上げた思索の集大成。

2016:8./ 511p

978-4-7783-1491-0

本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2016/10/09



クレムリン〜赤い城塞の歴史〜<上>

キャサリン・メリデール、松島 芳彦 著

白水社

神話と伝説を宿した、今なおロシアの心臓部を探る。中世から現代まで、権力と民衆、戦争と革命、建築と美術など、陰影豊かに描く通史。

2016:8./ 255p,36p

978-4-560-09504-1

本体 ¥2,900+税



朝日新聞 2016/10/09



クレムリン〜赤い城塞の歴史〜<下>

キャサリン・メリデール、松島 芳彦 著

白水社

神話と伝説を宿した、今なおロシアの心臓部を探る。中世から現代まで、権力と民衆、戦争と革命、建築と美術など、陰影豊かに描く通史。

2016:8./ 267p,74p

978-4-560-09505-8

本体 ¥2,900+税



朝日新聞 2016/10/09



強父論

阿川 佐和子 著

文藝春秋

没後一年、前代未聞の追悼本 瞬間湯沸器だった弘之氏に罵倒されること何千回。でも、時にはユーモラスな一面も。故人をまったく讀めない(!)「父と娘」の記録。

2016:7./ 268p

978-4-16-390491-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/10/09



原爆ドーム〜物産陳列館から広島平和記念碑へ〜(歴史文化ライブラリー 431)

額原 澄子 著

吉川弘文館

原爆ドームとは何かを、その前史とともに捉え直す。近代化の歩みの中で建設された広島県物産陳列館。原爆投下で廃墟となり、凄絶な悲劇を伝えながら、核廃絶希求の象徴として世界遺産に登録されるまでの歴史を追う。

2016:8./ 5p,227p

978-4-642-05831-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/10/09



YOKAI NO SHIMA〜日本の祝祭-万物に宿る神々の仮装〜

シャルル・フレジュ 著

青幻舎

日本列島において古くから行われ受け継がれてきた、五穀豊穡や子孫繁栄を願う祭りや年中行事。フランス人写真家が、全国 58 カ所の祭りや年中行事に出現する仮面や装束、キャラクターを取材し、写真とともに紹介する。

2016:6./ 255p

978-4-86152-529-2

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2016/10/09



近代科学のリロケーション～南アジアとヨーロッパにおける知の循環と構築～

カピル・ラジ、水谷 智、水井 万里子、大澤 広晃 著

名古屋大学出版会

西洋中心でもなく、地域主義でもなく。帝国のネットワークにおける移動・循環の中で科学が共同構築される現場を描き出す画期的な書。

2016/7./ 6p,229p,79p

978-4-8158-0841-9

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2016/10/09



14歳のための宇宙授業～相対論と量子論のはなし～

佐治 晴夫 著

春秋社

自然の美、神話や伝説の謎、先人のひらめきなど、多彩な話題をちりばめながらこのすばらしい世界を記述する先端の科学理論＝相対性理論と量子論を楽しくわかりやすく語る！

2016/7./ 11p,289p

978-4-393-36062-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/09



ドキュメント北方領土問題の内幕～クレムリン・東京・ワシントン～(筑摩選書 0135)

若宮 啓文 著

筑摩書房

外交は武器なき戦いである。米ソの暗闘と国内での権力闘争を背景に、日本の国連加盟と抑留者の帰国を実現した日ソ交渉の全貌を新資料を元に描く。解説_駒木一義

2016/8./ 396p

978-4-480-01640-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/09



五味太郎絵本図録

五味 太郎 著

青幻舎

人気・作品数ともに日本一の絵本作家・五味太郎が、エポックメイキングと呼べる自作 50 タイトルの創作をじっくり解説した、はじめての一冊。絶版含む全書影やアトリエのグラビアも収録。

2016/7./ 218p

978-4-86152-523-0

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2016/10/09



はじめての森田療法(講談社現代新書 2385)

北西 憲二 著

講談社

悩むことは自然なこと。「あるがまま」で生きていく。森田療法の成り立ちや考え方から現在の治療の実際までを、名医が分かりやすく解説。悩みから抜け出すためのアイデアや実践のヒントが詰まった、入門書として最適の一冊。

2016/8./ 212p

978-4-06-288385-6

本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/10/09



ハーバード数学科のデータサイエンティストが明かすビッグデータの残酷な現実～ネットの密かな行動から、私たちの何がわかってしまったのか?～

クリスチャン・ラダー、矢羽野 薫 著

ダイヤモンド社

秘めた願望、恋愛、性的指向、容姿、偏見…。ハーバード大学の数学科を卒業後、4 人の仲間とていっしょに出会いサイトを創業した著者が、男女関係のビッグデータから、普段は目にすることができない人間の本質をあぶり出す。

2016/8./ 277p

978-4-478-02299-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/09



現代ゲーム全史～文明の遊戯史観から～

中川 大地 著

早川書房

スペースインベーダー、ファミコン、ドラクエ、FF、プレステ、ポケモン、Wii、パズドラ、ingress まで、時代を画したあらゆるデジタルゲームから分析する、画期的な現代文明論 1000 枚。

2016:8./ 570p

978-4-15-209635-7

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2016/10/09



ホスピスからの贈り物～イタリア発、アートとケアの物語～(ちくま新書 1209)

横川 善正 著

筑摩書房

もてなしのアートに満ちているイタリアのホスピス。その美的精神と、ケアの思想を掘り下げて紹介。終末期ケアのあるべき姿を描き出す。

2016:9./ 318p

978-4-480-06917-7

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/10/09



ロレンザッチョ(光文社古典新訳文庫 KA ミ 1-1)

ミュッセ 著

光文社

メディチ家の暴君アレクサンドル。その放蕩の手先となり腹心を装いつつ主君の暗殺を企てる従弟ロレンゾ。アレクサンドルの恋を利用し権力を握ろうとするチーボ枢機卿…。『メディチ家暗殺事件』を描いた傑作戯曲の完全版新訳。

2016:8./ 409p

978-4-334-75336-8

本体 ¥1,160+税



朝日新聞 2016/10/09



企画展がなくても楽しめるすごい美術館(ベスト新書 527)

藤田 令伊 著

ベストセラーズ

所蔵品に、建築に、作家性に感動!一度は見たい名品のある美術館、建築や庭が見事な美術館、スペシャルな個性が際立つ美術館など、「企画展がなくても楽しめる」すごい美術館 60 館を厳選し紹介します。

2016:8./ 221p

978-4-584-12527-4

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/10/09



短篇五芒星(講談社文庫 ま 49-11)

舞城 王太郎 著

講談社

怒り、悲しみ、喜び、涙する…。舞城文学のすべてを収めた短篇集。「美しい馬の地」「アユの嫁」「バーベル・ザ・バーバリアン」ほか全 5 篇を収録。

2016:9./ 179p

978-4-06-293499-2

本体 ¥580+税



朝日新聞 2016/10/09



ゲレクシス<1>(イブニング KC)

古谷 実 著

講談社

バウムクーヘン職人・大西たつみは四十路にして初恋に落ちる。だが、その恋の行方は、文字通り迷宮入りに。次々に大西に降りかかる説明不可能な不自然現象。翻弄に次ぐ翻弄で、もはや大西は人とは呼べない存在に。

2016:9./ 176p

978-4-06-354637-8

本体 ¥590+税



朝日新聞 2016/10/09



論理パラドクス～論証力を磨く99問～(二見文庫)

三浦 俊彦 著

二見書房

ありふれた常識とありがちな直感を疑え!哲学・論理学の問題を使って、徹底的にロジカルセンスを鍛える画期的なテキスト。「?つきのパラドクス」「ニワトリか卵か」「確証バイアス」「囚人のジレンマ」など全 99 問を収録。

2016:9./ 245p

978-4-576-16135-8

本体 ¥700+税



朝日新聞 2016/10/09



すべての見えない光(CREST BOOKS)

アンソニー・ドーア、藤井 光 著

新潮社

ドイツの若い通信兵と、フランスの盲目の少女の心を?いだしたのは、ラジオから流れる懐かしい声だった。ピューリッツァー賞受賞の傑作長篇。

2016:8./ 526p

978-4-10-590129-5

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/10/09、産経新聞 2016/10/23



問題は英国ではない、EUなのだ～21世紀の新・国家論～(文春新書 1093)

エマニュエル・トッド 著

文藝春秋

英国 EU 離脱とトランプ旋風は、グローバリズムの終焉と「国家」への回帰を意味する。「ソ連崩壊」「アラブの春」など、数々の「予言」を的中させた歴史家が、その独自の分析の秘訣を明かし、混迷する世界の未来を語る。

2016:9./ 254p

978-4-16-661093-8

本体 ¥830+税



朝日新聞 2016/10/09、東京・中日新聞 2016/10/30



やり抜く力～人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける～

アンジェラ・ダックワース 著

ダイヤモンド社

ビジネスリーダー、エリート学者、オリンピック選手...成功者の共通点は才能ではなく「やり抜く力」だった!ハーバード×オックスフォード×マッキンゼーの心理学者が解明した究極の能力「やり抜く力」を伸ばす方法を解説。

2016:9./ 374p

978-4-478-06480-1

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/09、読売新聞 2016/10/30、日本経済新聞 2016/10/30



ビッグ・オーとの出会い～続ぼくを探しに～

S シルヴァスタイン 著

講談社

探しものは何ですか。ビッグ・オーに出会いましたか。『ぼくを探しに』に続く、大人の童話 Part2。おとなを演じるのが上手な人、下手な人……。誰もが「童心」を道連れに旅をする。

1982:7./ 102p

978-4-06-113322-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/16



その後の不自由～「嵐」のあとを生きる人たち～(シリーズケアをひらく)

上岡 陽江、大嶋 栄子 著

医学書院

暴力をはじめとする理不尽な体験そのものを生き延びたその後、今度は生きつづけるためにさまざまな不自由を抱える人たちの現実を描く。「普通の生活」の有り難さをめぐる当事者研究の最前線。

2010:9./ 261p

978-4-260-01187-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2016/10/16



ベトナム戦記(朝日文庫)

開高健、秋元啓一 著

朝日新聞出版

戦場の真つ只中に飛び込み、裸形の人間たちを凝視しながらルポルタージュしたサイゴン通信。

1990:10./ 300p

978-4-02-260607-5

本体 ¥620+税



朝日新聞 2016/10/16



介助者たちは、どう生きていくのか～障害者の地域自立生活と介助という営み～

渡邊 琢 著

生活書院

障害者の地域生活に根ざした介助という営み、その歴史と現状をつぶさに見つめつつ、「介助で食っていくこと」をめぐる問題群に当事者が正面から向き合った書。

2011:2./ 420p

978-4-903690-67-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2016/10/16



障害者殺しの思想 増補新装版

横田 弘 著

現代書館

身体に障害を持つ人間と、健康な肉体を持つとされている人達との共有する世界の可能性はあるのか。日本脳性マヒ者協会「青い芝の会」の行動綱領を起草し、健全者社会に対する鮮烈な批判を展開した横田弘の 70 年代の思索。

2015:6./ 254p

978-4-7684-3542-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/10/16



第三帝国(ボラーニョ・コレクション)

ロベルト・ボラーニョ 著

白水社

ドイツ人青年が恋人とカタルーニャの浜辺で過ごす奇妙な休暇。『野生の探偵たち』『2666』に連なる、没後に発見された異色の長篇。

2016:8./ 404p

978-4-560-09267-5

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2016/10/16



さんねんないきもの事典～おもしろい!進化のふしぎ～

今泉 忠明、下間 文恵、徳永 明子、かわむら ふゆみ 著

高橋書店

「クジャクの羽は長すぎてじゃま」「サイの角はただのいぼ」「イルカは眠るとおぼれる」…。進化の結果、なぜかちよつと残念な感じになってしまった生き物たちを、楽しいイラストとともに紹介する。

2016:5./ 175p

978-4-471-10364-4

本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/10/16



唐牛伝～敗者の戦後漂流～

佐野 眞一 著

小学館

なぜ彼は、何者かになることを拒否したのか。多くの若者を熱狂させた 60 年安保のカリスマ、全学連元委員長・唐牛健太郎。その 47 年の軌跡をたどる。『週刊ポスト』連載を改稿・加筆し単行本化。

2016:7./ 395p

978-4-09-389767-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/16



民主主義の内なる敵

ツヴェタン・トドロフ 著

みすず書房

民主主義の危機は外部(ファシズムや共産主義)から来るのではない。進歩、自由、人民というリベラルな理念が内なる敵を生み出す。フランス思想界の大御所による、新たな多元主義と民主主義の再生へ向けた現代政治文化論。

2016:7./ 246p,4p

978-4-622-08512-6

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2016/10/16



学術書の編集者

橘 宗吾 著

慶應義塾大学出版会

名古屋大学出版会の編集長として学術書出版の編集に携わる中で著者が出くわした問題についてまとめたもの。学術書や編集一般から、企画・審査・助成、出版活動と「地方」との関わり方などについて実践的に語る。

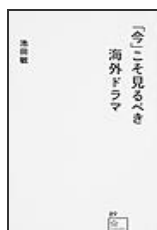
2016:7./ 6p,198p,7p

978-4-7664-2352-5

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/10/16



「今」こそ見るべき海外ドラマ(星海社新書 89)

池田 敏 著

星海社

かつて二流とよばれた海外ドラマ産業の快進撃は、どのようにして繰り広げられたのか。その歴史と動画配信サービスの仕組みから、ヒットの秘密を紐解く。今見るべき価値が最も高いドラマも紹介する。

2016:8./ 251p

978-4-06-138594-8

本体 ¥860+税



朝日新聞 2016/10/16



近代日本学校制服図録

難波 知子 著

創元社

明治から昭和前期までの学校制服の歴史・変遷をビジュアル資料によりたどる。約 800 点の図版を収録し、個別学校を視覚的に表象する<し>や、繊維業における学生服製造にも着目する。

2016:8./ 246p

978-4-422-21016-2

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2016/10/16



安藤忠雄 野獣の肖像

古山 正雄 著

新潮社

「闘う建築家」の原点と現在。70 年代からリアルタイムで安藤忠雄を見続けてきた著者が、建築の革命児の意外な素顔を明かし、あくなき挑戦の真価を問う。

2016:8./ 174p

978-4-10-350241-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/16



シリコンバレーで起きている本当のこと

宮地 ゆう 著

朝日新聞出版

世界を変える企業が次々現れ巨万の富を生み出しつつも、所得格差や人種差別などの問題を抱える町シリコンバレー。シリコンバレーのさまざまな実態を多角的に追った最先端ルポ。『朝日新聞デジタル』の連載をもとに再構成。

2016:8./ 205p

978-4-02-251399-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/10/16



銀の世界史(ちくま新書 1206)

祝田 秀全 著

筑摩書房

世界中を駆け巡った銀は、近代工業社会を生み世界経済の一体化を導いた。銀を読みといて、世界史のダイナミズムをわしづかみにする。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 247p

978-4-480-06912-2

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 6 9 1 2 2 *



本当はひどかった昔の日本～古典文学で知るとたかな日本人～(新潮文庫 お-98-1)

大塚 ひかり 著

新潮社

「古事記」や「枕草子」などをひもとけば、育児放棄から児童人身売買、マタハラ、介護地獄、ストーカー殺人まで、現代に負けない残虐悲惨な話だらけ。それでも逞しく人間味あふれる日本人の姿を、日本文学の古典から読み解く。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 268p

978-4-10-120516-8

本体 ¥520+税



* 9 7 8 4 1 0 1 2 0 5 1 6 8 *



医薬品とノーベル賞～がん治療薬は受賞できるのか?～(角川新書 K-102)

佐藤 健太郎 著

KADOKAWA

ノーベル賞級の医薬品開発の現場について考察する。すでにかんの治療薬は存在するが、一部のがんにだけ有効に過ぎない。なぜ、すべてに効かないのか?細胞レベルの戦い、薬価の問題など医薬品開発の現実を説く。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 222p

978-4-04-731647-8

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 0 4 7 3 1 6 4 7 8 *



さすらい者たち(河出文庫 リ4-2)

イーユン・リー 著

河出書房新社

文化大革命後の中国。一人の政治犯の処刑をめぐる、否応なく歴史の闇にのみ込まれてゆく市井の人々の悲哀を描き出す。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 462p

978-4-309-46432-9

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 3 2 9 *



戦国機甲伝クニトリ<1>

リイド社

「武将」と呼ばれる戦闘用の人型機械を操り、各地で大名たちが争っていた戦国時代。「この戦は誰が始めたのか」羽柴秀吉や徳川家康を率い、戦を通じて「世の理」に挑む、信長の新たな「クニトリ」がここに開幕?

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 152p

978-4-8458-4884-3

本体 ¥583+税



* 9 7 8 4 8 4 5 8 4 8 8 4 3 *



ルポ貧困女子(岩波新書 新赤版 1621)

飯島 裕子 著

岩波書店

就職氷河期以降の若年層が抱える困難、いまだに根強い日本の男女差別。その両方を抱えながら、働くことも、結婚して子どもを産み育てることも期待されている今のアラフォー/非正規/シングルの女性たちの等身大の姿に迫る。

朝日新聞 2016/10/16

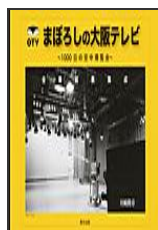
2016:9./ 4p,227p

978-4-00-431621-3

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 6 2 1 3 *



まぼろしの大阪テレビ～1000日の空中博覧会～

川崎 隆章 著

東方出版

1956年12月に開局した大阪テレビ放送(OTV)。テレビ放送黎明期、数々の冒険を重ね、日本記録や世界記録を樹立した OTV について、公刊データを再編集し、当時、現場にいた人々の証言等とあわせて紹介する。

朝日新聞 2016/10/16

2016:10./ 518p

978-4-86249-271-5

本体 ¥4,200+税



ISの人質～13カ月の拘束、そして生還～(光文社新書 841)

プク・ダムスゴー 著

光文社

拘束に至る過程、拷問、間一髪の生還…。IS に拘束され、身代金を要求された24歳の写真家の過酷な体験や人質を救済するコンサルタント会社の実態を、ジャーナリストが丹念な周辺取材とともに書き下ろす。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 485p

978-4-334-03944-8

本体 ¥1,300+税



知られざる皇室外交(角川新書 K-103)

西川 恵 著

KADOKAWA

1953年、19歳だった明仁皇太子はヨーロッパ各国を訪れた。大戦の遺恨が残るなかで何を感じたのか。そこから続くイギリス、オランダなどとの交流、慰霊の旅を続ける理由など、知られざる姿を明らかにする。

朝日新聞 2016/10/16

2016:10./ 303p

978-4-04-082087-3

本体 ¥800+税



貧困のハローワーク

増田 明利 著

彩図社

飯場労働者、シングルマザー風俗嬢、テレビ番組制作会社 AD、トラック運転手、居酒屋チェーン店長…。過酷な労働現場の現状取材を通して明かし、いくら働いても楽にならない貧困ビジネスの実態に迫る。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 222p

978-4-8013-0176-4

本体 ¥630+税



貧困の現場から社会を変える(POSSE 叢書 001)

稲葉 剛 著

堀之内出版

生活保護、パッシングと差別、自立支援…。長く貧困問題の現場に関わり、さまざまな提言や制度改革に取り組んできた著者が、その実践をまとめ、世に問う。著者が行った6回のソーシャルワーク入門講座の記録をもとに書籍化。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 172p

978-4-906708-61-1

本体 ¥1,800+税



世界の8大文学賞～受賞作から読み解く現代小説の今～

都甲 幸治、中村 和恵、宮下 遼、武田 将明、瀧井 朝世、石井 千湖、江南 亜美子、藤野 可織、桑田 光平、藤井 光、谷崎 由依、阿部 賢一、阿部 公彦、倉本 さおり 著

リットーミュージック

読み始めたら止まらない「直木賞」、当たり作品の宝庫「ブッカー賞」、写真のように本を読む「ゴンクール賞」…。世界の8つの文学賞の受賞作品を、作家や書評家、翻訳家など本にまつわる職業の人々が読み、鼎談の形で論じる。

朝日新聞 2016/10/16

2016:9./ 253p

978-4-8456-2838-4

本体 ¥1,600+税





とうだい(日本傑作絵本シリーズ)

福音館書店

岬に建った、一本の灯台。毎日、海を眺めていた灯台は、いろんな国を旅する渡り鳥を羨ましく思っていた。でも、ある嵐の夜、灯台は自分のいる場所、なすべきことに気がつき…。

朝日新聞 2016/10/17

2016:9./ 44p

978-4-8340-8289-0

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 8 3 4 0 8 2 8 9 0 *



きょうはそらにまるいつき

荒井 良二 著

偕成社

ふと見あげた空にみつけた、まんまるいお月さま。町でくらす人たちに、山や海のいきものたちに、やさしい光がふりそそぐ夜。

朝日新聞 2016/10/22

2016:9./ 32p

978-4-03-232450-1

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 3 2 3 2 4 5 0 1 *



少年 N の長い長い旅<01>(YA!ENTERTAINMENT)

石川 宏千花 著

講談社

猫を 13 匹殺して、その首をビルの屋上から投げ落としたあと、自らもダイブすれば異世界に行くことができる-そんな都市伝説が小 6 の野依の耳に届いたころ、猫殺しの事件が起きる。犯人さがしをする野依の前に現れたのは…?

朝日新聞 2016/10/22

2016:9./ 253p

978-4-06-269506-0

本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 0 6 2 6 9 5 0 6 0 *



ピクルスとふたごのいもうと(福音館創作童話シリーズ)

小風 さち、夏目 ちさ 著

福音館書店

こぶたのピクルスに双子の妹ができました。名前はムギとコムギです。ふたりが生まれると、お母さんは大忙しになり…。『ピクルスの涙』ほか、全 4 話を収録。『こぶたのピクルス』に続く、ピクルスの本第 2 弾。

朝日新聞 2016/10/22

2016:9./ 117p

978-4-8340-8288-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 8 3 4 0 8 2 8 8 3 *



女性に関する十二章 限定復刻版(中公文庫)

伊藤整 著

中央公論新社

朝日新聞 2016/10/23

2005:1./ 210p

978-4-12-204482-1

本体 ¥1,286+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 4 4 8 2 1 *



走ることにして語るときに僕の語ること(文春文庫)

村上 春樹 著

文芸春秋

走ることにして語りつつ、小説家としてのありよう、創作の秘密、そして「彼自身」を初めて説き明かした画期的なメモワール。

朝日新聞 2016/10/23

2010:6./ 262p

978-4-16-750210-2

本体 ¥520+税



* 9 7 8 4 1 6 7 5 0 2 1 0 2 *



55歳からのフルマラソン(新潮新書 468)

江上 剛 著
新潮社

50代半ばを過ぎ、肉体は典型的メタボ、ストレス続きで精神的にもどん底…。日本振興銀行の経営破綻による混乱のさなか、代表執行役社長となった作家が、ふとしたきっかけで始めたマラソンによる予想外の変化をつづる。

2012:5./ 184p
978-4-10-610468-8
本体 ¥680+税



朝日新聞 2016/10/23



逢沢りく<上>

ほし よりこ 著
文藝春秋

『きょうの猫村さん』著者の傑作コミック！逢沢りく、十四歳。美しい彼女は蛇口をひねるように嘘の涙をこぼすことができる。悲しみの意味はわからなくとも――。傑作コミック。

2014:10./ 221p
978-4-16-390146-6
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/10/23



逢沢りく<下>

ほし よりこ 著
文藝春秋

関西の親戚に預けられたりくは、関西弁ワールドに翻弄され、「私は絶対になじまない」と心に誓う。どうなるりく？そしてママとパパは…。長編コミック。『別冊文藝春秋』掲載に加筆して単行本化。

2014:10./ 244p
978-4-16-390147-3
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2016/10/23



おバカさん(P+D BOOKS)

遠藤 周作 著
小学館

銀行員の隆盛の妹・巴絵の前に、ガストン・ボナパルトというフランス人が突然現れる。ナポレオン皇帝の子孫と称する馬面の青年は、臆病で無類のお人好し。そして、その生真面目さから珍事を巻き起こしていく。

2015:5./ 382p
978-4-09-352208-3
本体 ¥600+税



朝日新聞 2016/10/23



彼女に関する十二章

中島 京子 著
中央公論新社

宇藤聖子(50歳・主婦)が、ふとしたことで読み始めた60年前の「女性論」。一見古めかしい昭和の文士の随筆と聖子の日々の出来事は、不思議と響き合って…。ミドルエイジを元気にする長篇小説。『婦人公論』連載を書籍化。

2016:4./ 256p
978-4-12-004844-9
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/23



戦地の図書館〜海を越えた一億四千万冊〜

モリー・グプティル・マニング、松尾 恭子 著
東京創元社

戦場の兵士に本を送れ。第二次世界大戦中、図書館員・米軍・出版業界が展開した史上最大の図書作戦。全米で行われた本の寄付運動、兵士用に独自に開発されたペーパーバック<兵隊文庫>などについて余すところなく描く。

2016:5./ 257p,59p
978-4-488-00384-5
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/10/23



アウシュヴィッツの図書係
アントニオ・G.イトウルベ 著
集英社

1944 年、アウシュヴィッツ強制収容所に作られた秘密の図書館。本の所持が禁じられているなか、図書係をつとめる十四歳のユダヤ人少女ディタは、命がけで本を隠し持つ。実話に基づいた感涙必至の大作!

朝日新聞 2016/10/23

2016:7./ 445p
978-4-08-773487-4
本体 ¥2,200+税



本屋さんのダイアナ(新潮文庫 ゆ-14-2)

柚木 麻子 著
新潮社

「大穴(ダイアナ)」という名前、金色に染めた髪、行方知れずの父親。孤独なダイアナに本の世界と同級生の彩子だけが光を与えてくれた…。少女から大人への輝ける瞬間を描く。

朝日新聞 2016/10/23

2016:7./ 386p
978-4-10-120242-6
本体 ¥630+税



時代区分は本当に必要か?〜連続性と不連続性を再考する〜

ジャック・ル=ゴフ、菅沼 潤 著
藤原書店

「時代」という枠組みは、いかなる前提を潜ませているのか。アナール派中世史の泰斗が、「闇の時代=中世」から「光の時代=ルネサンス」へ、という歴史観の発生を跡付け、歴史の切り分けは本当に必要かという問題を検討する。

朝日新聞 2016/10/23

2016:7./ 214p
978-4-86578-079-6
本体 ¥2,500+税



幕末の女医、松岡小鶴〜1806-73〜

松岡 小鶴、門 玲子 著
藤原書店

柳田国男の祖母であり、漢学の素養のある女性医師だった松岡小鶴。その生涯を綴るとともに、彼女が全編漢文で書いた詩文集「小鶴女史詩稿」の全訳を収録する。原典の複写も掲載。

朝日新聞 2016/10/23

2016:8./ 280p
978-4-86578-080-2
本体 ¥3,200+税



父母の記〜私的昭和の面影〜

渡辺 京二 著
平凡社

家族との思い出、引き揚げの記憶、水俣病闘争、新日本文学から戦後思想史までー思想家・渡辺京二が自身の昭和を語る回想記。

朝日新聞 2016/10/23

2016:8./ 252p
978-4-582-83736-0
本体 ¥2,200+税



死神の報復〜レーガンとゴルバチョフの軍拡競争〜<下>

デイヴィッド・E.ホフマン 著
白水社

ソ連崩壊後、兵器実験施設の隠蔽工作、頭脳および原材料・機材の流出を阻止すべく、ある「秘密作戦」が進行していた…。冷戦時代の核・生物兵器の軍拡競争の実態、CIA や KGB の暗躍を、最新公開資料を駆使して精細に描く。

朝日新聞 2016/10/23

2016:8./ 446p,9p
978-4-560-09258-3
本体 ¥3,500+税





死神の報復～レーガンとゴルバチョフの軍拡競争～<上>

デイヴィッド・E.ホフマン 著

白水社

冷戦時代、レーガンは「核兵器の全廃」という理想を胸に秘めつつ、ソ連の脅威に対抗した。いつばう、新進のゴルバチョフも同様に、緊張する東西対立に劇的な分岐点をもたらそうと目論んでいた…。

2016:8./ 399p, 1p

978-4-560-09257-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2016/10/23



大学入試改革～海外と日本の現場から～

読売新聞教育部 著

中央公論新社

アメリカ、韓国、台湾の大学入試事情を、現地ルポを中心にまとめる。ハーバード大学をはじめ、世界の有力大学と比較しながら、日本の大学入試の現状と、文科省で検討されている入試改革の展望を徹底検証する。

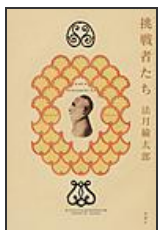
2016:7./ 285p

978-4-12-004868-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/23



挑戦者たち

法月 綸太郎 著

新潮社

パロディありクイズあり迷路あり。ブッキッシュな仕掛けと洒落な文体遊戯。ミステリマニア悶絶の新たな伝説の奇書。『小説新潮』掲載を加筆・訂正し、書下ろしを加える。

2016:8./ 213p

978-4-10-350221-0

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/10/23



アルツハイマー病は治せる、予防できる(集英社新書 0850)

西道 隆臣 著

集英社

2025 年には患者数 700 万人を超えるという認知症。その約 60%を占めるアルツハイマー病だが、根本的な治療薬はまだない。治療薬開発に最も近づいたとされる研究者が、最新の研究成果を明らかにする。

2016:9./ 231p

978-4-08-720850-4

本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/10/23



悟りパパ<1>(ヤングジャンプコミックス)

澤江 ポンプ 著

集英社

脱サラして「悟り」を開いたパパは、ご近所さんに仏の教えを説きながら会社員のママを支える専業主夫。パパの息子・梵くんの小学生特有の疑問や悩みを、ウルトラC級の教で「悟り」に導くのもパパの日課。

2016:9./ 160p

978-4-08-890531-0

本体 ¥600+税



朝日新聞 2016/10/23



個人全集月報集～武田百合子全作品森茉莉全集～(講談社文芸文庫 こ J41)

講談社文芸文庫 編

講談社

武田泰淳の妻で後に「富士日記」などのエッセイで読者を魅了した武田百合子と、森?外の長女で今も多く愛読者をもつ森茉莉。2 人の女性作家の不思議な魅力の謎を読み解く随筆を集成。個人全集月報集第 4 弾。

2016:10./ 253p

978-4-06-290326-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/23



オバマへの手紙～ヒロシマ訪問秘録～(文春新書 1095)

三山 秀昭 著

文藝春秋

アメリカの現職大統領が被爆地・ヒロシマを訪問。この快挙の裏には、ケネディ駐日大使、ケリー国務長官、岸田外相の連携と、広島市民の「謝罪を求めない」心があった。裏方として尽力した著者による秘話満載のルポルタージュ。

2016:9./ 209p,8p

978-4-16-661095-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/10/23



築地魚河岸ひとの町～本橋成一写真集～

本橋 成一 著

朝日新聞出版

マグロのセリ、仲卸業者、場外のにぎわいと商い、年末年始、お祭り、雪の積もる海幸橋…。ドキュメンタリー写真家の著者が 1980 年代初頭から数年間かけ撮影した、築地市場とそこに集う人々の姿をまとめた写真集。

2016:10./ 255p

978-4-02-331544-0

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2016/10/23



わたしの小さな古本屋(ちくま文庫 た 80-1)

田中 美穂 著

筑摩書房

アルバイトを辞めた日、古本屋になることを決めた。古書店の世界と本が繋ぐ人の縁、店の生きものたち……。店主が綴る蟲文庫の日々。(早川義夫)

2016:9./ 230p

978-4-480-43381-7

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/10/23、読売新聞 2016/10/23



日本文学全集<29> 近現代詩歌

河出書房新社

詩はいつでもどこでも文学の中心。詩や短歌や俳句はむずかしいという先入観を一掃するセレクションを実現しよう。

2016:9./ 468p

978-4-309-72899-5

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2016/10/24



海神丸～付・「海神丸」後日物語～ 改版(岩波文庫 緑 49-1)

野上弥生子 著

岩波書店

小帆船・海神丸は難破して漂流数十日におよび、飢えた乗組員は仲間を殺して喰らおうとさへ企てた。実在の事件に取材したこの物語は、限界状況におかれた人間のすさまじくも哀しい生の姿を息づまる筆致で描き出している。

1952:8./ 99p

978-4-00-310491-0

本体 ¥360+税



朝日新聞 2016/10/30



小説こちら葛飾区亀有公園前派出所(集英社文庫 あ 66-1)

大沢 在昌、石田 衣良、今野 敏、柴田 よしき、京極 夏彦、逢坂 剛、東野 圭吾 著

集英社

超人気作家 7 名が描く『こち亀』ワールド!!大沢在昌、逢坂剛、今野敏、東野圭吾、石田衣良、京極夏彦、柴田よしき。今をときめく人気作家が、『こち亀』の両さんを目撃に描くオリジナル小説 7 編。見逃せない面白さ!

2011:5./ 343p

978-4-08-746689-8

本体 ¥648+税



朝日新聞 2016/10/30



階級「断絶」社会アメリカ～新上流と新下流の出現～

チャールズ・マレー、橘 明美 著

草思社

経済力だけでなく、倫理観、価値観においても圧倒的な階級格差が生まれてしまったアメリカの現状を、詳細に分析。新上流階級と新下層階級の存在を指摘し、2つの階級の断絶が社会を崩壊させると警鐘をならす。

2013:2./ 558p

978-4-7942-1958-9

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2016/10/30



アメリカの黒人保守思想～反オバマの黒人共和党勢力～

上坂 昇 著

明石書店

オバマという黒人大統領の誕生によって、脱人種差別の時代は到来したのか? 「自助・自立」を主張する黒人保守派勢力の台頭は何を意味するのか?ますます複雑化する人種と政治のかかわりから、未来のアメリカの行方を探る。

2014:10./ 260p

978-4-7503-4091-3

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2016/10/30



アメリカ多文化社会論～「多からなる一」の系譜と現在～

南川 文里 著

法律文化社

「多からなる一」という理想を掲げ、様々な困難や葛藤を抱えつつ、どのように多文化社会が具現化されてきたのかを包括的に考察。

2016:1./ 3p,220p

978-4-589-03728-2

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2016/10/30



さらば白人国家アメリカ

町山 智浩 著

講談社

2012 年からリアルタイムで発表してきたエッセイを時間軸通りに採録し、それらのキーワードを詳細に具体的に解説。2016 年大統領選への道をたどる。『クーリエ・ジャポン』ほか掲載に加筆し書籍化。

2016:10./ 381p

978-4-06-220024-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/10/30



エスカルゴ兄弟

津原 泰水 著

KADOKAWA

編集者の尚登は突如クビを言い渡され、何故か料理人として次の職場を斡旋されることに。そこで待っていたのは若手写真家の秋彦。うずまきを偏愛する彼と前代未聞のエスカルゴ料理店を立ち上げることになるが……!?

2016:8./ 317p

978-4-04-103252-7

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2016/10/30



沖縄の乱～燃える癒しの島～

野里 洋 著

河出書房新社

政府対沖縄の全面対決の現状は、まさに県民決起による“乱”だ。本土出身、地元記者歴 40 年の著者が現地取材で迫る沖縄の真実。

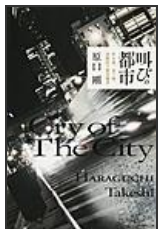
2016:8./ 229p

978-4-309-24768-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/10/30



叫びの都市～寄せ場、釜ヶ崎、流動的下層労働者～

原口 剛 著

洛北出版

「流動的下層労働者」たちは職や生存を求め、都市空間の深みを潜り抜けた。陸と海を、山谷-寿町-笹島-釜ヶ崎を行き交う、群れとなったのだ。その流動はいかなる空間を生み出していったのか。労働者の相貌を現す都市空間誌。

2016:8./ 409p

978-4-903127-25-5

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/10/30



あしあと(文春文庫 か 11-4)

勝目 梓 著

文藝春秋

彼方に封じ込めていた記憶。この世に起こり得ない不思議。倒錯の愛。夢とも現実ともつかぬ時空を往来しながら描く、円熟の傑作十篇。

2016:10./ 307p

978-4-16-790712-9

本体 ¥720+税



朝日新聞 2016/10/30



VS.こち亀～こちら葛飾区亀有公園前派出所ノバライズアンソロジー～

秋本 治、秋田 禎信 著

集英社

40周年&200巻刊行記念企画!!国民的漫画『こち亀』と、『おそ松さん』『魔術士オーフェン』『チア男子!!』『ガールズ&パンツァー』『ハルチカ』『謎解きはディナーのあとで』が小説で奇跡のコラボ!!

2016:9./ 351p

978-4-08-780795-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/10/30



どうぶつのことば～根源的暴力をこえて～

鴻池 朋子 著

羽鳥書店

芸術の始まりに立ち戻り、人間がものをつくることを問い直す。教育人間学、芸術人類学、考古学、比較文学など様々な専門家との対話と鴻池朋子自身の言葉で紡ぐ。

2016:9./ 365p

978-4-904702-63-5

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2016/10/30



デジタル・ゴールド～ビットコイン、その知られざる物語～

ナサニエル・ポッパー 著

日本経済新聞出版社

ブロックチェーンを生み出した謎の日本人、政府やウォール街に戦いを挑もうとした理想主義者、「デジタル・ゴールド」のポテンシャルに目を付けたシリコンバレーの起業家・投資家たち…。ビットコイン揺籃期の狂騒を描く。

2016:9./ 474p

978-4-532-17601-3

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2016/10/30



はじめての短歌(河出文庫 ほ 6-3)

穂村 弘 著

河出書房新社

短歌とビジネス文書の言葉は何が違う?共感してもらうためには?いい短歌は社会の網の目の外にある。穂村弘のやさしい短歌入門。

2016:10./ 171p

978-4-309-41482-9

本体 ¥520+税



朝日新聞 2016/10/30



永遠の 1/2(小学館文庫 さ4-8)

佐藤 正午 著

小学館

27歳の年が明け、田村宏の生活はツキを頼りに何もかもうまくいくかに思われた。ところがその頃から街でたびたび人違いに遭い、厄介な男に絡まれ、ついには不可解な事件に巻き込まれ…。文庫限定のあとがき付き。

2016:10./ 541p

978-4-09-406329-5

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/10/30



ピアニストは語る(講談社現代新書 2389)

ヴァレリー・アフアナシエフ 著

講談社

モスクワでの幼年時代、音楽院での修業の日々、亡命、愛する作品と作曲家について、ピアノ演奏について。カリスマピアニストが人生と音楽の哲学を語る。

2016:9./ 242p

978-4-06-288389-4

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/10/30、読売新聞 2016/10/30



燈火(銀河叢書)

三浦 哲郎 著

幻戯書房

移りゆく現代の生活を研ぎ澄まされた文体で描く、みずみずしい日本語散文の極致。晩年の未完長篇を初書籍化。解説:佐伯一麦

2016:8./ 231p

978-4-86488-106-7

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2016/10/02



戦争まで～歴史を決めた交渉と日本の失敗～

加藤 陽子 著

朝日出版社

かつて日本は、世界から「どちらを選ぶか」と3度、問われた。より良き道を選べなかったのはなぜか。「歴史を選ぶ」際の作法を、戦争までの歴史を決めた3つの交渉から考える。連続講義に加筆、再構成。

2016:8./ 466p

978-4-255-00940-7

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2016/10/02、朝日新聞 2016/10/02



ユリシーズを燃やせ

ケヴィン・バーミンガム、小林 玲子 著

柏書房

かつて「猥褻」と呼ばれた小説は、いかにして「現代の古典」となったか。「ユリシーズ」の発展を、短編の構想にすぎなかった段階から追い、第一次大戦前後の驚くべき進化を描く。より面白く読むためのブックガイドも収録。

2016:8./ 463p 図版
12p

978-4-7601-4731-1

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2016/10/02、朝日新聞 2016/10/02、毎日新聞 2016/10/23



明治初期日本の原風景と謎の少年写真家～ミヒャエル・モーザーの「古写真アルバム」と世界旅行～

アルフレッド・モーザー、ペーター・パンツァー、宮田 奈奈 著

洋泉社

明治2年、オーストリアからきた16歳の写真家は、日本に7年滞在し、さらに地球2周分の旅行をし、帰国後、日本での思い出をアルバムに遺した。祖父が遺した日記や手紙、新聞に寄稿した文章とともに、世界旅行を再現する。

2016:7./ 191p

978-4-8003-0977-8

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/09



ピンボー魂～おばあちゃんが遺してくれた生き抜く力～

風間 トオル 著

中央公論新社

タダで暖まる方法、虫歯はペンチで抜く、屋外の洗濯機をお風呂がわりに…。貧乏ならではの生活の知恵が満載。5歳で一家離散を体験した俳優・風間トオルが自身の生い立ちについて綴った、「人生はなんとかなるさ」の記。

2016:3./ 204p

978-4-12-004802-9

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2016/10/09



貧乏物語～現代語訳～(講談社現代新書 2372)

河上 肇 著

講談社

なぜ豊かな国に多数の「貧乏人」がいるのか。なぜ働いても貧乏から脱出できないのか。どうすれば貧乏を根絶できるか…。貧困の構造を初めて論じた名著の、佐藤優による現代語訳。

2016:6./ 260p

978-4-06-288372-6

本体 ¥800+税



東京・中日新聞 2016/10/09



鉄道唱歌と地図でたどるあの駅この街

今尾 恵介 著

朝日新聞出版

明治時代、1000万部を超えるベストセラーとなった「鉄道唱歌」全編に「北海道唱歌」を追加して収録。当時の地図も豊富に盛り込んだ、旅情くすぐられる鉄道史。『週刊 JR 全駅・全車両基地』連載に加筆修正して単行本化。

2016:7./ 231p

978-4-02-251394-6

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2016/10/09



アメリカ政治の壁～利益と理念の狭間で～(岩波新書 新赤版 1616)

渡辺 将人 著

岩波書店

オバマ政権 2 期 8 年の「迷走」の原因はどこにあったのか? トランプ候補の登場でますます亀裂を深める超大国はどこへ向かうのか? アメリカの「リベラル政治」の複雑で厄介な構造を読み解き、新政権の課題を占う。

2016:8./ 17p,247p,3p

978-4-00-431616-9

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2016/10/09



「建築」で日本を変える(集英社新書 0848)

伊東 豊雄 著

集英社

著者は近代主義建築に限界を見出だす一方、地方にこそ人と人をつなぎ、自然と調和した建築の可能性があると考える。本書では自身の地方での建築プロジェクトを通し、新たな建築のあり方を提案する。

2016:9./ 205p

978-4-08-720848-1

本体 ¥720+税



東京・中日新聞 2016/10/09



私の「貧乏物語」～これからの希望をみつけるために～

岩波書店編集部 編

浅井 慎平 著

岩波書店

多くの人たちが貧困や孤立にあえぐ日本。いま、希望とは? そして生きていくための支えとは? 笑い、怒り、涙、出会い、気づき、覚悟、提言…各界の 36 人による各人各様の「貧乏物語」からそのヒントを探るエッセイ集。

2016:9./ 10p,177p

978-4-00-061153-4

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2016/10/09、朝日新聞 2016/10/23



不思議なウィーン～街を読み解く100のこと～

河野 純一 著

平凡社

ウィーンの知られざる歴史や文化を、街・音楽・衣・食・住……など9つにした100の話を収録。「月刊ウィーン」連載分。

東京・中日新聞 2016/10/16

2016:8./ 405p

978-4-582-83737-7

本体 ¥2,200+税



チベット聖地の路地裏～八年のラサ滞在記～

村上 大輔 著

法蔵館

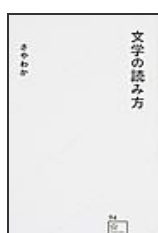
聖と俗、仏教と政治的抑圧の間で、聖地ラサの人々はどう生きているのか。気鋭の人類学者が彼らの心の路地裏を歩きその精神風景を描く。

東京・中日新聞 2016/10/16

2016:8./ 231p

978-4-8318-6234-1

本体 ¥2,400+税



文学の読み方(星海社新書 94)

さやわか 著

星海社

文学は、「現実」も「人の心」も描けない。すべては“錯覚”にすぎない。それらの錯覚がどのように生まれたのか、各時代の史料から確認しつつ、日本近代文学史を記述する。

東京・中日新聞 2016/10/16

2016:9./ 249p

978-4-06-138600-6

本体 ¥880+税



シベリア出兵～近代日本の忘れられた七年戦争～(中公新書 2393)

麻田 雅文 著

中央公論新社

ロシア革命後、反革命軍救出を名目にロシアへ派兵した日本は、バイカル湖畔まで占領。だが、パルチザンや赤軍に敗退、虐殺にも遭遇し…。増派と撤兵に揺れる内政、酷寒の地で7年間にわたる戦争の全貌を描く。

東京・中日新聞 2016/10/16、朝日新聞 2016/10/23

2016:9./ 6p,266p

978-4-12-102393-3

本体 ¥860+税



ブッダと法然(新潮新書 684)

平岡 聡 著

新潮社

諸行無常と南無阿弥陀仏は、いかに世界を変えたのか？ 古代インドで仏教を興したブッダ。中世日本で念仏往生を説いた法然。独創的な教えを打ち立てた偉大な開拓者の生涯と思想を徹底比較。仏教の本質がよりクリアに！

東京・中日新聞 2016/10/23

2016:9./ 236p

978-4-10-610684-2

本体 ¥760+税



流れ施餓鬼

宇江 敏勝 著

新宿書房

熊野の大正・昭和。船が行きかい、鰻や鮎をとる淵に、川獺が泳ぎ、盆には死者を流しておくる。川を愛し、畏れ、生きて死んだ人間たちの物語全6編を収録。民俗伝奇小説シリーズ。『VIKING』掲載を加筆訂正し単行本化。

東京・中日新聞 2016/10/23

2016:8./ 274p

978-4-88008-461-9

本体 ¥2,200+税





氷(氷三部作 2)

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

21 世紀初頭のモスクワで世界の再生を目指す謎の集団。氷のハンマーで覚醒する金髪碧眼の男女。世界的な評価の高い作家の代表作。

東京・中日新聞 2016/10/30

2015:1./ 348p

978-4-309-20669-1

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 6 6 9 1 *



プロの道(氷三部作 1)

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

ツングース隕石探検隊に参加した青年が巨大な氷を発見し、真の名「プロ」と「原初の光」による創造の秘密を知る。最初の覚醒者の物語。

東京・中日新聞 2016/10/30

2015:9./ 282p

978-4-309-20686-8

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 6 8 6 8 *



23000(氷三部作 3)

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

「原初の光」を目指す教団は、二万三千の金髪碧眼の仲間を探索する。20 世紀初頭ツングース隕石に始まる驚異の三部作、完結。

東京・中日新聞 2016/10/30

2016:7./ 288p

978-4-309-20712-4

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 7 1 2 4 *



誤植読本 増補版(ちくま文庫 た 70-1)

高橋 輝次 著

筑摩書房

大物作家の誤植打ち明け話、誤植・校正をめぐる思索、著者の眼・編集者の眼、表現へのこだわり…。作家や学者たちによる、本と誤植にまつわる文章や作品を収録したアンソロジー。

読売新聞 2016/10/02

2013:6./ 314p

978-4-480-43067-0

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 0 6 7 0 *



宙(そら)ガールバイブル～星空観察に出かけよう☆～

双葉社

見上げればそこは、ワクワクの世界!星が好き、宇宙が好きな「宙ガール」たちに向けて、四季の天文現象を解説し、全国各地で行われている宙のイベントや、おすすめの星空観測スポットなどを紹介します。

読売新聞 2016/10/02

2015:12./ 95p

978-4-575-30974-4

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 5 7 5 3 0 9 7 4 4 *



ハッブル宇宙望遠鏡 25 年の軌跡

沼澤 茂美、脇屋 奈々代 著

小学館クリエイティブ

宇宙はこんなにも美しい! 太陽系の惑星、星の誕生、最期を迎えた星の姿など、1990 年からの 25 年間にハッブル宇宙望遠鏡によって撮影、一般公開された画像の中から 250 余点を厳選し、簡単な解説とともに紹介する。

読売新聞 2016/10/02

2016:1./ 255p

978-4-7780-3518-1

本体 ¥4,200+税



* 9 7 8 4 7 7 8 0 3 5 1 8 1 *



長流の畔(ほとり)(流転の海 第8部)

宮本 輝 著

新潮社

昭和38年、66歳の松坂熊吾は金策に窮していた。社員に会社の運転資金のほとんどを横領されたのだ。そのことは同業者にも漏れ伝わり…。戦後の時代相を背景に父と子を描く「流転の海」第8部。『新潮』連載を単行本化。

2016:6./ 373p

978-4-10-332518-5

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/10/02



「野党」論～何のためにあるのか～(ちくま新書 1195)

吉田 徹 著

筑摩書房

野党とは民主政治をよりよくするためのツールだ。この観点から多角的な光を当てて、野党の効用を説く。目から鱗の野党論！

2016:7./ 231p

978-4-480-06903-0

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/10/02



娼婦たちから見た戦場～イラク、ネパール、タイ、中国、韓国～

八木澤 高明 著

KADOKAWA

イラク戦争下で生きる娼婦。韓国米軍基地村の娼婦。ベトナム戦争から始まるバンコクの大規模買春…。極限状況で暮らす娼婦たちの眼から、世界はどのように見えているのか。15年以上に及ぶ紛争地取材が生んだ現場ルポ。

2016:7./ 355p

978-4-04-103225-1

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/10/02



いつもおまえが傍にいた

今井 絵美子 著

祥伝社

めげてなんかいられない。余命が判っただけでもありがたい。愛猫キャシーとともに、やりたいことをやれるだけやって、最後は「アバヨ!」と逝くつもり。抗癌剤治療を拒否し、執筆に余命を懸ける作家の「これが私の生きる道」。

2016:7./ 256p

978-4-396-63503-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/10/02



夜空のおはなし

英和出版社書籍部 編

三交社

世界中の夜空の絶景写真を、「銀河鉄道の夜」「星の王子さま」「かぐや姫」「ピーターパン」「よだかの星」など、45篇の月と星にまつわる物語を添えて掲載する。

2016:7./ 128p

978-4-87919-828-0

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/10/02



校閲ガール(角川文庫 み44-1)

宮木 あや子 著

KADOKAWA

ファッション誌の編集者を夢見ていたが、校閲部に配属された、文芸書が苦手な悦子。担当する原稿や周囲ではたびたび、ちょっとした事件が…! 読んでスッキリ元気になる、ワーキングガールズエンタメ。

2016:8./ 233p

978-4-04-104220-5

本体 ¥560+税



読売新聞 2016/10/02



失踪.com〜東京ロンダリング〜

原田 ひ香 著

集英社

大都市東京。病死、自殺、孤独死などで事故物件が後を断つことはない。その物件に住み、浄化する「ロンダリング」の仕事を妨害する動きが……。調査役の仙道が動き出すと、そこには驚きの真実が!?

2016:9./ 309p

978-4-08-775431-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/10/02



芸能人寛容論〜テレビの中のわだかまり〜

武田 砂鉄 著

青弓社

「ファシズム化する石原さとみの唇」「池上彰依存社会」…。テレビを見ていて感じた芸能人へのわだかまりを可視化し、精一杯受けとめる。『cakes』連載「ワダアキ考」から厳選した記事を加筆・修正し、書き下ろしを追加。

2016:8./ 252p

978-4-7872-7391-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/02



旅の食卓

池内 紀 著

亜紀書房

庄内のドンガラ汁、西伊豆のおでん、瀬戸内の魚料理、屋久島の焼酎…。忘れられない“味”がある。ドイツ文学者でエッセイストの池内紀が、旅と食を語る。WEB連載を中心に単行本化。切り取り式「旅の絵はがき」3 葉つき。

2016:7./ 233p

978-4-7505-1480-2

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/02



ゲノム編集とは何か〜「DNA のメス」クリスパーの衝撃〜(講談社現代新書 2384)

小林 雅一 著

講談社

「人間の寿命は 500 歳まで延びる」は本当か? 「神の技術」とも称される「ゲノム編集」とそれが私たちの人生や暮らし、社会に与えるインパクトなどをわかりやすく解説。21 世紀を支える生命科学の基礎知識が学べる。

2016:8./ 247p

978-4-06-288384-9

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/10/02



煙が目にしみる〜火葬場が教えてくれたこと〜

ケイトリン・ドーティ、池田 真紀子 著

国書刊行会

初めてひげ剃りをした死体のことを、女は死ぬまで忘れない。ファーストキスや初体験以上に…。火葬技師見習いとして就職した初日から一人前の葬儀屋になるまでの日々と、そこから得た哲学を本音で熱く語る回想録。

2016:8./ 371p

978-4-336-06071-6

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/10/02



乞食路通〜風狂の俳諧師〜

正津 勉 著

作品社

乞食上がりを経歴故に同門の多くに疎まれながら、卓抜な詩境と才能で芭蕉の寵愛を格別に受けた蕉門の異端児、八十村路通の評伝。その生の軌跡を詳らかにし、あわせて句の真実に光をあてる。路通句 126 点収録。

2016:8./ 246p

978-4-86182-588-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/10/02



地震と独身(新潮文庫 さ-23-12)

酒井 順子 著

新潮社

東日本大震災で独身者は何を考え、どう動いたのか。結婚、仕事、親、将来…。「家族の絆」が強調される一方で、報じられることのなかった独身者たちの新たなつながりの可能性の物語を、インタビューをもとに綴る。

2016:9./ 389p

978-4-10-135122-3

本体 ¥630+税



読売新聞 2016/10/02



謎解きゴッホ〜見方の極意 魂のタッチ〜(河出文庫 に 10-3)

西岡 文彦 著

河出書房新社

生前に売れた絵はたった一点だけ……黙殺された作品が、今日なぜ名画になったのか?現代絵画の創始者ゴッホがわかる画期的鑑賞術。

2016:9./ 16p,213p

978-4-309-41475-1

本体 ¥740+税



読売新聞 2016/10/02



地球と月(360°BOOK)

大野友資 著

青幻舎

驚きの仕掛け!360°広がるギフトブック!地球と月、宇宙船、人工衛星、UFO!?が…宇宙空間を織り成す精巧で壮大なジオラマの世界。

2016:9./ 60p

978-4-86152-551-3

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2016/10/02



漂流

角幡 唯介 著

新潮社

1994年3月、37日間におよぶ漂流から「奇跡の生還」を果たした男がいた。だが8年後、彼は再び漁に出る。沖縄の漁師の生き様を追った長編ノンフィクション。『小説新潮』連載「ある鮪漁師の漂流」を改題して単行本化。

2016:8./ 431p

978-4-10-350231-9

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2016/10/02、日本経済新聞 2016/10/09、朝日新聞 2016/10/30



新制大学の誕生〜大衆高等教育への道〜<上>

天野 郁夫 著

名古屋大学出版会

終戦後の混乱を経て、大転換を果たした日本の大学制度。出発への困難な過程を辿り、現代のマス高等教育の原点を明らかに。

2016:7./ 8p,361p

978-4-8158-0844-0

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2016/10/02、日本経済新聞 2016/10/23



新制大学の誕生〜大衆高等教育への道〜<下>

天野 郁夫 著

名古屋大学出版会

質も内容も異なる諸学校が果たした「大学」化。現代のマス高等教育の原点に立ち返り、問題の所在を歴史から問い直す。

2016:7./ 9p,363?737

26p

978-4-8158-0845-7

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2016/10/02、日本経済新聞 2016/10/23



サイボーグ化する動物たち～ペットのクローンから昆虫のドローンまで～

エミリー・アンテス、西田 美緒子 著

白揚社

バイオテクノロジーは動物をどのように作り変えたのか? リモコン操作できるラット、緑色に発光するネコなど、現代科学が生み出す改造動物の最前線を紹介する。

2016:8./ 281p

978-4-8269-0190-1

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2016/10/02、日本経済新聞 2016/10/23



僕はずっと裸だった～前衛ダンサーの身体論～

田中 湊、岡田 正人 著

工作舎

独創的なダンサーとして知られる田中湊がその日々を綴った、『山梨日日新聞』連載の写真と対のコラム「海やまのあひだ」を全文収録。未公開写真約 50 点、デザイナー・杉浦康平との対談も掲載。

2011:9./ 315p

978-4-87502-440-8

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/09



無限の網～草間彌生自伝～(新潮文庫 く43-1)

草間 彌生 著

新潮社

ニューヨークでの無名時代の生き地獄、襲いくる心の病…。社会の既成概念に挑み、芸術への尽きせぬ情熱を開花させた天才アーティスト草間彌生が、その魂の軌跡と愛した人々、創作について、自らの言葉で綴る。

2012:4./ 271p

978-4-10-136541-1

本体 ¥630+税



読売新聞 2016/10/09



田中一村作品集 増補改訂版

NHK 出版 編

NHK出版

師につかず、結果、師風に溺れることなく、独学による新しい日本画への道を模索し続けた田中一村。その作品をカラーで収録する。新たに 146 点を追加し、合計 228 点を収載した増補改訂版。

2013:12./ 135p

978-4-14-009353-5

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2016/10/09



心が疲れたらお粥を食べなさい～豊かに食べ、丁寧に生きる禅の教え～

吉村 昇洋 著

幻冬舎

お粥は、身体を整える。人生を整える。曹洞宗八屋山普門寺副住職であり、臨床心理士でもある著者が、自身の永平寺での修行生活の中でも、主に食事につながる行動を取り上げながら、肌で感じたことや気づきを綴る。

2014:9./ 211p

978-4-344-02625-4

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/10/09



目の見えない人は世界をどう見ているのか(光文社新書 751)

伊藤 亜紗 著

光文社

視覚障害者の空間認識、感覚の使い方、体の使い方、コミュニケーションの仕方、生きるための戦略としてのユーモアなどを分析。目の見えない人の「見方」に迫りながら、「見る」ことを問い直す。テキストデータ引換券付き。

2015:4./ 216p

978-4-334-03854-0

本体 ¥760+税



読売新聞 2016/10/09



森は考える～人間的なるものを越えた人類学～

エドワード・コーン、奥野 克巳、近藤 宏、近藤 祉秋、二文字屋 脩 著
亜紀書房

アマゾン河上流域の森に住むルナ族のもとでの調査を、長年にわたり捉えなおし続けてきた成果としての民族誌。哲学、文学、言語学、環境学、生態学、生命論を縦横に接続し、独自の概念を駆使して語られる、来たるべき知。

2016:1./ 492p
978-4-7505-1462-8
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2016/10/09



ヒトはどこまで進化するか

エドワード・O.ウィルソン、小林 由香利 著
亜紀書房

社会性昆虫の生態、極限環境に棲む微生物から、地球外生命体の可能性、意識と自由意志の先端研究までを論じ、「人間はなぜ存在するのか」という謎に挑む。ピューリッツァー賞受賞の生物学者によるサイエンス・アドベンチャー。

2016:6./ 237p
978-4-7505-1475-8
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/10/09



詩あきんど其角

別所 真紀子 著
幻戯書房

芭蕉第一の門弟にして、洒脱で博覧強記の俳諧師・宝井其角。江戸の世に言葉で身を立てた男の生涯を追い、その句を味わう評伝小説。

2016:7./ 265p
978-4-86488-104-3
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/10/09



文楽の女～吉田簑助の世界～(淡交新書)

吉田 簑助、山川 静夫 著
淡交社

文楽に登場する女たちは、みな哀しい美しさをたたえている。女方人形遣いの第一人者吉田簑助の舞台を通して、女たちの心根や生き様にふれながら、人形遣いの秘密、文楽の舞台の魅力を紹介する。

2016:8./ 231p
978-4-473-04116-6
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/10/09



完本天気待ち～監督・黒澤明とともに～(草思社文庫 の2-1)

野上 照代 著
草思社

黒澤明監督のスクリプター、プロデューサーとしてほとんどの現場を知る著者が黒澤組での出来事を活写した名エッセイ、「もう一度天気待ち」に伊丹万作監督とのエピソードを再録した完本。

2016:8./ 454p
978-4-7942-2218-3
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2016/10/09



泥名言

西原 理恵子 著
文藝春秋

人生を変えたりはしないけど、どこかで何かの役に立つ? 「前科とお金とどっちが大事?」「毎日ウツついたらええやん」など、西原理恵子が出会ってきた人たちがふと言い放った、心に残る言葉を紹介する

2016:8./ 169p
978-4-16-390511-2
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2016/10/09



「自分に自信がない人」を卒業する 44 のヒント～東日本大震災復興のリーダーが語る～

村井 嘉浩 著

主婦と生活社

要領は悪くてもいい、「普通」は武器になる、対立しつつ調和する…。防衛大から自衛隊、松下政経塾を経て宮城県知事になった異色の政治家が、誰でも「結果が出せる」物の見方・考え方を紹介する。

2016:7./ 191p
978-4-391-14852-7

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2016/10/09



刀装具ワンダーランド

川見 典久、黒川古文化研究所 著

創元社

鐔、目貫、小柄、筭、縁…日本刀を彩る刀装具を様々な角度から撮り下したオールカラービジュアルブック。日本の美術工芸におけるひとつの到達点とも言える近世の刀装具についての理解が深まる一冊。

2016:9./ 157p
978-4-422-71018-1

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/09



わが闘争(ハルキ文庫 か 1-7)

角川 春樹 著

角川春樹事務所

出版界や映画界の風雲児として一世を風靡した角川春樹。しかし、その輝かしい光の裏では、深い闇に包まれた壮絶な人生を送っていた…。真実の角川春樹伝。エッセイやロングインタビューなどを加えて文庫化。

2016:7./ 256p
978-4-7584-4014-1

本体 ¥680+税



読売新聞 2016/10/09



会話のしくじり～失敗から学ぶ「反面教師の会話学」～(SB 新書 355)

梶原 しげる 著

SBクリエイティブ

失敗から学ぶ「後悔の会話学」

2016:8./ 190p
978-4-7973-8763-6

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/10/09



週末ちょっとディープな台湾旅(朝日文庫 し 19-10)

下川 裕治 著

朝日新聞出版

台湾のにおいの正体を探り、台南で日本の名残に触れ、少数民族に助けられて温泉へー。台湾の過去を飲み込み、いまに触れると見えてくる旅がある。旅行作家・下川裕治の、ディープな台湾歩き。

2016:8./ 260p
978-4-02-261871-9

本体 ¥700+税



読売新聞 2016/10/09



特攻なぜ拡大したのか

大島 隆之 著

幻冬舎

昭和 19 年 10 月にフィリピンで始まった特攻は、その後の沖縄戦で戦いの中心となり、やがて「全軍特攻」へと向かう。なぜ歯止めがきかなかったのか、機密資料と証言をもとに真相に迫る。NHK スペシャルに大幅加筆し書籍化。

2016:7./ 339p
978-4-344-02969-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/09



大統領の疑惑～米大統領選を揺るがせたメディア界一大スキャンダルの真実～
メアリー・メイプス、稲垣 みどり 著
キノブックス
2004 年大統領選の真つ只中、ブッシュの軍歴詐称疑惑スクープを報道した「60 ミニッツ」。番組が原因で解雇された元プロデューサーが、一連の?末を描く。2016 年 8 月公開の映画「ニュースの真相」の原作。

2016:7./ 462p
978-4-908059-44-5
本体 ¥2,200+税
* 9 7 8 4 9 0 8 0 5 9 4 4 5 *

読売新聞 2016/10/09



徹底調査子供の貧困が日本を減ぼす～社会的損失 40 兆円の衝撃～(文春新書 1092)
日本財団子どもの貧困対策チーム 著
文藝春秋
6 人に 1 人いるとされる「子供の貧困」を放置すると、年間約 40 兆円の社会的損失が生まれる。日本の最重要課題を、データ分析、当事者インタビュー、学術研究の紹介から国内外の先進的な取組みまで、包括的に論じる。

2016:9./ 227p
978-4-16-661092-1
本体 ¥780+税
* 9 7 8 4 1 6 6 6 1 0 9 2 1 *

読売新聞 2016/10/09



写真家ナダール～空から地下まで十九世紀パリを写した鬼才～
小倉 孝誠 著
中央公論新社
世界初の空中写真、地下水道の写真、多くの文化人の肖像などを撮った近代写真術の開祖、ナダール。彼の書簡と自伝的著作、同時代人の証言と回想に依拠しながら、彼が生きた時代の文化風土を再構成する。図版も多数収録。

2016:9./ 203p
978-4-12-004886-9
本体 ¥2,600+税
* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 8 8 6 9 *

読売新聞 2016/10/09



情報社会の<哲学>～グーグル・ビッグデータ・人工知能～
大黒 岳彦 著
勁草書房
情報社会の本質とは何か。2010 年代の具体的現象をもとに、その存立構造とメカニズムを明らかにする〈哲学〉。

2016:8./ 12p,324p,34p
978-4-326-15438-8
本体 ¥3,600+税
* 9 7 8 4 3 2 6 1 5 4 3 8 8 *

読売新聞 2016/10/09、朝日新聞 2016/10/16



巨大数(岩波科学ライブラリー 253)
鈴木 真治 著
岩波書店
アルキメデスが数えたという宇宙を覆う砂の数、仏典に登場する最大数である不可説不可説転、宇宙の永劫回帰時間、数学の証明に使われた最大の数…。伝説や科学に登場するさまざまな巨大数の壮大な歴史を描く。

2016:9./ 12p,113p
978-4-00-029653-3
本体 ¥1,200+税
* 9 7 8 4 0 0 0 2 9 6 5 3 3 *

読売新聞 2016/10/09、日本経済新聞 2016/10/09



山谷 ヤマの男
多田 裕美子 著
筑摩書房
日雇労働者の街として知られた東京山谷。ここで百人を超える男たちの肖像を撮影した女性カメラマン。エピソードと写真を収録する。

2016:8./ 223p
978-4-480-81531-6
本体 ¥1,900+税
* 9 7 8 4 4 8 0 8 1 5 3 1 6 *

読売新聞 2016/10/09、日本経済新聞 2016/10/30



サイレント・プレス

南 杏子 著
幻冬舎

大学病院から、在宅で「最期」を迎える患者専門のクリニックへの“左遷”を命じられた水戸倫子。いくつもの死と、そこに秘められた“謎”を通して、人生の最後の日々を穏やかに送る手助けをする医療の大切さに気づき…。

2016:9./ 325p
978-4-344-02999-6
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/09、毎日新聞 2016/10/23



覚醒のネットワーク

上田紀行 著
カタツムリ社
読売新聞 2016/10/16

1998:1./ 176p
978-4-906539-12-3
本体 ¥1,131+税



二つの文化と科学革命

C.P.スノー 著
みすず書房
科学と文化が論じられる際にきまって引用、言及される、ケンブリッジでのリード講演「二つの文化と科学革命」ほか 2 篇と「二つの文化と科学革命」をめぐる批判論文 11 篇を収録。84 年刊の新装。

1999:11./ 256p
978-4-622-04970-8
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい〜地球をつなぐ色〜<赤>

長倉 洋海 著
新日本出版社
写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。赤道の水平線に沈む夕日など、「赤」をテーマにした写真を収録する。

2016:5./ 47p
978-4-406-06022-6
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい〜地球をつなぐ色〜<青>

新日本出版社
写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。中央アジアのぬけるような空など、「青」をテーマにした写真を収録する。

2016:6./ 47p
978-4-406-06023-3
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



70歳の日記

メイ・サートン、幾島 幸子 著
みすず書房
残された時間は多くない。故郷ベルギーから切り離された孤立感も深い。しかし「今の私は、生涯でいちばん自分らしい」。詩人で小説家のサートンが、出会いと喪失、発見にみちた濃密な 1 年を、率直につづった日記。

2016:7./ 410p
978-4-622-07862-3
本体 ¥3,400+税



読売新聞 2016/10/16



伊勢と出雲～韓神と鉄～(平凡社新書 821)

岡谷 公二 著

平凡社

日本原初の記憶が刻まれた地でありながら、それぞれ別物とされてきた伊勢と出雲を、古代朝鮮の文化と鉄をキーワードにつなぎ直す。

2016:8./ 207p

978-4-582-85821-1

本体 ¥780+税



読売新聞 2016/10/16



季節の民俗誌

野本 寛一 著

玉川大学出版部

「雪国」に重きをおき、これまであまり日のあたらなかった年中行事や、年中行事の体系のなかに入りにくかった季節にかかわる人びとのいとなみに光をあてる。「自然暦」についても紹介。

2016:7./ 465p

978-4-472-30308-1

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい～地球をつなぐ色～<緑>

新日本出版社

写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。葉脈が陽に浮き立つミクロネシアの朝の芋畑など、「緑」をテーマにした写真を収録する。

2016:8./ 47p

978-4-406-06024-0

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい～地球をつなぐ色～<白>

新日本出版社

写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。すっぽりと雪に埋まった日本の新潟の棚田など、「白」をテーマにした写真を収録する。

2016:8./ 47p

978-4-406-06025-7

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



傷だらけのカミーユ(文春文庫 ル 6-4)

ピエール・ルメートル 著

文藝春秋

カミーユ警部の恋人が強盗事件に巻き込まれ瀕死の重傷を。彼女を守るため警部は独断で犯人を追う。英国推理作家協会賞受賞作。

2016:10./ 387p

978-4-16-790707-5

本体 ¥840+税



読売新聞 2016/10/16



青い海の宇宙港<春夏篇>

川端 裕人 著

早川書房

小学六年生、天羽駆たちは、ロケットの発射場がある島の小学校の宇宙遊学生として一年を過ごす。島の豊かな自然を体験しつつ、夏休みのロケット競技会へ参加する模様を描く、少年の成長物語前篇。

2016:7./ 259p

978-4-15-209629-6

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/10/16



青い海の宇宙港<秋冬篇>

川端 裕人 著

早川書房

もっと遠くへ行くロケットを打ち上げようとする駆たち宇宙探検隊は、町ぐるみの打ち上げミッションを計画。宇宙港のある島から、子どもたちのロケットは飛び立つのか?少年の成長物語、後篇。『SF マガジン』連載を書籍化。

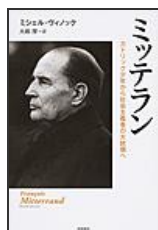
2016:8./ 323p

978-4-15-209630-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/10/16



ミッテラン～カトリック少年から社会主義者の大統領へ～

ミシェル・ヴィノック、大嶋 厚 著

吉田書店

社会党出身のフランス大統領、フランソワ・ミッテラン。ド・ゴールとの対決、左翼の再建と政権交代、欧州統合…。フランス現代史に深い刻印を残した政治家の生涯を、一級の歴史家が描く。

2016:8./ 499p 図版
16p

978-4-905497-43-1

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2016/10/16



東京 JAZZ フェスティバル～ゼロから始めたこだわり音楽フェスの物語～

東京 JAZZ プロジェクト 著

DU BOOKS

2500 人以上のミュージシャンを招聘したアジア最大級のジャズフェス「東京 JAZZ」のすべて。誕生前夜からのヒストリーを振り返るほか、関係者の 15 周年セレブレーションメッセージ、全出演者・曲目リストなどを収録。

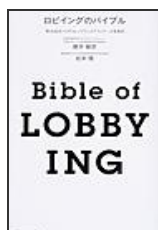
2016:9./ 243p 図版
16p

978-4-907583-95-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/10/16



ロビイングのバイブル

ベクトルパブリックアフェアーズ事業部、藤井 敏彦、岩本 隆 著

プレジデント社

ロビーとは企業から公共性を持って発せられた声を出発点とし、公正に、オープンなやり方で社会をよくしていくためのもの。日本でロビーが遅れた理由を説明し、ロビー活動の始め方を解説。欧米と日本のケーススタディも紹介。

2016:8./ 253p

978-4-8334-5069-0

本体 ¥1,550+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい～地球をつなぐ色～<黄>

新日本出版社

写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。中国・新疆の菜の花畑など、「黄」をテーマにした写真を収録する。

2016:9./ 47p

978-4-406-06026-4

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



世界は広く、美しい～地球をつなぐ色～<黒>

新日本出版社

写真家・長倉洋海が世界 60 カ国以上を巡って出会った人と風景。国境をこえ、人と人、人と大地、人と地球を結ぶ<色>の写真集。サハ共和国の針葉樹林(タイガ)の月など、「黒」をテーマにした写真を収録する。

2016:9./ 47p

978-4-406-06027-1

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/10/16



「火附盗賊改」の正体～幕府と盗賊の三百年戦争～(集英社新書 0851)

丹野 顯 著
集英社

”鬼平”でお馴染みの「火附盗賊改」。だが、その実像を知る人はどれだけいるだろうか。同じく江戸の治安を預かる町奉行とは何がどう違ったのか。盗賊との対決を軸に、彼ら武闘派旗本たちの素顔に迫る。

2016:9./ 253p
978-4-08-720851-1
本体 ¥760+税



読売新聞 2016/10/16



自由の条件～スミス・トクヴィル・福澤諭吉の思想的系譜～(叢書・知を究める 8)

猪木 武徳 著
ミネルヴァ書房

トクヴィルの「アメリカのデモクラシー」を精査していくなかで、アダム・スミス、トクヴィル、福澤諭吉の英仏日の国際的思想伝播の過程を巡り「人間にとっての自由の意味」を今一度問い直す。

2016:9./ 7p,351p,8p
978-4-623-07792-2
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/10/16



繊細な真実(ハヤカワ文庫 NV 1393)

ジョン・ル・カレ 著
早川書房

英国領で極秘に行われた対テロ作戦。国家の大義のもとに隠蔽された恐るべき真実とは?

2016:9./ 447p
978-4-15-041393-4
本体 ¥1,060+税



読売新聞 2016/10/16



森は怪しいワンダーランド

田中 淳夫 著
新泉社

精霊、怪獣、エセ科学...森には不思議な話がいっぱい!森林ジャーナリスト田中淳夫が森の新しい魅力を紹介する抱腹絶倒のノンフィクション。

2016:9./ 254p
978-4-7877-1608-8
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/16



美術品でたどるマリー・アントワネットの生涯(NHK 出版新書 497)

中野 京子 著
NHK出版

マリー・アントワネットの生涯を、ゆかりの絵画や調度品を題材に紡ぐ。カラー図版を豊富に掲載し、王妃の運命を紹介するコラムも収録する。NHK テレビ「テレビでフランス語」番組テキスト連載に加筆し書籍化。

2016:9./ 203p
978-4-14-088497-3
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2016/10/16



昭和プロレス正史<上巻>

斎藤 文彦 著
イースト・プレス

プロレスの歴史的な事件をリアルタイムで活字にしてきた3人のプロレス・ライターの記事などをもとに、昭和のプロレス史をひもとく。上巻は、力道山のプロレス入りから、馬場と猪木のデビューまでを収録。

2016:9./ 485p
978-4-7816-1472-4
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/10/16



難民問題～イスラム圏の動揺、EU の苦悩、日本の課題～(中公新書 2394)

梶岡 桂 著

中央公論新社

紛争が続くイスラム圏、難民・移民の関係した事件が続発する欧州。苦しむ難民を見過ごしてよいのか、だがこのままでは社会が壊れかねない。欧州の苦悩から日本は何を学ぶか。現実に即して難民問題を考える。

2016:9./ 6p,246p

978-4-12-102394-0

本体 ¥860+税



読売新聞 2016/10/16



時限病棟(実業之日本社文庫 ち1-2)

知念 実希人 著

実業之日本社

目覚めると、彼女は病院のベッドで点滴を受けていた。なぜこんな場所にいるのか。監禁された男女 5 人が脱出を試みるも…。ピエロからのミッション、ふたつの死の謎、事件に迫る刑事。タイムリミットは 6 時間。衝撃の結末とは?

2016:10./ 364p

978-4-408-55316-0

本体 ¥593+税



読売新聞 2016/10/16



籠の鸚鵡

辻原 登 著

新潮社

ヤクザ、ホステス、町役場の出納室長。欲望と殺意の果てに現れるむき出しの人間の姿。80 年代半ば、バブル期の和歌山を舞台に、怒涛のスリルと静謐な思索が交錯する傑作長篇。『新潮』連載を書籍化。

2016:9./ 316p

978-4-10-456306-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/16、毎日新聞 2016/10/30



四千の通行人～詩集～

米山 浩平 著

書肆子午線

遊戯でもなく懷疑でもない詩史の揺らぎに対峙する真新しい言葉の生成米山浩平第二詩集刊行!

2016:7./ 85p

978-4-908568-04-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/10/18



真珠川～Barroco～

北原 千代 著

思潮社

水音の底ふかく 砕かれた天窓が映っている やわらかくなれ わたしのあしくびよ (「Barroco」より) 心と身体感知するところを、言葉に導かれるようにして。「繭の家」から 5 年、独自の書記をつきつめた詩集。

2016:8./ 111p

978-4-7837-3527-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/10/18



会いたい人

福岡 健二 著

思潮社

こんにちは、生きている人たち。見えない魔物の力に苦しめられても 地上にあるものは なにかして助けあっている。(「もうすぐ春ですね」より) 2011 年の震災以後に書いたものから、短めの作品を収めた詩集。

2016:9./ 110p

978-4-7837-3528-1

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/10/18



密室の惑星へ

浜江 順子 著
思潮社

糸を怖く引き 影をつつと伝い まだにぶさの抜けない闇の夜を連れてくると 絞め殺しの木が 突然 いや突然ではなく やはり突然か 錐のような鋭角な殺意になる(「這う殺意」より) 第7詩集。

2016:10./ 125p
978-4-7837-3537-3
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2016/10/18



逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

渡辺 京二 著
平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え……。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

2005:9./ 604p
978-4-582-76552-6
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2016/10/23



お墓の大問題(小学館新書 269)

吉川 美津子 著
小学館

承継者がいない無縁墓の危機、お寺から請求される「離壇料」、夫の先祖と同じお墓に入りたくない「死後離婚」...。お墓を巡る様々な問題をあらゆる角度から分析し、解決策を指南する。

2016:8./ 222p
978-4-09-825269-5
本体 ¥760+税



読売新聞 2016/10/23



お茶をどうぞ～対談向田邦子と16人～

向田 邦子 著
河出書房新社

対談の名手と言われた向田邦子が、黒柳徹子、森繁久彌、久世光彦らと語った傑作対談集。テレビと小説、食やおしゃれ、男の品定め等。

2016:8./ 244p
978-4-309-02489-9
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/10/23



帝国ホテルの考え方～本物のサービスとは何か～

犬丸 徹郎 著
講談社

伝統と格式、そして柔軟性あるサービスで他のホテルの追随を許さない帝国ホテル。創業家三代目とそのサービスの魅力と奥深さを開陳する。

2016:8./ 204p
978-4-06-220158-2
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/10/23



ここまで変わった日本史教科書

高橋 秀樹、三谷 芳幸、村瀬 信一 著
吉川弘文館

中学生・高校生が学ぶ日本史は不変のものではない。日本史教科書の現在を知るために、46 のテーマを設け、記述の変化とその根拠となる研究の進展を解説する。『週刊朝日百科 日本の歴史』連載をもとに書籍化。

2016:8./ 6p,227p
978-4-642-08299-0
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/10/23



「いい夫婦」の旅術

岩中 祥史 著

小石川書館

2 人で行った!観た!聴いた!「ナマ」にこだわり、40 カ国超を駆けめぐった◎注目の旅行書!

読売新聞 2016/10/23

2016:7./ 285p

978-4-908610-00-4

本体 ¥1,700+税



日本震災史～復旧から復興への歩み～(ちくま新書 1210)

北原 糸子 著

筑摩書房

震災は日本社会をいかに作り替えてきたのか。有史以来、明治までの震災の復旧・復興史に焦点を当て、災害対策の歩みを明らかにする。

読売新聞 2016/10/23

2016:9./ 334p

978-4-480-06916-0

本体 ¥980+税



ヒトラーと物理学者たち～科学が国家に仕えるとき～

フリップ・ボール、池内 了、小畑 史哉 著

岩波書店

権力や名声には無関係と思える科学者たちが、ナチス政権に奉仕することになっていったのはなぜか。プランク、ハイゼンベルク、デバ依という3人の著名なノーベル賞学者を中心に、人間の弱さ・したたかさを問う。

読売新聞 2016/10/23

2016:9./ 11p,401p,12p

978-4-00-005887-2

本体 ¥3,700+税



歌の子詩の子、折口信夫

持田 叙子 著

幻戯書房

日本近代文学運動とその相関図の中に折口を位置づけ、文学者としての折口が切り開いた、古代と近代を結ぶ試みを読み解く。

読売新聞 2016/10/23

2016:9./ 259p

978-4-86488-107-4

本体 ¥2,800+税



日本女性の底力(講談社+α 文庫 A165-1)

白江 亜古 著

講談社

80 歳、90 歳になっても、現役。舞台美術家・朝倉摂、作家・瀬戸内寂聴、生活評論家・吉沢久子ら、日本を代表する各界の一流の女たち 27 人が人生や仕事、家族などを語る、熱いインタビュー集。

読売新聞 2016/10/23

2016:9./ 357p

978-4-06-281688-5

本体 ¥720+税



アセアン統合の衝撃～EU の蹉跌をいかに乗り越えるのか～

西村 英俊、小林 英夫、浦田 秀次郎 著

ビジネス社

関税・非関税障壁撤廃、EU のようなヒト・モノ・カネの自由な移動、さらに通貨統一を目指しているアセアン。この巨大経済圏と、日本はどう付き合えばいいのか。アセアンの最近の動きを踏まえて将来展望を大胆に予測する。

読売新聞 2016/10/23

2016:9./ 207p

978-4-8284-1904-6

本体 ¥1,600+税





世界の歴史都市〜ビジュアル版〜

ジョン・ジュリアス・ノーウィッチ 編

福井 正子 著

柊風舎

古代から近代まで、めざましい繁栄の時代を築いた歴史都市を、臨場感あふれる文章と写真で再現。芸術や建築、交易、旅と冒険、経済など、その時代を生きた人々のエピソードを交え、各都市の栄枯盛衰を浮き彫りにする。

2016:9./ 303p

978-4-86498-039-5

本体 ¥15,000+税



* 9 7 8 4 8 6 4 9 8 0 3 9 5 *

読売新聞 2016/10/23



子どもの「手づかみ食べ」はなぜ良いのか?(IDP 新書 014)

山口 平八、清水 フサ子 著

IDP出版

長年子どもの発達過程に関わってきた山口平八と、どんぐり保育園・どんぐりっこ保育園の創設者である清水フサ子の対談を収録。手づかみ食べ期の子どもを中心に、子どもの食と発達について話し合う。

2016:9./ 235p

978-4-905130-22-2

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 9 0 5 1 3 0 2 2 2 *

読売新聞 2016/10/23



坊ちゃんのそれから

芳川 泰久 著

河出書房新社

大暴れして教師を辞め、東京に帰った坊っちゃん和山嵐。激動の明治を駆け抜ける二人の「それから」を描く、驚愕の「続坊っちゃん」!

2016:10./ 299p

978-4-309-02508-7

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 0 8 7 *

読売新聞 2016/10/23



ホッピー文化論

ホッピー文化研究会 編

碧海 寿広 著

ハーベスト社

酒のみならず、酒を通して現代社会とそこで生きる人々について学問的に語る、ホッピー文化論。ホッピー大衆化の歴史的背景や、ホッピーが醸し出すノスタルジア、メディアが創出するホッピー・イメージの変遷などを論じる。

2016:8./ 177p

978-4-86339-079-9

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 8 6 3 3 9 0 7 9 9 *

読売新聞 2016/10/23



とりつくしま(ちくま文庫 ひ 19-1)

東 直子 著

筑摩書房

死んだあなたに、「とりつくしま係」が問いかける。この世に未練はありませんか。すでに失われた人生が凝縮してフラッシュバックのように現れ、切なさや温かさや哀しみ、そして少しのおかしみが滲み出る、珠玉の短篇小説集。

2011:5./ 213p

978-4-480-42829-5

本体 ¥600+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 2 8 2 9 5 *

読売新聞 2016/10/30



幕末外交儀礼の研究〜欧米外交官たちの将軍拝謁〜

佐野 真由子 著

思文閣出版

安政4年に初めて行われた欧米諸国の外交官による将軍拝謁以後、幕府は自らの儀礼伝統に則り、同時に西洋の慣習とも齟齬のない形で、その儀礼を完成させていった。儀礼の詳細を解明し、儀礼が整えられていった過程を追跡する。

2016:7./ 6p,403p,19p

978-4-7842-1850-9

本体 ¥5,000+税



* 9 7 8 4 7 8 4 2 1 8 5 0 9 *

読売新聞 2016/10/30



秘密解除ロッキード事件～田中角栄はなぜアメリカに嫌われたのか～

奥山 俊宏 著

岩波書店

逮捕された田中角栄元首相はアメリカの虎の尾を踏んでしまったのか？ 三木政権の中枢はどう動いたか？ 米国の国立公文書館や大統領図書館などで発掘した文書をもとに、新たな視点からロッキード事件を読み直す。

2016:7./ 14p,294p,24p

978-4-00-024526-5

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 0 0 2 4 5 2 6 5 *

読売新聞 2016/10/30



ファイティング 40、ママはチャンピオン

鈴木 一功 著

新潮社

妻、40 歳。二児の母にして、プロボクシング女子フェザー級世界王座挑戦者!? 戦いの日々、夫婦と家族の絆を問い直す中篇小説。

2016:7./ 139p

978-4-10-350131-2

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 1 0 3 5 0 1 3 1 2 *

読売新聞 2016/10/30



ニクソン訪中機密会談録 増補決定版

名古屋大学出版会

機密文書公開、そして検閲解除。今日の米中関係の始まりとなった、世紀の外交会談の全貌!

2016:7./ 4p,336p,8p

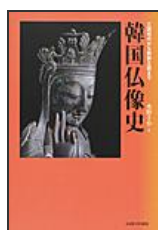
978-4-8158-0843-3

本体 ¥3,600+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 4 3 3 *

読売新聞 2016/10/30



韓国仏像史～三国時代から朝鮮王朝まで～

水野 さや 著

名古屋大学出版会

豊かな造形を誇り、独自の美を示して華ひらいた朝鮮半島の仏像史を、包括的に紹介。日本・中国の作例との深い関連性を縦横に捉えて、東アジア圏での交流の重要性を浮彫りにする。

2016:8./ 3p,265p,16p

図版 16p

978-4-8158-0847-1

本体 ¥4,800+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 4 7 1 *

読売新聞 2016/10/30



新怖い絵

中野 京子 著

KADOKAWA

「怖い絵」シリーズの大ヒットで知られる中野京子が、満を持して刊行する新刊。モネ、ミレー、シャガール……誰もが知るきれいな名画に、まさかこんな怖い物語が潜んでいたとは……。

2016:7./ 212p

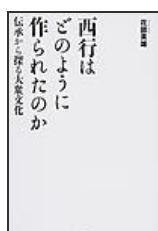
978-4-04-104642-5

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 6 4 2 5 *

読売新聞 2016/10/30



西行はどのように作られたのか～伝承から探る大衆文化～

花部 英雄 著

笠間書院

人々に愛される中世の歌人・西行の姿は、時代を経て多様に変化してきた。昔話や伝説、歌、民謡など、大衆の声により伝わってきた西行伝承を検証し、伝承地を訪ね、伝承から西行像を形作ってきた大衆文化の性質を探る。

2016:8./ 257p,10p

978-4-305-70805-2

本体 ¥3,300+税



* 9 7 8 4 3 0 5 7 0 8 0 5 2 *

読売新聞 2016/10/30



逃北～つかれたときは北へ逃げます～(文春文庫 の 16-6)

能町 みね子 著

文藝春秋

たまの休暇も誕生日も、会社を辞めると決めた日も、北へ旅に出た。自らを探した「逃北」エッセイ。巻末に千葉雄大との特別対談収録。

2016:10./ 274p

978-4-16-790716-7

本体 ¥650+税



読売新聞 2016/10/30



訪日中国人から見た中国と日本～インバウンドのあり方～

張 兵 著

日本僑報社

公表されている各種データに基づき、中国人訪日旅行の現状と未来、またその背景となる中国の諸事情について概観。さらに訪日中国人から見た日本及び日本におけるインバウンドのあり方について解説、議論を行う。

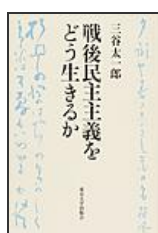
2016:9./ 5p,129p

978-4-86185-219-0

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2016/10/30



戦後民主主義をどう生きるか

三谷 太一郎 著

東京大学出版会

歴史上の日本の民主主義は、すべて何らかの「戦後民主主義」であった。戦後70年を経てあらためて「戦後」の意味を問い、現代史の深みから日本の民主主義における個人の生き方について考える。

2016:9./ 5p,262p

978-4-13-003339-8

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/10/30



誰だって「なりたい自分」になれる～ワシントン DC の女性が教えてくれた私らしく輝く方法～

ボーク重子 著

海竜社

「なりたい自分」になるためには、勇気だけでなく「スキル」も必要。ワシントン DC 在住 19 年目の著者が、ワシントン DC に住む優しくして強く、幸せに美しく生きる最高に可愛い女性達の素敵なライフスキルを紹介します。

2016:8./ 206p

978-4-7593-1508-0

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/10/30



明るい夜に出かけて

佐藤 多佳子 著

新潮社

今は学生でいたくなかった。コンビニでバイトし、青くない海の街でひとり暮らしを始めた。唯一のアイデンティティは深夜ラジオのリスナーってこと…。若さと生きることのすべてが詰まった長篇小説。

2016:9./ 284p

978-4-10-419004-1

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/10/30



レモンパイはメレンゲの彼方へ

もとした いづみ 著

ホーム社

懐かしい味から、想像もつかない不思議な食べものまで。人気の絵本作家が選び抜いた「本のなかのおやつ」について綴る、読んだら食べたくなり、食べたなら読みたくなるエッセイ。書き下ろし。

2016:9./ 167p

978-4-8342-5313-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/10/30



一流の営業マンはなぜお客様から何度もゴルフに誘われるのか(PHP ビジネス新書 364)

川田 修 著

PHP研究所

お客様に信頼され、深い関係を築く——そのために必要なものをゴルフから学んだ著者が、ゴルフを例に仕事で大切なことの本質を語る。

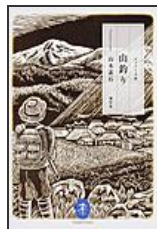
2016:9./ 233p
978-4-569-83041-4

本体 ¥870+税



* 9 7 8 4 5 6 9 8 3 0 4 1 4 *

読売新聞 2016/10/30



山釣り〜山本素石傑作集〜(ヤマケイ文庫)

山本 素石 著

山と溪谷社

野人の風貌をもって、溪流釣り文学に挑んだ山本素石の傑作集を復刻。熱狂とロマンと哀愁に満ちた全 28 篇を収録する。素石の生涯が知れる熊谷栄三郎の解説も掲載。失われつつある昭和の山村風景の貴重な記録でもある。

2016:10./ 291p
978-4-635-04820-0

本体 ¥890+税



* 9 7 8 4 6 3 5 0 4 8 2 0 0 *

読売新聞 2016/10/30



もうひとつの京都

アレックス・カー 著

世界文化社

お寺にはなぜ扉のついていない門があるのでしょうか…。米国生まれの東洋文化研究者が、京都を舞台に「門」「塀」「床」「襖」など、私たちににとっては当たり前の日本を独自の切り口で読み解く。英語版も同時刊行。

2016:9./ 328p
978-4-418-16510-0

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 4 1 8 1 6 5 1 0 0 *

読売新聞 2016/10/30



江戸散歩 決定版

山本 博文 著

KADOKAWA

将軍の庭・浜離宮恩賜庭園、江戸庶民の信仰を集めた寺・金龍山浅草寺…。歴史学の第一人者が、東京に今も残る江戸を、切絵図と現代地図、アクセス情報、豊富な写真とともに詳しく紹介する。

2016:10./ 381p
978-4-04-400182-7

本体 ¥1,850+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 1 8 2 7 *

読売新聞 2016/10/30



宿命〜「よど号」亡命者たちの秘密工作〜(新潮文庫)

高沢 皓司 著

新潮社

日本経済新聞 2016/10/02

2000:7./ 685p
978-4-10-135531-3

本体 ¥857+税



* 9 7 8 4 1 0 1 3 5 5 3 1 3 *



利他のすすめ〜チョーク工場で学んだ幸せに生きる18の知恵〜

大山 泰弘 著

WAVE出版

利他とは、人の役に立つこと。その積み重ねが、幸せな自分をつくる。知的障害者に導かれて「日本でいちばん大切にしたい会社」をつくった経営者が、彼らに学んだ知恵を伝える。

2010:12./ 175p
978-4-87290-508-3

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 8 7 2 9 0 5 0 8 3 *

日本経済新聞 2016/10/02

No Image	昭和 40 年 5 月 28 日～山一事件と日銀特融～ 草野厚 著 日本経済新聞出版社 日本経済新聞 2016/10/02	1986:6./ 239p 978-4-532-08733-3 本体 ¥1,200+税  * 9 7 8 4 5 3 2 0 8 7 3 3 3 *
No Image	徳川家康<1> 出生乱離の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 竹千代(家康)が生まれた年、信玄は 22 歳、謙信は 13 歳、信長は 9 歳であった。 動乱期の英傑が天下制覇の夢を抱くさなかの誕生。それは弱小松平党にとって は希望の星であったー 日本経済新聞 2016/10/02	1987:10./ 502p 978-4-06-195023-8 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 0 6 1 9 5 0 2 3 8 *
No Image	徳川家康<2> 獅子の座の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 幼くして母との離別。そして今川家への人質。さらに父広忠の非業の死。乱世の 嵐は容赦なく竹千代を翻弄する。しかし、思いかけず宿敵織田方の手に落ちた運 命のいたずらで、竹千代は生涯の盟友となる信長と相まみえた。 日本経済新聞 2016/10/02	1987:10./ 500p 978-4-06-195024-5 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 0 6 1 9 5 0 2 4 5 *
No Image	徳川家康<3> 朝露の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 駿府の人質となっている三河の竹千代は、元服して松平次郎三郎元信と名乗っ た。やがて恋が芽ばえ、今川義元の姪瀬名姫と結婚、名も元康と改める。だがこ の結婚、元康生涯の幸せを約束するものであったか? 日本経済新聞 2016/10/02	1987:11./ 510p 978-4-06-195025-2 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 0 6 1 9 5 0 2 5 2 *
No Image	徳川家康<4> 葦かびの巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 今川義元の死は元康の運命を大きく変えた。敗戦にまぎれ岡崎へ帰城、独立の 第一歩がいま踏み出されたのだ。信長との同盟もなり、徳川家康と改名、今川の 旧領を掌握して勢力を上げたが、それは妻瀬名姫のはげしい反感と憎悪を買っ た。 日本経済新聞 2016/10/02	1987:11./ 478p 978-4-06-195026-9 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 0 6 1 9 5 0 2 6 9 *
No Image	徳川家康<5> うず潮の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 元亀 3 年(1570)、武田信玄がついに上洛戦の火蓋を切った。天下布武を豪語す る信長と呼応した家康は、武田軍を捨て身で三方ヶ原に迎え撃つ。 日本経済新聞 2016/10/02	1987:11./ 518p 978-4-06-195027-6 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 0 6 1 9 5 0 2 7 6 *

No Image	徳川家康<6> 燃える土の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 信玄陣没の風聞に接した家康は、武田勝頼の機先を制して長篠城を手中に収めた。同じ日、越前では信長が朝倉義景の首を実検していた。戦乱の猛火はますます拡大しつつある。	1987:11./ 517p 978-4-06-195028-3 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		
No Image	徳川家康<7> 颯風の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 長篠の役は織田・徳川連合軍の圧勝に終わり、武田騎馬軍団は潰滅した。この戦いで、日本の戦術を一変させた信長の武名は天下に轟き、家康も日増しに貫禄を加えた。	1987:12./ 494p 978-4-06-195029-0 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		
No Image	徳川家康<8> 心火の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 武田勝頼を甲斐天目山にほふった信長は、中国攻略中の秀吉の援軍にみずから出馬する。順風満帆、威風堂々、だがその目前に本能寺の罠が待ち受けていようとは。	1987:12./ 467p 978-4-06-195030-6 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		
No Image	徳川家康<9> 碧雲の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 光秀を討って主君の仇を報じた秀吉はその手柄を盾として、天下取りへの活動を開始した。最大の敵・柴田勝家を倒すにおよんで、もはや天下に敵なし、と見えた。	1987:12./ 462p 978-4-06-195031-3 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		
No Image	徳川家康<10> 無相門の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 小牧・長久手の地に、秀吉と家康は宿命の対陣に入った。両者智略を尽したかけ引きの末の和睦の条件は、家康の次男を秀吉の養子とすることだった。戦いには勝っていると信ずる三河武士団は血涙を噴騰させた。	1987:12./ 509p 978-4-06-195032-0 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		
No Image	徳川家康<11> 竜虎の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 天下統一のためには家康に臣下の礼をとらせなければならない。肉親家臣の犠牲もやむをえない。秀吉の政略は青白い陰火の相をおびはじめた。佐治秀正との愛の巢を無残に裂かれた朝日姫の悲嘆、秀正の憤死。	1988:1./ 526p 978-4-06-195033-7 本体 ¥740+税 
日本経済新聞 2016/10/02		

**徳川家康<12> 華厳の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

秀吉の妹朝日姫を正室に迎えたうえ、生母大政所(おおまんどころ)を人質同然に差し出されては、家康も上洛を拒み通すことはできない。竜虎の提携は成立した。秀吉は勇躍して九州征伐に向かい、家康は東国経営に乗り出す。

1988:1./ 509p

978-4-06-195034-4

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<13> 侘茶の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

九州征伐に成功し、北野の大茶会で威を天下に示した秀吉は、小田原の北条氏攻略に着手、家康は先鋒を命じられた。同時に関東への転封を強いられ、家臣団は激怒する。怒りは家康にもある。しかし涙をのんで江戸へ移った。

1988:1./ 486p

978-4-06-195035-1

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<14> 明星またたくの巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

順風満帆の晩年を迎えた秀吉には、千利休の生命を賭した抵抗は大きな驚きであった。そこへ弟秀長の死。秀吉の理性は大波に揺らぐ小舟と化した。彼は利休に切腹を命じ、ついで生涯の業績をまっ黒に塗りつぶす朝鮮出兵の暴挙に出た。

1988:1./ 493p

978-4-06-195036-8

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<18> 関ヶ原の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

慶長 5 年 9 月 15 日、運命の関ヶ原で戦いの火ぶたは切られた。東軍 7 万 5 千対西軍 10 万 8 千。世にいう天下分け目の合戦である。しかし、歴史のめざす方向は、すでにその前から定まっていたのかもしれない。

1988:2./ 494p

978-4-06-195040-5

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<17> 軍荼利の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

石田三成の家康に対する敵意はますますつのった。だが皮肉にも彼は、秀吉子飼いの七将の襲撃を避けるため家康の庇護を受ける羽目に。いったん三成を近江へ帰した家康は、上杉討伐を名目に出兵を決行。

1988:2./ 477p

978-4-06-195039-9

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<15> 難波の夢の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

秀頼の誕生は新たな権力争いの種となり、関白秀次の自刃とその妻妾 30 余人の斬殺という悲劇を招いた。一方、伏見大地震の混乱の中で迎えた明の講和使節が、実は無礼きわる冊封使だとわかると、秀吉は烈火のごとく怒り朝鮮再征の令を下す。

1988:2./ 478p

978-4-06-195037-5

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<16> 日蝕月蝕の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

太閤秀吉の死後には難題が山積していた。朝鮮からの撤兵用船舶の不足、日ましにつる武断派武將と文治派吏將の対立、そして秀頼の母公淀君の頑迷と我執……。秀吉に後事を托された家康の使命は重い。

1988:2./ 486p

978-4-06-195038-2

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<19> 泰平胎動の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

慶長 8 年 2 月、家康は征夷大將軍に就任し、いよいよ天下人として、理想の国家づくりに着手した。徳川・豊臣両家の和合のため、孫の千姫を秀頼に嫁がせ、「斬り取り勝手」の戦国の常識を根底から改革しようとする。

1988:3./ 485p

978-4-06-195041-2

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<20> 江戸・大坂の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

江戸に幕府を開いた家康の封建政治はようやく人々の理解を得て根づくかに見えた。日本は世界一の進歩国家として世界に知られ、国内では秀忠に嫡子竹千代が生まれて徳川の基礎も固まった、と思われた。

1988:3./ 454p

978-4-06-195042-9

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

**徳川家康<21> 春雷遠雷の巻(山岡荘八歴史文庫)**

山岡 荘八 著

講談社

着々と国内統治を進める一方で、家康は海外貿易に情熱を見せる。と、ここにもまた 1 つの矛盾が生じた。紅毛人対南蛮人の確執。それは世界の海に野望を燃やす大久保長安の奇怪な夢を煽り、伊達政宗、松平忠輝をもふしぎな野心の渦に捲きこんだ。

1988:3./ 515p

978-4-06-195043-6

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02

	徳川家康<22> 百雷落つるの巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 大久保長安の“貿易日本”建設の野心は、松平忠輝と伊達政宗の心を大きく揺さぶった。しかし野心は時として無謀を呼ぶ。はたして長安の動きは、旧教宣教師や関ヶ原牢人の、徳川覆滅の夢を煽る導火線となった。	1988:3./ 478p 978-4-06-195044-3 本体 ¥740+税 
	徳川家康<23> 蕭風城の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 大久保長安の遺した不思議な連判状は何を意味するのか。やはり大坂は討たねばならないのか。しかし家康の願いは豊臣家存続にある。そのためには戦(いくさ)の回避と大坂開城が必要絶対条件だった。	1988:4./ 478p 978-4-06-195045-0 本体 ¥740+税 
	徳川家康<24> 戦争と平和の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 大坂冬の陣!籠城を決定した大坂方は河内出口村の堤を破壊し、枚方(ひらかた)付近の道を閉ざした。しかし家康は容易に二条城を動かず、東海道を大軍で西上する秀忠にも、「急ぐな」との命を発する。	1988:4./ 470p 978-4-06-195046-7 本体 ¥740+税 
	徳川家康<25> 孤城落月の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 大坂夏の陣!濠を埋められ、籠城できなくなった大坂方は城外に打って出た。名ある猛将も相次いで倒れ、太閤以来の名城も紅蓮の焰に包まれる。そして、家康の最後の悲願淀君・秀頼母子の救出も水泡に帰した。	1988:4./ 494p 978-4-06-195047-4 本体 ¥740+税 
	徳川家康<26> 立命往生の巻(山岡荘八歴史文庫) 山岡 荘八 著 講談社 豊臣家滅亡後の家康に残された仕事は幕府永続の礎石固め、すなわち確乎とした泰平の世づくりであった。「人間はみな永遠に続く大樹の枝葉なのだ」という万民の愛と安らぎをめざす世を!	1988:4./ 510p 978-4-06-195048-1 本体 ¥740+税 
	老人よ、花と散れ～思いのままに生きる～ 三浦 朱門 著 光文社 七十のジジイは、もはや、彼に生きていて欲しいと願う人は一人もいないのだ。恥じ多い生き方をする必要はなく、思いのままに生きても許されるのである(本文より)。自戒を元に新しい老い方を問う。	1998:9./ 233p 978-4-334-97191-5 本体 ¥1,200+税 



地の底のヤマ

西村 健 著

講談社

呑んだ、愛した、闘った!九州大牟田・三池炭鉱。故郷を深く愛するひとりの警官の人生を軸に、昭和35年から現在に至る熱き男たちの生き様を描く。

日本経済新聞 2016/10/02

2011:11./ 863p

978-4-06-217344-5

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 0 6 2 1 7 3 4 4 5 *



高橋是清と井上準之助〜インフレか、デフレか〜(文春新書 858)

鈴木 隆 著

文藝春秋

いまの日本に必要なのは、国債のバラマキか、それとも財政緊縮か。昭和のはじめ、同じ問題に直面していた高橋是清と井上準之助。だが、ともに劇薬の扱いを誤り、この国を悲劇へと導いた…。ふたりの闘いと失敗を活写する。

日本経済新聞 2016/10/02

2012:3./ 255p

978-4-16-660858-4

本体 ¥830+税



* 9 7 8 4 1 6 6 6 0 8 5 8 4 *



辻井喬=堤清二〜文化を創造する文学者〜

菅野 昭正 編

栗津 則雄、松本 健一、三浦 雅士、山口 昭男、小池 一子 著

平凡社

西武百貨店総帥として「セゾン文化」を創る一方、文学者として活躍した巨人を、生前縁の深かった6人が文学、実業などの面から回顧。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:3./ 223p

978-4-582-83719-3

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 3 7 1 9 3 *



堤清二 罪と業〜最後の「告白」〜

児玉 博 著

文藝春秋

この家族を支配したのは、愛か、狂気か。放埒の限りを尽くした父と、暴君と化した異母弟。セゾングループを率いた堤清二が、死の前に明かした堤一族の栄華と崩壊の悲劇。『文藝春秋』連載を大幅に加筆し単行本化。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:7./ 190p

978-4-16-390494-8

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 4 9 4 8 *



超大国・中国のゆくえ<5> 勃興する「民」

新保 敦子、阿古 智子 著

東京大学出版会

急速な経済成長の陰でさまざまな矛盾を抱える中国社会の実相に迫り、そのゆくえを展望する。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:7./ 8p,237p

978-4-13-034295-7

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 1 3 0 3 4 2 9 5 7 *



インドから考える〜子どもたちが微笑む世界へ〜

アマルティア・セン、山形 浩生 著

NTT出版

インドが生んだ世界の叡智アマルティア・センが、経済・社会政策の問題にとどまらず、インドの民主主義の在り方やその歴史的・文化的背景についても縦横に論じる。国連、インド国会等、さまざまな場所で行った講演も収録。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:8./ 21p,319p

978-4-7571-4345-6

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 7 5 7 1 4 3 4 5 6 *



魚が食べられなくなる日(小学館新書 278)

勝川 俊雄 著

小学館

クロマグロ、ウナギは絶滅危惧種、ホッケは 9 割減、ニシン漁はほぼ壊滅状態…。気鋭の水産学者が、乱獲による漁業資源の危機的状況を明らかにし、海外漁業国の成功例も含めて、日本の魚食文化を守るための方策を綴る。

2016:8./ 205p

978-4-09-825278-7

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2016/10/02



新・中華街～世界各地で<華人社会>は変貌する～(講談社選書メチエ 632)

山下 清海 著

講談社

改革開放後、新華僑によって形成されてきた世界各地の「新・中華街」を訪ね歩き、現地化する食文化と、地縁・血縁を絆とする強いコミュニティの実態を調査。新華僑を送り出す中国の町「僑郷」の暮らしもレポートする。

2016:9./ 214p

978-4-06-258635-1

本体 ¥1,550+税



日本経済新聞 2016/10/02



東京の横丁(講談社文芸文庫 な D8)

永井 龍男 著

講談社

没後発見された手入れ稿に綴られた、生まれ育った神田、終の住処鎌倉、設立まもなく参加した文藝春秋社の日々。詩情と美学に貫かれた名随筆に、死を見据えた短篇「冬の梢」を併録した、永井龍男最後の名品集。

2016:9./ 310p

978-4-06-290322-6

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/02



日記で読む日本文化史(平凡社新書 825)

鈴木 貞美 著

平凡社

なぜ日本人は日記好きなのか。古代天皇の行動を記録した実録にまで遡り、どのように日記文化が広がっていったか。その変遷をたどる。

2016:9./ 286p

978-4-582-85825-9

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2016/10/02



脳にきく色 身体にきく色(日経プレミアシリーズ 317)

入倉 隆 著

日本経済新聞出版社

くすんだ黄や茶は人の気持ちを癒やす、白地に青で絵付けされた皿は食欲をそそる、青い車は事故に遭いやすい…。色が人の心や身体に与える不思議な影響を具体的に解説する。思わず誰かに話したくなる蘊蓄が満載。

2016:8./ 175p

978-4-532-26317-1

本体 ¥850+税



日本経済新聞 2016/10/02



東京會館とわたし<上> 旧館

辻村 深月 著

毎日新聞出版

大正 11 年、丸の内に落成した国際社交場・東京會館。海外ヴァイオリニストのコンサート、灯火管制下の結婚式、未知のカクテルを編み出すバーテンダー…。 “會館の人々”が織り成すドラマ。『サンデー毎日』連載を単行本化。

2016:8./ 285p

978-4-620-10821-6

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/02



東京會館とわたし<下> 新館

辻村 深月 著
毎日新聞出版

昭和 46 年、新館への建て替えを経た東京會館。緊張で肩を震わす舞台女優、東日本大震災の日、直木賞授賞を知らされた父子…。東京會館の歴史を下敷きとした、優しさと慈しみに満ちた物語。『サンデー毎日』連載を単行本化。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:8./ 285p
978-4-620-10822-3
本体 ¥1,500+税



鬼才五社英雄の生涯(文春新書 1087)

春日 太一 著
文藝春秋

極彩色のエンターテイナー、映画監督・五社英雄。自らの人生も「演出」した男はなぜその背に鬼を彫り込んだのか? 虚実ハッキリ入り乱れた生涯に翻弄されながら、渾身の取材で「鬼」の真実に迫る。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:8./ 317p
978-4-16-661087-7
本体 ¥920+税



相倉久人にきく昭和歌謡史

相倉 久人、松村 洋 著
アルテスパブリッシング

卓抜なジャズ評論で時代を画した相倉久人が自在に語りおろした日本ポップス文化論。エノケン、服部良一、坂本九、クレージーキャッツ、百恵・聖子・明菜・奈保子など、流行歌を通して昭和を見る。松村洋との連続対談を再構成。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:9./ 317p
978-4-86559-146-0
本体 ¥2,000+税



辻井喬と堤清二

近藤 洋太 著
思潮社

辻井喬と堤清二、二つの貌が生まれた思想的端緒とは何か。最晩年のインタビューや証言、作品の読解をもとに、辻井喬が生き抜いた戦後に伴走し、人間存在の不条理に切り結ぶ詩精神を問い直す。『現代詩手帖』連載に加筆・訂正。

日本経済新聞 2016/10/02

2016:9./ 231p
978-4-7837-3806-0
本体 ¥2,300+税



外来種は本当に悪者か? ~新しい野生 THE NEW WILD~

フレッド・ビアス 著
草思社

想像の産物である「手つかずの自然」を守るより、外来種の活力と「侵略本能」を活かして自然の再生をめざすべき! 著名科学ジャーナリストによる、外来種のイメージを根底から覆す知的興奮にみちた科学ノンフィクション。

日本経済新聞 2016/10/02、朝日新聞 2016/10/23

2016:7./ 320p,15p
978-4-7942-2212-1
本体 ¥1,800+税



ピカソになりきった男

ギィ・リブ、鳥取 絹子 著
キノブックス

その朝、俺はピカソだった。その贋作が俺の最後の作品になり、数時間後に逮捕されるとは思ってもいなかった。30 年間、贋作を作り続けた男が明かす、美術界の知られざる実態。

日本経済新聞 2016/10/02、朝日新聞 2016/10/23、産経新聞 2016/10/24

2016:8./ 254p
978-4-908059-45-2
本体 ¥1,600+税





水力発電が日本を救う～今あるダムで年間2兆円超の電力を増やせる～

竹村 公太郎 著

東洋経済新報社

『日本史の謎は「地形」で解ける』の著者が断言。世界にも稀な地形と気象の日本は、既存ダム徹底活用でエネルギー大国になれる!

2016:8./ 190p

978-4-492-76228-8

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/02、朝日新聞 2016/10/30



切本

左右社集部 編

左右社

なぜか勇気がわいてくる!夏目漱石、谷崎潤一郎、谷川俊太郎、吉本ばなな、西加奈子ら、明治から現在にいたる90人の書き手たちによる、泣けて笑えて役に立つ切本にまつわるエッセイ・手紙・日記・対談などを収録する。

2016:9./ 365p

978-4-86528-153-8

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2016/10/02、東京・中日新聞 2016/10/09、朝日新聞 2016/10/23



何様

朝井 リョウ 著

新潮社

生きるとは、何者かになったつもりの自分に裏切られ続けることだ。2012年刊「何者」のアナザーストーリー。『小説新潮』掲載ほか書下ろしを含めた全6篇を収録する。

2016:8./ 316p

978-4-10-333062-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/02、東京・中日新聞 2016/10/16、朝日新聞 2016/10/23



夢みる教養～文系女性のための知的生き方史～(河出ブックス 097)

小平 麻衣子 著

河出書房新社

「教養」という語に折りたたまれた心性の変遷を解きほぐし、前向きに学ぶ女性たちの、実現されない夢の構造を明らかにする。

2016:9./ 201p

978-4-309-62497-6

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/02、東京・中日新聞 2016/10/23



花と樹木と日本人

有岡 利幸 著

八坂書房

日本文化を彩る植物。植物文化史研究の第一人者が、梅・桜・杉・松・柳・椿・楓・藤の8種類の樹木を取り上げ、語源から利用、園芸、花見まで、日本人との関わりの歴史を探る。多数の図版も収録。

2016:9./ 317p

978-4-89694-226-2

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2016/10/02、東京・中日新聞 2016/10/30



アマゾンと物流大戦争(NHK 出版新書 495)

角井 亮一 著

NHK出版

アマゾンが仕掛ける物流革命により、経済の地殻変動が起こり始めている。あらゆるビジネスを飲み込む巨人の正体とは?流通先進国アメリカで取材を重ねる気鋭の物流コンサルタントが、日米ビジネスの最前線からレポートする。

2016:9./ 221p

978-4-14-088495-9

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/30



世界をつくった6つの革命の物語～新・人類進化史～

スティーブン・ジョンソン 著

朝日新聞出版

ガリレオは祭壇ランプに何を見たか? 古代洞窟に歌は響いたか? イヌイットの瞬間冷凍とは? 「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」という、文明を変えた 6 つの大発明を切り口に、人類進化の歴史をひもとく。

2016:8./ 339p

978-4-02-331530-3

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2016/10/02、毎日新聞 2016/10/02



過去と未来の間～政治思想への8試論～

ハナ・アーレント、引田隆也 著

みすず書房

歴史や伝統、権威と自由のありかたを根源から思考する一方で、現実の教育や大衆文化について、カントをもちだしながら描く、見事な筆さばき。20 世紀の時代と哲学と政治の交差点にいたユダヤ人女性のすべてがある書。

1994:9./ 428p

978-4-622-03648-7

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2016/10/09



人間の条件(ちくま学芸文庫)

ハンナ・アーレント、志水 速雄 著

筑摩書房

本書は、全体主義の現実的基盤となった大衆社会の思想的系譜を明らかにしようとした、アーレントの主著のひとつである。

1994:10./ 549p

978-4-480-08156-8

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/09



アイドル進化論～南沙織から初音ミク、AKB48 まで～(双書 Zero)

太田省一 著

筑摩書房

放課後の教室で聴いた、テレビでいつも流れてた、あのアイドルたちの歌。なぜ、こんなにも夢中になってしまうのか? 70 年代から今にいたるアイドルの歴史をたどり、その深層をさぐる。

並製本/ 2011:1./ 286p

978-4-480-86408-6

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2016/10/09



日韓音楽ビジネス比較論～K-POPとJ-POP 本当の違い～

君塚 太 著

アスペクト

日韓の音楽ビジネスの構造と歴史や、アーティストとリスナーの本当の違いを、「ファン目線」でも「暴露」でもなく、冷静かつ独自の視点で解き明かす。K-POP の日本進出を歓迎できない人も納得する音楽文化論。

2012:5./ 204p

978-4-7572-2054-6

本体 ¥952+税



日本経済新聞 2016/10/09



「アイドル」の読み方～混乱する「語り」を問う～(青弓社ライブラリー 81)

香月 孝史 著

青弓社

女性アイドルを取り上げ、実態を反映していない固陋なアイドル観と今日の「アイドル」というジャンルの性質を引き比べ、そのギャップのありようを具体的に考察する。

2014:3./ 211p

978-4-7872-3372-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/09



台湾ジャニーズファン研究(青弓社ライブラリー 80)

陳 怡禎 著

青弓社

台湾のファン文化の基礎知識や、インタビューに基づくジャニーズファンの日常などを紹介。台湾の女性ジャニーズファンが、アイドルを介して女性同士の共同体・親密圏をどう構築するかをフィールドワークから描くファン文化論。

2014:2./ 199p

978-4-7872-3370-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/09



幻の近代アイドル史～明治・大正・昭和の大衆芸能盛衰記～(フィギュール彩 14)

笹山 敬輔 著

彩流社

漱石も、谷崎も、川端も...みんなアイドルにハマっていた!?1887 年から 1945 年、明治・大正・昭和にかけて活躍しながらほとんど忘れられている「アイドル」に焦点を当てた異色のアイドル論。

2014:5./ 186p

978-4-7791-7014-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/10/09



アイドル国富論～聖子・明菜の時代から AKB・ももクロ時代までを解く～

境 真良 著

東洋経済新報社

日本経済の動向とアイドルブームには驚きの関係があった。80 年代アイドルから現代アイドルまで。見ればこの国の今と未来がわかる。

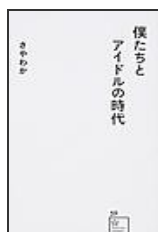
2014:9./ 255p

978-4-492-39607-0

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/09



僕たちとアイドルの時代(星海社新書 59)

さやわか 著

星海社

『僕たちのゲーム史』の著者が、オリコンランキングを素材にポップミュージックの歴史を読み解く。新たに一章を書き下ろした完全版!

2015:1./ 283p

978-4-06-138564-1

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2016/10/09



水俣病の民衆史<1> 前の時代

岡本 達明 著

日本評論社

2016 年は水俣病発見 60 年にあたる。未公開の第一級資料を駆使して水俣病激発村を徹底研究し、闘争の全体像を初めて描き出す。

2015:3./ 8p,449p

978-4-535-06517-8

本体 ¥6,500+税



日本経済新聞 2016/10/09



水俣病の民衆史<2> 奇病時代

岡本 達明 著

日本評論社

原因不明の奇病が村を襲ったとき、患者と家族が陥った状況、村人、行政・医療の対応を、克明な証言によって明らかにする。

2015:4./ 5p,664p

978-4-535-06518-5

本体 ¥8,500+税



日本経済新聞 2016/10/09



水俣病の民衆史<3> 闘争時代(上)

岡本 達明 著

日本評論社

工場は廃水を流し続け、奇病患者は続出した。困窮した漁民と患者家族の一揆の闘争から、工場の大争議を経て、訴訟提訴までを追う。

日本経済新聞 2016/10/09

2015:5./ 14p,724p

978-4-535-06519-2

本体 ¥9,500+税



* 9 7 8 4 5 3 5 0 6 5 1 9 2 *



水俣病の民衆史<4> 闘争時代(下)

岡本 達明 著

日本評論社

訴訟派の裁判闘争と新認定患者の補償闘争が一体となり、チツソとの闘いは本番を迎える。東京交渉団による本社交渉決着までを追う。

日本経済新聞 2016/10/09

2015:6./ 7p,830p

978-4-535-06520-8

本体 ¥10,000+税



* 9 7 8 4 5 3 5 0 6 5 2 0 8 *



水俣病の民衆史<5> 補償金時代

岡本 達明 著

日本評論社

補償金時代には、人間としての闘いは影が薄くなり、補償金を得ることが闘争の目的になっていく。闘争の変質と患者の苦しみを記す。

日本経済新聞 2016/10/09

2015:7./ 5p,614p

978-4-535-06521-5

本体 ¥8,000+税



* 9 7 8 4 5 3 5 0 6 5 2 1 5 *



水俣病の民衆史<6> 村の終わり

岡本 達明 著

日本評論社

奇病時代、闘争時代、補償金時代の半世紀を経て、水俣の村はどのような変貌をとげたか。現地調査をふまえ患者達の現状を伝える。

日本経済新聞 2016/10/09

2015:9./ 4p,326p,86p

978-4-535-06522-2

本体 ¥6,000+税



* 9 7 8 4 5 3 5 0 6 5 2 2 2 *



いのちの旅〜「水俣学」への軌跡〜(岩波現代文庫)

原田 正純 著

岩波書店

人類の負の遺産としての「水俣」をあらゆる角度から捉えなおし将来に活かすべく、水俣学を提唱した原田正純医師が、様々な現場を歩き、人びとと出会う中で、希望の原点を探った思索と行動の記録。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:4./ 12p,222p

978-4-00-603298-2

本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 0 0 6 0 3 2 9 8 2 *



ASEANの自動車産業(ERIA=TCER アジア経済統合叢書 第7巻)

西村 英俊、小林 英夫 著

勁草書房

ASEAN における自動車産業の生成を第2のアンバンドリング(生産工程・タスク単位の国際分業)等最新の理論枠組みの下で分析する。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:7./ 10p,303p

978-4-326-50423-7

本体 ¥4,500+税



* 9 7 8 4 3 2 6 5 0 4 2 3 7 *



兵士のアイドル～幻の慰問雑誌に見るもうひとつの戦争～

押田 信子 著

旬報社

慰問雑誌『戦線文庫』『陣中倶楽部』の誌面紹介、解説を通し、雑誌に現れた女性達の戦争協力の実態を描く。また、慰問雑誌の背景にある、軍部の銃後に向けた文化動員を「恤兵金」を基軸に解明する。

2016:6./ 383p 図版
16p

978-4-8451-1466-5

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/10/09



見えざる手をこえて～新しい経済学のために～(叢書《制度を考える》)

カウシク・バサー、栗林 寛幸 著

NTT出版

市場の「見えざる手」に委ねることでは解決されないさまざまな経済的・社会的・政治的問題に光を当てて、経済学の功と罪を解きあかしながら、貧困と不平等のない世界を構想する。

2016:7./ 5p,299p,58p

978-4-7571-2306-9

本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2016/10/09



ブラインド・マッサージ(エクス・リブリス)

畢 飛宇 著

白水社

南京のマッサージ店で働く盲目のマッサージ師たち。ふとしたことで、平穩に思えた日常にさざ波が立ち、やがて大きなうねりとなって…。盲人たちの喜びと悲しみ、善意と悪意、夢と現実をリアルに描く長篇。

2016:8./ 361p

978-4-560-09046-6

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2016/10/09



気候変動クライシス

ゲルノット・ワグナー、マーティン・ワイツマン、山形 浩生 著

東洋経済新報社

史上最悪のリスクにあなたならどう備える?生き残るために必要なのは?人類の未来を占う大問題に、一流の学者が答えを出す。

2016:8./ 6p,257p,81p

978-4-492-22374-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/10/09



入門近代仏教思想(ちくま新書 1201)

碧海 寿広 著

筑摩書房

近代日本の思想は、西洋哲学と仏教の出会いの中に生まれた。井上円了、清沢満之、近角常観、暁烏敏、倉田百三らの思考を掘り起こし、その深く広い影響を解明する。

2016:8./ 282p

978-4-480-06911-5

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2016/10/09



偽りの帝国～緊急報告・フォルクスワーゲン排ガス不正の闇～

熊谷 徹 著

文藝春秋

世界最大の自動車メーカー・フォルクスワーゲンで発覚した排ガス不正。ドイツの優良企業の急成長と繁栄の裏で、何が起きていたのか。在独 25 年のジャーナリストが現地徹底取材で数々の謎に迫る。

2016:8./ 202p,4p

978-4-16-390483-2

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/09



苦海浄土～全三部～

石牟礼 道子 著

藤原書店

「水俣病」患者とその家族の、そして海と土とともに生きてきた不知火の民衆の、魂の言葉を描ききる。「苦海浄土」「神々の村」「天の魚」全 3 部作を収録。赤坂真理、池澤夏樹、加藤登紀子らの解説も掲載。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:8./ 1,140p

978-4-86578-083-3

本体 ¥4,200+税



寝るまえ 5 分の外国語～語学書書評集～

黒田 龍之助 著

白水社

語学参考書(ゴガクショ)は文法や会話表現だけでなく、新たな世界の魅力まで教えてくれる。読めば読むほど面白いオススメの 103 冊。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:9./ 257p

978-4-560-08727-5

本体 ¥1,900+税



北京レポート～腐食する中国経済～

大越 匡洋 著

日本経済新聞出版社

最高指導者のメンツを最重視する人民銀行、成長率かさ上げだけを目指した過剰投資、徹底的に隠蔽される「不都合な真実」…。硬直化し、不公正と非効率が広がる中国経済の現場に日経記者が迫る。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:8./ 251p

978-4-532-35710-8

本体 ¥1,600+税



触れることの科学～なぜ感じるのかどう感じるのか～

デイヴィッド・J.リンデン 著

河出書房新社

詳細な科学的解説と日常のエピソードをいきいきと(時に、なまなましく)描きながら、触覚(皮膚感覚)の不思議な世界を道案内する。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:9./ 286p

978-4-309-25353-4

本体 ¥1,800+税



戦国と宗教(岩波新書 新赤版 1619)

神田 千里 著

岩波書店

乱世の英雄たちが入り乱れ、激しい戦争を繰り広げていた戦国時代。人々は心の安寧をどこに求めたか。大名たちの戦勝祈願、庶民たちの本願寺信仰、キリスト教など当時の信仰の諸相を、「天道」という観念に注目しつつ読み解く。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:9./ 9p,200p,6p

978-4-00-431619-0

本体 ¥820+税



日本の一文 30 選(岩波新書 新赤版 1620)

中村 明 著

岩波書店

プロの作家が生み出す名表現の数々。そこにはどんなテクニックがあるのか? 夏目漱石や志賀直哉から現代の藤沢周平、村上春樹まで、読み手を唸らせる一流作家 30 人の表現技法を日本語の名案内人の導きで学べる書。

日本経済新聞 2016/10/09

2016:9./ 4p,189p

978-4-00-431620-6

本体 ¥800+税





戦国を生きた姫君たち(角川文庫 ひ 20-25)

火坂 雅志 著

KADOKAWA

直江兼続が唯一愛し、主君から女執政として遇された「お船の方」、恋に生き恋に死んだ「鶴姫」…。運命に翻弄されながらも、乱世を力強く生きた 25 人の姫君たちの生涯に迫る。『歴史人』連載を再構成し文庫化。

2016:9./ 170p

978-4-04-400170-4

本体 ¥600+税



日本経済新聞 2016/10/09



魂の道行き〜石牟礼道子から始まる新しい近代〜

岩岡 中正 著

弦書房

近代化の果てに生じた、自己・他者・自然の関係(共同性)の崩壊をどのように再構築すればよいのか。石牟礼道子の「思想」をふまえて、あるべき絆(共同性)と新しい近代を展望する。

2016:9./ 146p

978-4-86329-139-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2016/10/09



黒いヨーロッパ〜ドイツにおけるキリスト教保守派の「西洋」主義、1925〜1965 年〜

板橋 拓己 著

吉田書店

20 世紀におけるキリスト教系の政治勢力とヨーロッパ統合との関係を、「西洋(アーベントラント)」というスローガンを掲げたキリスト教保守派の思想と運動を軸にして描き出す。

2016:9./ 261p

978-4-905497-44-8

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2016/10/09



周一理想化された古代王朝(中公新書 2396)

佐藤 信弥 著

中央公論新社

太公望や周公旦などの建国の功臣、孔子や老子といった諸子百家、斉の桓公ら春秋の五覇などが名高い古代中国の王朝、周。その実態はいかなるものだったのか。金文や甲骨文などの当時の史料から、王朝の実像を再現する。

2016:9./ 4p,237p

978-4-12-102396-4

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2016/10/09



オライオン飛行

高樹 のぶ子 著

講談社

第二次大戦前夜、日本に墜落したフランス人飛行士と出会った看護婦・久美子。生涯で一度きりの命がけの恋。それは美しい悲恋か、陰謀の罠か? 史実を基に大胆に描く、時空を超えた恋のミステリー。『群像』連載を単行本化。

2016:9./ 286p

978-4-06-220244-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/09、読売新聞 2016/10/30



渋谷の農家

小倉 崇 著

本の雑誌社

農業には人生を変える力がある-。東京・渋谷のライブハウスの屋上で土を耕し、野菜を育てる。畑作りの喜びと悪戦苦闘を綴る農業ノンフィクション。各地のオルタナティブでユニークな農家の人々の物語も紹介する。

2016:9./ 277p

978-4-86011-291-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/09、毎日新聞 2016/10/30



ビル・ゲイツの面接試験～富士山をどう動かしますか?～

ウィリアム・パウンドストーン 著

青土社

世界一スマートな会社、マイクロソフト社の人事採用基準とは?世界中の秀才をうならせる、驚異の難問・奇問のパズルとクイズの数々。ベールに包まれた逸材発掘の秘術を解明し、難関突破のための傾向と対策の全てを公開。

日本経済新聞 2016/10/16

2003:6./ 320p,21p

978-4-7917-6046-6

本体 ¥2,200+税



内側から見た富士通「成果主義」の崩壊(Kobunsha paperbacks)

城 繁幸 著

光文社

無能なトップ、暗躍する人事部、社内に渦巻く不満と嫉妬…。日本を代表するリーディングカンパニーは、「成果主義」導入 10 年で、無惨な「負け組」に転落した!富士通「成果主義」運営の当事者が、内側から見た事実を語る。

日本経済新聞 2016/10/16

2004:7./ 235p

978-4-334-93339-5

本体 ¥952+税



三国志<1> 新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著

講談社

2 世紀末、中国後漢末期、政治は腐敗し、黄巾賊が各地にはびこって、民衆は苦しんでいた。青年劉備は、同志関羽、張飛と桃園で義盟を結び、世を救うことを誓う。ここに百年に亘る治乱興亡の壮大なドラマの幕が開く。

日本経済新聞 2016/10/16

2008:10./ 727p

978-4-06-276186-4

本体 ¥933+税



三国志<2> 新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著

講談社

黄巾の乱から 10 年、天下の形勢は大きく変わり、曹操が抜きでた存在となっていた。劉備は関羽、張飛を擁するものの今は小沛の城を守るのみ。しかし、諸侯の間に日増しに高まる打倒曹操の声に、劉備も謀議の仲間に加わる。

日本経済新聞 2016/10/16

2008:10./ 717p

978-4-06-276187-1

本体 ¥933+税



三国志<3> 新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著

講談社

劉備は三顧の礼をもって孔明を迎え入れ、天下人として開眼するが、曹操の迫撃の手は一向に緩まない。国力を拡充させていた呉の孫権に、檄を飛ばす曹操。孫権を説き伏せる孔明。かくて、赤壁での会戦へと時は流れていく。

日本経済新聞 2016/10/16

2008:10./ 711p

978-4-06-276188-8

本体 ¥933+税



三国志<4> 新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著

講談社

赤壁の戦いで、曹操は大敗。劉備は蜀を得て、魏・呉・蜀三国の争いは、ますます激しくなり、呉の周瑜、蜀の孔明、両知将の謀略の戦いが演じられる。一方、頭角を現し始める司馬仲達の進言で、曹操も失地回復を窺う。

日本経済新聞 2016/10/16

2008:10./ 739p

978-4-06-276189-5

本体 ¥933+税





三国志<5> 新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著

講談社

関羽、孤立無援の中で鬼籍に。続いて曹操、劉備も命運尽きる。三国の均衡は破れ、蜀の興廃は、ただ孔明の双肩にかかっていた。孔明、仲達、連戦 7 年、ついに孔明も五丈原で星となる。

2008:10./ 783p

978-4-06-276190-1

本体 ¥933+税



日本経済新聞 2016/10/16



少年少女世界名作の森(全 20 巻)

集英社

日本経済新聞 2016/10/16

1997:4.

978-4-08-285902-2

本体 ¥19,000+税



春にして君を離れ(ハヤカワ文庫)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

優しい夫、よき子供に恵まれ、女は理想の家庭を築き上げたことに満ち足りていた。が、娘の病気見舞いを終えてバクダードからイギリスへ帰る途中で出会った友人との会話から、それまでの親子関係、夫婦の愛情に疑問を抱きはじめる...

1973:3./ 279p

978-4-15-040038-5

本体 ¥600+税



日本経済新聞 2016/10/16



関口・初等ドイツ語講座 改訂

関口存男、関口一郎(1946-2001) 著

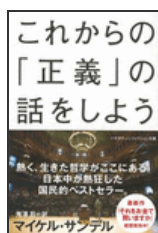
三修社

日本経済新聞 2016/10/16

1982:5./ 222p

978-4-384-00601-8

本体 ¥6,000+税



これからの「正義」の話をしよう~いまを生き延びるための哲学~(ハヤカワ文庫 NF 376)

マイケル・サンデル 著

早川書房

正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義 "JUSTICE"。経済危機から大災害にいたるまで、現代を覆う苦難の根底には、つねに「正義」をめぐる哲学の問題が潜んでいる。

2011:11./ 475p

978-4-15-050376-5

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2016/10/16



マリアビートル(角川文庫 い 59-2)

伊坂 幸太郎 著

角川書店

酒浸りの元殺し屋「木村」。狡猾な中学生「王子」。腕利きの二人組「蜜柑」「檸檬」。運の悪い殺し屋「七尾」。物騒な奴らを乗せた新幹線は疾走する!『グラスホッパー』に続く、殺し屋たちの狂想曲。

2013:9./ 591p

978-4-04-100977-2

本体 ¥743+税



日本経済新聞 2016/10/16



なぜかミスをしない人の思考法～“失敗学”の権威が教える～(知的生きかた文庫 な42-1)

中尾 政之 著
三笠書房

ミスを事前に予防し、時にはミスを成功につなげるヒントを「失敗の予防学」の第一人者がこれまでの研究成果から明らかにする本。

日本経済新聞 2016/10/16

2013:11./ 213p
978-4-8379-8233-3
本体 ¥571+税



魂をなくした男<上>(新潮文庫 フ-13-64)

フリーマントル 著
新潮社

チャーリー・マフィン はモスクワの空港で妻と娘を英国へ逃がすも、自身は銃撃で負傷。MI6 はロシア連邦保安局副長官の亡命に成功するが、彼は息子が合流しない限り英政府には何も情報を提供しないと黙秘し…。

日本経済新聞 2016/10/16

2014:12./ 358p
978-4-10-216564-5
本体 ¥670+税



魂をなくした男<下>(新潮文庫 フ-13-65)

フリーマントル 著
新潮社

チャーリー暗殺を計画したが失敗した MI6 では、早くも責任のなすりあいが始まっていた。一方で MI5 はチャーリーを狙撃した犯人を突き止めるため調査を開始。そんな中、MI6 がチャーリーに銃口を向けるのが目撃され…。

日本経済新聞 2016/10/16

2014:12./ 366p
978-4-10-216565-2
本体 ¥670+税



ジニのパズル

崔 実 著
講談社

中学から朝鮮学校に通うことになったジニは、一人だけ朝鮮語ができず、なかなか居場所が見つけれられない。1998 年、テボドンが発射された翌日、ジニは警察を名乗る男たちに取り囲まれ…。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2016/10/16

2016:7./ 185p
978-4-06-220152-0
本体 ¥1,300+税



脳は、なぜあなたをだますのか～知覚心理学入門～(ちくま新書 1202)

妹尾 武治 著
筑摩書房

オレオレ詐欺、マインドコントロール、マジックにだまされるのは、あなたの脳が、あなたを裏切っているからだ。心理学者が解き明かす、衝撃の脳と心の仕組み。

日本経済新聞 2016/10/16

2016:8./ 213p
978-4-480-06909-2
本体 ¥780+税



大人に贈る子どもの文学

猪熊 葉子 著
岩波書店

児童文学研究者となり、英語圏の優れた作品や評論の翻訳に情熱を注いできた著者が、子どもに向かって書く作家達の真髓にせまり、幸福を描く多様な物語の世界へと読者を誘う。

日本経済新聞 2016/10/16

2016:8./ 8p,286p
978-4-00-061147-3
本体 ¥2,100+税





ルービンシュタイン ゲーム理論の力

アリエル・ルービンシュタイン 著

東洋経済新報社

超一流の経済学者は経済学をどう考えているのか。経済学の正しい使い方がわかる。経済学に関わるすべての人に贈るアドバイス。

2016:8./ 17p,293p,6p

978-4-492-31484-5

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/10/16



みかづき

森 絵都 著

集英社

昭和 36 年、学校教育に不信を抱く千明から学習塾の立ち上げに誘われ、吾郎の波瀾の教育者人生が幕を開ける。昭和～平成の塾業界を舞台に、三世代にわたり奮闘する大島家を描いた、著者渾身の大作長編!

2016:9./ 467p

978-4-08-771005-2

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2016/10/16



再考・医療費適正化～実証分析と理念に基づく政策案～

印南 一路 著

有斐閣

高齢化は医療費増加の主因ではない?病床数を減らしても医療費は下がらない?精緻な分析から医療費増加の要因を突き止め、医療費抑制策とは一線を画す、医療保障のあるべき姿に基づいた医療費政策を提示する。

2016:8./ 9p,290p

978-4-641-16483-3

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2016/10/16



鍔と人間～ビール缶から戦艦まで～

ジョナサン・ウォルドマン、三木 直子 著

築地書館

「最大最凶のデストロイヤー」と言われる鍔。防食技術と自由の女神、ステンレス鋼開発秘話、缶産業の実態…。鍔という自然の脅威に立ち向かう人類の戦いをエキサイティングに描いたノンフィクション。

2016:9./ 353p

978-4-8067-1521-4

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/10/16



「偶然」と「運」の科学

マイケル・ブルックス 編

SBクリエイティブ

幸運を呼び込む科学的な方法とは? 探し物を見つける最善の方法とは? 欧米の第一線の科学者、サイエンスライターが、宇宙論、物理学、数学、生物学、統計学、法学など多岐の分野にわたって「偶然」の秘密と力を解き明かす。

2016:9./ 11p,281p

978-4-7973-8700-1

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2016/10/16



中国の論理～歴史から解き明かす～(中公新書 2392)

岡本 隆司 著

中央公論新社

中国では「反日」なのに日本で「爆買い」など、矛盾がそのまま現実となる。それはなぜか。歴史を紐解きつつ、目の前の現象だけではわからない中国人の思考回路をさぐり、切っても切れない隣人とつきあうためのヒントを示す。

2016:8./ 8p,232p

978-4-12-102392-6

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2016/10/16



BoP ビジネス 3.0～持続的成長のエコシステムをつくる～

フェルナンド・カサード・カニエーケ、スチュアート・L.ハート、平本 督太郎 著
英治出版

BoP ビジネスの実態をさまざまな視点から描いた一冊。ビジネスモデル開発、組織設計からパートナーシップの組み方まで、各地の成功・失敗ケースを徹底分析する。日本企業の先進事例も収録。

2016:8./ 311p
978-4-86276-233-7
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/10/16



棋士という人生～傑作将棋アンソロジー～(新潮文庫 お-67-4)

大崎 善生 編
新潮社

吹けば飛ぶような駒に人生を賭けた者たち。彼らは何を追い求めるのか…。作家、記者、そして棋士自身が綴った文章の中から 26 篇の名品を精選。将棋指しという職業の哀歓、将棋という遊戯の深遠さを写し出すアンソロジー。

2016:10./ 371p
978-4-10-126574-2
本体 ¥630+税



日本経済新聞 2016/10/16



不正の迷宮三菱自動車～スリーダイヤ転落の 20 年～

日経トレンドィ 編
日経BP社

三菱自動車の燃費不正はなぜ起きたのか。その経緯や背景を検証するとともに、迷走を続けてきた三菱自動車の歴史を振り返り、不正の本質を明らかにする。『日経ビジネス』『日経トレンドィ』等掲載をもとに書籍化。

2016:9./ 295p
978-4-8222-3667-0
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/16



モンゴル人の民族自決と「対日協力」～いまなお続く中国文化大革命～

楊 海英 著
集広舎

モンゴル人にとって文化大革命は、民族そのものを抹消するジェノサイドだった。モンゴル研究の第一人者が豊富な資料をもとに書き起こした、内(みなみ)モンゴルの暗黒の記録。

2016:8./ 367p,19p
978-4-904213-41-4
本体 ¥2,980+税



日本経済新聞 2016/10/16



中国人の「財布の中身」～誰も知らない中国人の本当の経済力～(詩想社新書 14)

青樹 明子 著
詩想社

中国人はどこまで豊かになったのか?家計簿に見た日々の生活実態から、多様な金銭感覚、特有の格差、はびこる拝金主義、成金、大富豪の実態、最新の爆買い事情まで、謎に満ちた中国人の「財布の中身」を読み解く。

2016:9./ 267p
978-4-434-21940-5
本体 ¥920+税



日本経済新聞 2016/10/16



ふわとろ～SIZZLE WORD「おいしい」言葉の使い方～

B・M・FT ことばラボ 編
B・M・FT出版部

「ふわとろ」「もっちり」「とろーり」「うまみがある」など、おいしさを表すシズルワードを使いこなすための本。「おいしい」をつくる人の言葉、映画や本の中にある「おいしさ」、おいしさを表す言葉の字引きなどを収録。

2016:9./ 387p
978-4-9904895-5-7
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/10/16



響け! ユーフォニアム～北宇治高校の吹奏楽部日誌～(宝島社文庫 C た-8-8)

宝島社

TV アニメ「響け! ユーフォニアム」の公式ガイドブック。定期演奏会&合同演奏会を描いた書き下ろし小説 2 編のほか、著者・武田綾乃のインタビュー、吹奏楽部作家オザワ部長が明かす吹奏楽部のヒミツなどを収録。

日本経済新聞 2016/10/16

2016:10./ 285p

978-4-8002-6226-4

本体 ¥640+税



* 9 7 8 4 8 0 0 2 6 2 2 6 4 *



幸福という名の不幸

曾野 綾子 著

講談社

日本経済新聞 2016/10/16

1972:5./ 391p

978-4-06-112562-9

本体 ¥620+税



* 9 7 8 4 0 6 1 1 2 5 6 2 9 *



田中角栄～昭和の光と闇～(講談社現代新書 2382)

服部 龍二 著

講談社

東京一極集中の是正、限定的改憲論、日中裏安保、資源外交、北方領土問題の解決...角栄が夢見た「日本の未来」とは。田中角栄の生涯を追いながら、現代保守政治の源流としての田中政治を読み解く。

日本経済新聞 2016/10/16、朝日新聞 2016/10/23

2016:9./ 355p

978-4-06-288382-5

本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 0 6 2 8 8 3 8 2 5 *



THIS IS JAPAN～英国保育士が見た日本～

ブレイディみかこ 著

太田出版

労働する者のプライド、新自由主義保育と社会主義保育、反貧困ネットワークへのくすぶり、どん底の手前の人々...。20 年ぶりに 1 カ月間日本に滞在した英国在住の保育士による東京の取材記。

日本経済新聞 2016/10/16、東京・中日新聞 2016/10/30

2016:8./ 259p

978-4-7783-1533-7

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 7 7 8 3 1 5 3 3 7 *



随記～天皇皇后両陛下にお供して～

川島 裕 著

文藝春秋

各国への友好の旅、先の戦争の地への慰霊の旅、そして被災地への旅。12 年間にわたりお側に仕えた前侍従長が克明に記録した、天皇皇后両陛下の旅の記憶。『文藝春秋』掲載に書き下ろしを追加して単行本化。

日本経済新聞 2016/10/16、毎日新聞 2016/10/16

2016:8./ 261p 図版 6 枚

978-4-16-390503-7

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 5 0 3 7 *



シネマ<2> 時間イメージ(叢書・ユニベルシタス)

ジル・ドゥルーズ 著

法政大学出版局

ドゥルーズ「シネマ」は哲学者による単なる映画史・映画論としてではなく、「映画に現れるかぎりでのイメージと記号の分類」の試み。映画を思考することによって時間や運動をめぐる哲学の新たな概念を創出する。

日本経済新聞 2016/10/23

2006:11./ 403p,88p

978-4-588-00856-6

本体 ¥4,700+税



* 9 7 8 4 5 8 8 0 0 8 5 6 6 *



シネマ＜1＞ 運動イメージ(叢書・ユニベルシタス 855)

ジル・ドゥルーズ、財津 理、齋藤 範 著

法政大学出版局

「映画」を思考することによって「運動」や「時間」をめぐる哲学の概念を新たに作り直す。映画に現われるかぎりでのイメージと記号の分類の試み。戦前、戦後の多くの作品を踏査し、その思考の原理を明確に提示する。

2008:10./ 430p

978-4-588-00855-9

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2016/10/23



定本 映画術 改訂版

ヒッチコック、トリュフォー 著

晶文社

これが映画だ!映画の巨匠が華麗なテクニックを大公開。サイレント時代の処女作から最後の作品まで、520枚の写真駆使して語りつくす。

1990:12./ 359p,25p

978-4-7949-5818-1

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2016/10/23



コミュニティ通訳〜多文化共生社会のコミュニケーション〜

水野 真木子、内藤 稔 著

みすず書房

コミュニティ通訳の全体像を建設的に提示する概論。コミュニティ通訳の意義と特徴、医療・司法・行政の各分野の現状と問題点、コミュニティ通訳者に必要な資質・能力・倫理、通訳教育の現状とあるべき姿などを解説する。

2015:3./ 234p,14p

978-4-622-07891-3

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2016/10/23



医療通訳と保健医療福祉〜すべての人への安全と安心のために〜

李 節子 著

杏林書院

医療通訳は、なぜ必要なのか。医療通訳はどんなことをするのか。いま、日本での医療通訳の取り組みはどうなっているのか。保健医療福祉の専門職者らが、医療通訳の理念、必要性、取り組みといった医療通訳の基本を解説する。

2015:8./ 6p,177p

978-4-7644-0535-6

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/10/23



法廷通訳人の倫理〜アメリカの倫理規定に学ぶ〜

水野 真木子、渡辺 修 著

松柏社

アメリカ合衆国の法廷に於ける重要な倫理原則を10項目に分けて紹介・解説し、日本の裁判システムの中で応用可能な法廷通訳人倫理原則を項目毎に幾つかの柱として提示。法律実務家の立場からのコメントも掲載する。

2015:10./ 124p

978-4-7754-0223-8

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/23



裁判員裁判時代の法廷通訳人

水野 かほる、津田 守 著

大阪大学出版会

日本における裁判所(法廷)通訳翻訳と法廷通訳人の現状と課題を、法廷通訳実務者の立場から、国際的な視座において明らかにする。裁判員裁判が始まり、より高度な通訳翻訳技術が求められる現代に投じる議論。

2016:3./ 4p,320p

978-4-87259-507-9

本体 ¥6,000+税



日本経済新聞 2016/10/23



法廷通訳人～裁判所で日本語と韓国語のあいだを行き来する～

丁 海玉 著

港の人

二十数年間にわたって韓国語の法廷通訳を務めてきた在日韓国人二世の著者が、法廷通訳の難しさ、裁判員裁判への移行、そして日韓の言語と文化の違いから生じるさまざまな出来事を描く、法廷ドキュメント。

2015.12./ 245p

978-4-89629-306-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/10/23



ママのスマホになりたい

のぶみ 著

WAVE出版

ママがスマホばかり見ていて、全然自分のことを見てくれない、と困っているかんだろがしたこととは...? シンガポールの小学生の作文「スマホになりたい」を元にした絵本。見返しに書き込み欄あり。

2016.8./ 32p

978-4-87290-946-3

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/23



<情報>帝国の興亡～ソフトパワーの五〇〇年史～(講談社現代新書 2386)

玉木 俊明 著

講談社

オランダの活版印刷、イギリスの電信、アメリカの電話、そしてポスト・アメリカのインターネット。情報を制した国家が世界を制す! 情報という観点から「近代世界システム」を捉え、その生成と展開、さらには衰退を論じる。

2016.8./ 213p

978-4-06-288386-3

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2016/10/23



乱流～米中日安全保障三国志～

秋田 浩之 著

日本経済新聞出版社

建前を捨てた米国、勢力圏を拡張しようとする中国。米中の攻防はどんな結末に向かうのか、それが日本の将来に意味するものは何か。米中日の外交戦略に精通した記者がパワーゲームの実態を明らかにし、日本が迫られる選択を示す。

2016.9./ 383p

978-4-532-16996-1

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/10/23



渡邊洪基～衆智を集むるを第一とす～(ミネルヴァ日本評伝選)

瀧井 一博 著

ミネルヴァ書房

帝国大学の初代総長であり、民権運動に対する弾圧策として悪名高い「集会条例」の起草者、渡邊洪基。日本の近代化を支える「知」のあり方を追求した明治国会の造形者のひとりとして、渡邊洪基に新たな光を当てる。

2016.8./ 20p,338p,11p

978-4-623-07714-4

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2016/10/23



アジア遊学<201> 中国の音楽文化

川原 秀城 編

勉誠出版

考古時代以来、音楽理論が制度的に安定をみた漢代、西洋音楽を受容し咀嚼した明清時代を経て、近現代に至る、政治や思想とともに展開していった中国 3000年の音楽文化の軌跡を、最新の知見より明らかにする。

2016.9./ 186p

978-4-585-22667-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2016/10/23



白崎茶会のあたらしいおやつ～小麦粉を使わないかんたんレシピ～

白崎 裕子 著

マガジンハウス

はちみつマフィン、ピーナツバターソフトクッキー、レアチーズケーキ、ふわふわパンケーキ…。小麦粉・卵・バターを使わない、驚くほどおいしくてかんたんな焼き菓子やケーキのレシピを紹介します。

2016:9./ 111p

978-4-8387-2891-6

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/23



きつねのがっこう(講談社の創作絵本)

いもと ようこ 著

講談社

なくしたスマホを探していたら、いつのまにかきつねになっていた男の子は、きつねといっしょにきつねのがっこうに行くことになり…。そこで男の子が学んだことは？ 本当に必要なこと、大切なものは何かを問いかける絵本。

2016:10./ 31p

978-4-06-133302-4

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/23



最後の秘境東京藝大～天才たちのカオスな日常～

二宮 敦人 著

新潮社

入試倍率は東大の 3 倍! 卒業後は行方不明者多数? 藝大生を妻に持つ著者が、謎に満ちた「東京藝大」に潜入した探検記。全 14 学科を擁するカオスなワンダーランドを紹介する。

2016:9./ 286p

978-4-10-350291-3

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/23



インドネシア イスラーム大国の変貌～躍進がもたらす新たな危機～(新潮選書)

小川 忠 著

新潮社

民主化と経済成長、その足元で加速するイスラーム化、迫り来るテロの脅威…。インドネシア社会のイスラーム化の諸相を徹底分析し、インドネシアと日本がこれからいかに未来を創っていくか、その展望を語る。

2016:9./ 239p

978-4-10-603792-4

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2016/10/23



文字講話<1>(平凡社ライブラリー 848)

白川 静 著

平凡社

1999～2004 年に京都で開かれた伝説の連続講話。著者自らが古代文字を書き示しながら説いたライブ感溢れる文字学入門。

2016:10./ 8p,277p

978-4-582-76848-0

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2016/10/23



シリコンバレー発アルゴリズム革命の衝撃～Fintech,IoT,Cloud Computing, AI...アメリカで起きていること、これから日本で起きること～

榎田 健児 著

朝日新聞出版

【社会科学/社会科学総記】アルゴリズム革命とは、情報処理能力の飛躍的向上により、あらゆる人間活動が計測され機械によって代替される流れのこと。Fintech

2016:9./ 246p

978-4-02-251412-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/10/23



古文書に見る江戸犯罪考(祥伝社新書 484)

氏家 幹人 著

祥伝社

児童虐待、介護の悲劇、夫婦間トラブル、通り魔殺人、多彩な詐欺…。現代に横行する犯罪のほとんどは江戸時代にもあった。信憑性の高い史料を基に、江戸時代の犯罪と刑罰について、わかりやすく紹介する。

2016:10./ 305p

978-4-396-11484-8

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2016/10/23



「持たざる国」からの脱却～日本経済は再生しうるか～(中公文庫 ま 42-3)

松元 崇 著

中央公論新社

日本はなぜ長期にわたる低迷から抜け出せないでいるのか。「世界の生産構造の激変」「ワーク・ライフ・バランス」をキーワードに分析し、ドイツやスウェーデンの成功例を参照しつつ、生き残りのための処方箋を提示する。

2016:9./ 251p

978-4-12-206287-0

本体 ¥640+税



日本経済新聞 2016/10/23



写真の新しい自由

菅付 雅信 著

玄光社

写真の多様な世界で起きている事象の中で時代精神を象徴するような動きを捉え、関係者取材し、客観的に描く。『コマーシャル・フォト』連載「流行写真通信」と写真家特集「Photographers Now」をまとめる。

2016:10./ 287p

978-4-7683-0780-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2016/10/23



なぜ日本のフランスパンは世界一になったのか～パンと日本人の 150 年～(NHK 出版新書 501)

阿古 真理 著

NHK出版

コッペパン、あんパン、食パン…。技術革新と「和洋折衷」力で、独自のパン文化を築いた日本。空前のパンブームの背景にある、先人たちの苦闘の歴史をひもとく。パンだけでなく、「食」にまつわる現代の動きがわかる一冊。

2016:10./ 253p

978-4-14-088501-7

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2016/10/23



パナマ文書

バスティアン・オーバーマイヤー、フレデリック・オーバーマイヤー 著

KADOKAWA

「ジョン・ドウ」を名乗る人間から届いた一通のメール。世界を揺るがすことになったスクープはここから始まった…。「パナマ文書」のリークを受けたドイツ人記者が事件の内幕を明かす。池上彰の特別解説付き。

2016:8./ 440p

978-4-04-104709-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/10/23、産経新聞 2016/10/30



黄犬ダイアリー

ドナルド・キーン、キーン 誠己 著

平凡社

2012 年に日本国籍を取得したキーンさんが日常で感じたことを語り、その養子となった誠己さんが父の素顔をつづった親子エッセイ。

2016:10./ 213p

978-4-582-83741-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/10/23、毎日新聞 2016/10/23



二十一世紀前夜祭～短篇小説集～

大西 巨人 著

光文社

凜とした人間の生き方がここにある。明晰な生命観、世界観が横溢する短篇小説集。エッセイ「太宰治作『十五年間』のこと」「あるレトリック」付き。

日本経済新聞 2016/10/30

2000:8./ 251p

978-4-334-92323-5

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 3 3 4 9 2 3 2 3 5 *



神聖喜劇<第1巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

1942年1月、対馬要塞の重砲兵聯隊に補充兵役入隊兵百余名が到着した。陸軍二等兵・東堂太郎もその中の一人。「世界は真剣に生きるに値しない」と思い定める虚無主義者である。厳寒の屯営内で、内務班長・大前田軍曹らによる過酷な“新兵教育”が始まる。

日本経済新聞 2016/10/30

2002:7./ 578p

978-4-334-73343-8

本体 ¥1,060+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 3 3 4 3 8 *



神聖喜劇<第2巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

東堂太郎が回想する女性との濃密な交情。参戦目的、死の意義への自問自答は、女性との逢瀬の場で反芻されていた。村上少尉と大前田軍曹との異様な場面は、橋本・鉢田両二等兵による「皇国の戦争目的は殺して分捕ることあります」なる“怪答”で結着した。

日本経済新聞 2016/10/30

2002:8./ 538p

978-4-334-73362-9

本体 ¥1,048+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 3 3 6 2 9 *



神聖喜劇<第3巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

「私の内面には、曖昧な不安が、だんだん増大しつつ定着していた。早晚必ず何事か異変が起こるにちがいない」。誰かスパイのような“告げ口屋”がいる—東堂太郎の抱く漠たる不安が内務班全体にも広がり始めた。

日本経済新聞 2016/10/30

2002:9./ 537p

978-4-334-73376-6

本体 ¥1,060+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 3 3 7 6 6 *



神聖喜劇<第4巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

堀江中尉に喚問された東堂太郎は、片桐伍長が企んだ“思想上の嫌疑”を論破する。上官上級者によって仕掛けられる無理難題に対する“合法闘争”はつづく。「知りません・忘れました」問題にも一応の決着が一。

日本経済新聞 2016/10/30

2002:10./ 495p

978-4-334-73389-6

本体 ¥1,060+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 3 3 8 9 6 *



神聖喜劇<第5巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

“被疑者”冬木二等兵の「不条理上申」と東堂太郎の「意見具申」とは奏功、奇怪な“事件”は終熄する。醜怪極まりない「模擬死刑事件」による、東堂・冬木らの営倉入りを経て、事態は、教育期間の最後を飾る大珍事によって急転回する。

日本経済新聞 2016/10/30

2002:11./ 510p

978-4-334-73406-0

本体 ¥1,060+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 3 4 0 6 0 *



大西巨人文選<2> 途上

大西巨人 著
みすず書房

「ハンセン病問題」「凶事ありし室」「軍隊内階級対立の問題」ほか、現代日本の最重要課題を問う文集第 3 弾。巻末の対談で、自らと共産党との関わりのほか、文学、生い立ち思想などについても語る。

日本経済新聞 2016/10/30

1996:11./ 479p
978-4-622-04642-4
本体 ¥4,500+税



実証分析のための計量経済学～正しい手法と結果の読み方～

山本 勲 著
中央経済社

計量経済学を用いたさまざまな実証分析を適切に実施したり、推定結果を正しく読み取ったりできるように、計量経済学の最低限の概念やルールを、推定結果の具体例を多く紹介しながら、直感的かつ実践的に解説する。

日本経済新聞 2016/10/30

2015:10./ 4p,7p,245p
978-4-502-16811-6
本体 ¥2,600+税



戦後日本首相の外交思想～吉田茂から小泉純一郎まで～

増田 弘 著
ミネルヴァ書房

戦後日本の首相たちが、どのような外交思想に基づいて外交を進めていったかについて検討する研究書。吉田茂から小泉純一郎まで、主要な首相 17 名を取り上げ、時代に応じて変わる外交課題と思想の関係を描き出す。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:9./ 9p,460p,11p
978-4-623-07506-5
本体 ¥4,500+税



礼服～天皇即位儀礼や元旦の儀の花の装い～

武田 佐知子、津田 大輔 著
大阪大学出版会

即位儀礼と元旦の儀に歴代の天皇と臣下がまとった失われた最高礼装、礼服(らいふく)とは。礼服の意義と変相するドレスコード。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:8./ 471p
978-4-87259-551-2
本体 ¥3,900+税



厄介な遺産～日本近代文学と演劇的想像力～

福嶋 亮大 著
青土社

日本近代文学における演劇的想像力の機能について考察。さらにそれを通じて文学史の新たなパースペクティブを提案する。文学史に隠された遺産=亡霊をあざやかによみがえらせる野心的試み。「復興文化論」に続く文学評論。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:7./ 314p,6p
978-4-7917-6943-8
本体 ¥2,400+税



生殖医療の衝撃(講談社現代新書 2383)

石原 理 著
講談社

日本で生まれるこどもの約 32 人に 1 人は、出生前にマイナス 196 度の液体窒素タンクで凍結保存されている。いまや卵子と精子もネット通販の時代に! 生殖医療の第一人者がその最前線をレポートする。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:8./ 200p
978-4-06-288383-2
本体 ¥800+税





LIFE SHIFT～100 年時代の人生戦略～

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著

東洋経済新報社

多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

2016:10./ 399p,15p

978-4-492-53387-1

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/10/30



慢性デフレ真因の解明(シリーズ現代経済研究)

渡辺 努 編

阿部 修人 著

日本経済新聞出版社

慢性デフレの特徴を整理した上で、企業と家計の行動をミクロ・マクロのデータでとらえ、そのメカニズムを解明する。論文誌『Asian Economic Policy Review』掲載論文をもとに書籍化。

2016:9./ 8p,227p

978-4-532-13466-2

本体 ¥3,900+税



日本経済新聞 2016/10/30



サザエさんからいじわるばあさんへ～女・子どもの生活史～(朝日文庫 ひ 26-1)

樋口 恵子 著

朝日新聞出版

「サザエさん」は「妻側の実の親と同居する家族の形」であり、「伝統的男系家族を破壊した」漫画だったのだ! 長谷川町子作品を読み解きながら、今後の家族や暮らしを考える生活評論。「サザエさん年表」付き。

2016:9./ 261p

978-4-02-261868-9

本体 ¥660+税



日本経済新聞 2016/10/30



高大接続改革～変わる入試と教育システム～(ちくま新書 1212)

山内 太地、本間 正人 著

筑摩書房

2020 年度から大学入試が激変する。アクティブラーニングを前提とした高大接続の一環。私たち親や教師はどう対応したらよいか?

2016:10./ 219p

978-4-480-06918-4

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2016/10/30



進化は万能である～人類・テクノロジー・宇宙の未来～

マット・リドレー、大田 直子、鍛原 多恵子、柴田 裕之、吉田 三知世 著

早川書房

進化論は生物界から造物主を放逐した。実は変化・発展するものすべて、進化というボトムアップな機構で最もうまく機能する。科学から人文学まであらゆる領域を進化で説明し尽くす圧巻の科学解説

2016:9./ 454p

978-4-15-209637-1

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2016/10/30



アメリカ大統領制の現在～権限の弱さをどう乗り越えるか～(NHK ブックス 1241)

待鳥 聡史 著

NHK出版

自由に政策を実現する権限が与えられていないアメリカの大統領。その理由をイギリス植民地以来の歴史と国際比較から解明し、カーター、オバマらを分析して、各大統領がこの困難にどう取り組んできたのかを明らかにする。

2016:9./ 262p

978-4-14-091241-6

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/10/30



孤独な祝祭 佐々木忠次～バレエとオペラで世界と闘った日本人～

追分 日出子 著

文藝春秋

喧嘩上等、あらゆる敵を恐れず、美と芸術に殉じた男がいた。東京バレエ団を率い日本戦後バレエ史、興行史に大きな足跡を残した佐々木忠次の知られざる素顔を、内外の関係者への徹底取材をもとに明らかにする。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:10./ 396p

978-4-16-390550-1

本体 ¥1,800+税



読書と日本人(岩波新書 新赤版 1626)

津野 海太郎 著

岩波書店

「読書」という行為はいつ頃生まれたのだろうか? これからも人は本を読み続けるのだろうか? 書き手・読み手・編集者として<読書の黄金時代>を駆け抜けてきた著者が、読書の過去・現在・未来を読みとく。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:10./ 4p,272p,5p

978-4-00-431626-8

本体 ¥860+税



近くても遠い場所～一八五〇年から二〇〇〇年のニッポンへ～

木下 直之 著

晶文社

この場所の1年前、10年前、100年前の姿は? 見慣れた風景の中にある歴史の痕跡から、およそ150年の日本社会の変遷を、時空を超えて掘り起こす。「世の途中から隠されていること」の続編。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:9./ 333p

978-4-7949-6934-7

本体 ¥2,500+税



料理通異聞

松井 今朝子 著

幻冬舎

大田南畝など時代の寵児たちとの交遊、想像をかき立てられる江戸料理の数々。相次ぐ天災と混乱の時代に、料理への情熱と突出した才覚で、江戸に料亭「八百善」の名を轟かせた男の一代記。『茨城新聞』ほか連載を加筆修正。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:9./ 333p

978-4-344-02992-7

本体 ¥1,600+税



ファミリア創業者坂野惇子～「皇室御用達」をつくった主婦のソーレツ人生～

中野 明 著

中央公論新社

深窓の令嬢として育ち、商売にはまったく縁のなかった主婦・坂野惇子が作り上げた、「世の中になくてはならない」子供服メーカー、ファミリア。神戸から東京、世界へとばたいた名経営者の生涯を追う。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:9./ 253p

978-4-12-004892-0

本体 ¥1,300+税



東京湾諸島

加藤 庸二 著

駒草出版

物流島、発電基地、海上要塞、ごみ埋立地…。増殖する人工島群「東京湾諸島」。膨張する首都を支える島々の“知られざる内部”を解き明かす。全75島を掲載したMAPも収録。

日本経済新聞 2016/10/30

2016:11./ 255p

978-4-905447-72-6

本体 ¥1,800+税





転落の街<下>(講談社文庫 こ 59-27)

マイクル・コナリー 著

講談社

ホテルから転落した市議の息子は殺害されたのか自殺だったのか。背後にはロス市警の抱える積年の闇が潜んでいた。一方、絞殺事件は未曾有の連続殺人事件へと発展して…。ボッシュ・シリーズ。

毎日新聞 2016/10/01

2016:9./ 334p

978-4-06-293502-9

本体 ¥860+税



転落の街<上>(講談社文庫 こ 59-26)

マイクル・コナリー 著

講談社

絞殺体に残った血痕。DNA 再調査で浮上した容疑者は当時 8 歳の少年だった。ロス市警未解決事件班のボッシュは有名ホテルでの要人転落事件と並行して捜査を進めていくが…。ボッシュ・シリーズ。

毎日新聞 2016/10/01

2016:9./ 326p

978-4-06-293501-2

本体 ¥860+税



虹を待つ彼女

逸木 裕 著

KADOKAWA

2020 年、人工知能の研究者・工藤は、死者を人工知能化する計画に参加する。甦らせるモデルは、6 年前にテロ事件を起こして死亡した美貌のゲームプログラマー。謎に包まれた彼女に惹かれていく工藤だったが――。

毎日新聞 2016/10/01

2016:9./ 382p

978-4-04-104752-1

本体 ¥1,600+税



アメリカの黒人演説集～キング・マルコムX・モリスン他～(岩波文庫 白 26-1)

荒 このみ 著

岩波書店

自由と平等はアメリカの夢と嘘でもあることを明かす黒人の歴史。公民権運動、キング、マルコム X の闘争、ハーストンやモリスンの溢れる物語をへて、今オバマの時代まで 21 人の声を聴く。

毎日新聞 2016/10/02

2008:11./ 404p

978-4-00-340261-0

本体 ¥1,000+税



星界の報告～他一編～(岩波文庫 青 906-5)

ガリレオ・ガリレイ、山田 慶児、谷 泰 著

岩波書店

1610 年冬、ガリレオは 30 倍に拡大された星界に初めて対面する。まず月面に、そしてこれまで未知であった木星の周囲を回転する四つの惑星の運動の観測へと筒眼鏡は向けられる。

毎日新聞 2016/10/02

1976:10./ 173p

978-4-00-339065-8

本体 ¥660+税



プロット・アゲinst・アメリカ～もしもアメリカが...～

フィリップ・ロス、柴田 元幸 著

集英社

第二次大戦時に、元飛行士で反ユダヤ主義者リンドバーグが大統領になっていたら？ 7 歳の少年の目線で差別にさらされる恐怖と家族・民族・国家を描く。歴史改変長編小説。『すばる』掲載を単行本化。

毎日新聞 2016/10/02

2014:8./ 531p

978-4-08-773486-7

本体 ¥2,200+税





アメリカのデモクラシー<第1巻上>(ワイド版岩波文庫 382)

トクヴィル 著

岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第1巻上は、北アメリカの地形、人民主権原理、連邦憲法などを取り上げる。

2015:1./ 364p

978-4-00-007382-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/10/02



アメリカのデモクラシー<第1巻下>(ワイド版岩波文庫 383)

トクヴィル 著

岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第1巻下は、合衆国の政党、合衆国で多数の暴政を和らげているものなどを取り上げる。

2015:2./ 480p

978-4-00-007383-7

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/10/02



アメリカのデモクラシー<第2巻上>(ワイド版岩波文庫 384)

トクヴィル 著

岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第2巻上は、デモクラシーが合衆国における知的運動、アメリカ人の感情に及ぼす影響を考察する。

2015:3./ 282p

978-4-00-007384-4

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/02



アメリカのデモクラシー<第2巻下>(ワイド版岩波文庫 385)

トクヴィル 著

岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第2巻下は、民主的国家にこそ生じる専制政府の脅威を予言、個人の自由の制度的保障を主張する。

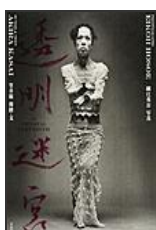
2015:4./ 327p

978-4-00-007385-1

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/10/02



透明迷宮

平凡社

世界を舞台に活躍するダンサー・振付家の笠井勲。その肉体と精神を駆使した舞踏を、巨匠・細江英公のカメラがとらえる。

2016:2./ 80p

978-4-582-27821-7

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2016/10/02



悪夢の食卓～TPP 批准・農協解体がもたらす未来～

鈴木 宣弘 著

KADOKAWA

安全性も経済発展も嘘で塗り固められたTPP、アメリカの要求に応え続ける「底なし沼」、農家所得倍增計画の欺瞞、待つのは地域創生ではなく地域壊滅——わたしたちの未来はどうなるのか

2016:6./ 191p

978-4-04-601594-5

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/10/02



安全保障政策と戦後日本 1972～1994～記憶と記録の中の日米安保～

河野 康子、渡邊 昭夫 著

千倉書房

戦後日本の安全保障政策は如何に議論されてきたのか、東大名誉教授 渡辺昭夫氏の回顧などを交え実態を論ずる。

2016:8./ 6p,212p

978-4-8051-1099-7

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2016/10/02



コーネル・ウェストが語るブラック・アメリカ～現代を照らし出す6つの魂～

コーネル・ウェスト、クリスタ・ブッシュェンドルフ 編

コーネル・ウェスト、秋元 由紀 著

白水社

常にくすぶる続ける「人種問題」の根源に迫るため、今もつとも注目される論客が6人の賢人に託して語り尽くした刺激的なアメリカ論。

2016:7./ 291p,15p

978-4-560-09249-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/10/02



九十歳。何がめでたい

佐藤 愛子 著

小学館

人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてよくわかりました。御年九十二歳、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトでしぼり出した怒りの書。『女性セブン』連載を書籍化。

2016:8./ 223p

978-4-09-396537-8

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/02



宗教を物語でほどく～アンデルセンから遠藤周作へ～(NHK 出版新書 493)

島蘭 進 著

NHK出版

宮沢賢治、トルストイ、カズオ・イシグロ、西加奈子…。近現代の童話・小説を取り上げ、「死」「弱さ」「悪」「苦難」という4つのキーワードを通して、宗教学の泰斗が宗教とは何かをやさしく解きほぐす。

2016:8./ 317p

978-4-14-088493-5

本体 ¥860+税



毎日新聞 2016/10/02



セカンドハンドの時代～「赤い国」を生きた人びと～

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ、松本 妙子 著

岩波書店

ソ連共産主義下の暮らしを生きてきた人間の声をつづる。21世紀に頭をもたげる抑圧的な国家像をとらえたインタビュー集。「戦争は女の顔をしていない」などに続く、「ユートピアの声」シリーズ5部作完結。

2016:9./ 7p,606p,15p

978-4-00-061151-0

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2016/10/02



人の樹

村田 喜代子 著

潮出版社

木と結婚する娘たち、前世が木であった男、極寒のシベリアを行軍する旧日本兵の松の木…。樹と人にまつわる不思議な物語を編んだ連作短編集。『パンプキン』掲載「人の木」を改題、加筆、修正。

2016:9./ 266p

978-4-267-02053-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/02



日の沈む国から～政治・社会論集～

加藤 典洋 著

岩波書店

「災後」と「戦後」の共存という事態は何を意味するか。この社会の新たな問題を考えるための指標を示す。『インターナショナル・ニューヨーク・タイムズ』への寄稿文の日本語原文を中心にまとめて書籍化。

2016:8./ 8p,294p

978-4-00-024529-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/10/02、東京・中日新聞 2016/10/23



幸福はなぜ哲学の問題になるのか(homo viator)

青山 拓央 著

太田出版

幸福とは何か。いかにして幸福になるか。そして、なぜ幸福になるべきか。「経験と倫理」「活動の価値づけ」「実在と規範」「残された時間」などを取り上げ、幸福について考えた哲学の本。

2016:9./ 267p

978-4-7783-1535-1

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/10/02、読売新聞 2016/10/23



言葉について

中村 稔 著

青土社

「私たちは言葉に躓く。言葉が私たちを連れ込むのは平坦な道ではない——」読売文学賞、高村光太郎賞受賞の詩人による高い文学性と人生哲学を兼ね備えた最新詩集。前人未到の新境地。

2016:9./ 86p

978-4-7917-6951-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/03



家族八景 改版(新潮文庫)

筒井 康隆 著

新潮社

幸か不幸か生まれながらのテレパシーをもって、目の前の人の心をすべて読みとってしまう可愛いお手伝いさんの七瀬一彼女は転々として移り住む八軒の住人の心にふと忍び寄ってマイホームの虚偽を抉り出す。

2002:10./ 282p

978-4-10-117101-2

本体 ¥520+税



毎日新聞 2016/10/09



ハムレット 改版(新潮文庫)

シェイクスピア、福田 恒存 著

新潮社

城に現われた父王の亡霊から、その死因が叔父の計略によるものであるという事実を告げられたデンマークの王子ハムレットは、固い復讐を誓う。道徳的で内向的な彼は、日夜狂気を装い懷疑の憂悶に悩みつつ、ついに復讐を遂げるが自らも毒刃に倒れる一。

1991:1./ 255p

978-4-10-202003-6

本体 ¥460+税



毎日新聞 2016/10/09



二十歳の原点 改版(新潮文庫)

高野 悦子 著

新潮社

独りであること、未熟であることを認識の基点に、青春を駆けぬけた一女子大生の愛と死のノート。自ら命を絶った悲痛な魂の証言。

2003:5./ 240p

978-4-10-118301-5

本体 ¥490+税



毎日新聞 2016/10/09



時を刻む湖～7万枚の地層に挑んだ科学者たち～(岩波科学ライブラリー 242)

中川 毅 著

岩波書店

若狭湾岸の湖底から発見された土の縞模様が、過去 5 万年の時を測る「世界の標準時計」になった。20 余年前に若い研究者が描いた夢は、どのように花開いたか。国境を越えた友情、ライバルとの戦い、挫折と栄光を当事者が語る。

2015:9./ 4p,122p

978-4-00-029642-7

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/09



「世界史」の世界史(MINERVA 世界史叢書 総論)

秋田 茂、永原 陽子、羽田 正、南塚 信吾、三宅 明正、桃木 至朗 著

ミネルヴァ書房

人類が各地域・時代に描いてきた世界像を点検したのち、19 世紀以降西欧で作られてきた世界史を、近年の研究成果とともに批判的に検証し、今後われわれが作るべき新たな世界史像を探究する。

2016:9./ 8p,427p,11p

978-4-623-07111-1

本体 ¥5,500+税



毎日新聞 2016/10/09



平田篤胤～交響する死者・生者・神々～(平凡社新書 819)

吉田 麻子 著

平凡社

新資料から、現代にも通ずる日本独自の豊かな死生観を探究した、江戸後期を代表する思想家としての新たな篤胤像を描き出す意欲作。

2016:7./ 255p

978-4-582-85819-8

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/10/09



人間力とは何か～3・11 を超えて～

東日本国際大学東洋思想研究所 編

論創社

東日本大震災から満 5 年。心の復興と共に、いま人間力の深化が求められている。東日本国際大学・いわき短期大学の人間力育成講座及び孔子祭での記念講演の中から、第一級の識者による全 9 編の熱きメッセージを紹介する。

2016:6./ 233p

978-4-8460-1541-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/09



丸山眞男の敗北(講談社選書メチエ 629)

伊東 祐史 著

講談社

丸山眞男は敗戦を機に、過去を乗り越える思想を生み出したが、戦後という時代に立ち向かうことができず、思想的に敗北したのではないか。丸山の人生をたどり、彼の思想を追いながら、「丸山眞男の敗北」について明らかにする。

2016:8./ 265p

978-4-06-258632-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/10/09



こども服の歴史

エリザベス・ユウイング、能澤 慧子、杉浦 悦子 著

東京堂出版

西洋の「こどもと衣服」の発展と変遷に光を当てた幅広い洞察を極めた名著を邦訳。こども服に関する詳細な記録にとどまらず、その時代のこども観、教育観、各時代の社会のあり方までを豊富な資料をもとに記述。図版も多数掲載。

2016:8./ 300p

978-4-490-20944-0

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/10/09



レジリエンス入門～折れない心のつくり方～(ちくまプリマー新書 262)

内田 和俊 著

筑摩書房

人生には心が折れやすくなる時期がある。心の自然治癒力＝「レジリエンス」を高め、たくましく生きる方法を伝える。

2016:9./ 195p

978-4-480-68967-2

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/10/09



不潔都市ロンドン～ヴィクトリア朝の都市浄化大作戦～

リー・ジャクソン 著

河出書房新社

19 世紀、ヴィクトリア朝ロンドンの衝撃的な不潔さに、人々はどのように挑んだのか?知られざる人間ドラマを通して描く!

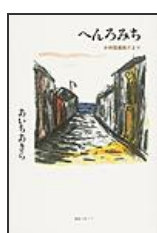
2016:9./ 413p

978-4-309-22682-8

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2016/10/09



へんろみち～お四国遍路だより～

あいち あきら 著

編集工房ノア

2010 年 5 月 12 日、第一番霊山寺を出発。6 月 30 日、第八十八番大窪寺に到着。ふり返れば想像をはるかにこえる厳しい道のりで…。お四国八十八カ所巡礼、49 日間の歩きへんろの記録。

2016:8./ 166p

978-4-89271-254-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/09



修行と信仰～変わるからだ変わるころ～(岩波現代全書 094)

藤田 庄市 著

岩波書店

修行をして到達した境地とはいかなるものなのだろうか? 神道・仏教から教派神道まで、宗派を問わず信仰の現場におもむいて荒行に参加する体験を通して、日本人にとっての「聖なるもの」のありかを追求する。

2016:9./ 10p,271p

978-4-00-029194-1

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/10/09



昔ばなしの謎～あの世とこの世の神話学～(角川ソフィア文庫 J118-1)

古川 のり子 著

KADOKAWA

ときをこえて繰り返す物語に共通の世界観とは-。「桃太郎」「浦島太郎」「一寸法師」…。絵本で親しんだ昔ばなしのもととなった各地の伝承から、昔ばなしが本来もっていた豊かな意味を明らかにする。

2016:9./ 268p

978-4-04-400080-6

本体 ¥880+税



毎日新聞 2016/10/09



フランス史【中世】<1>

ジュール・ミシュレ 著

論創社

大著『フランス史』中世編の全訳。緻密な資料検証の積み重ねでアナール学派の源流となるとともに、ヴィクトル・ユゴーやバルザックを思わせる筆力で中世フランスを蘇らせる。従来の抄訳版に対し、中世編に限り全文を訳出。全 6 巻。

2016:9./ 516p

978-4-8460-1554-1

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2016/10/09



小さな出版社の作り方

永江 朗 著

猿江商會

出版業界を見つめ続けてきた永江朗が、小さな出版社をはじめた 11 社、12 人の人びとにロングインタビューを敢行。右肩下がりの時代に、あえて「出版社をつくる」ことを選んだ彼らの素顔を描く。

2016:9./ 234p

978-4-908260-06-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/10/09



世界をたべよう!旅ごはん

杉浦 さやか 著

祥伝社

飲み過ぎ禁物のチェコビール、大分で真剣勝負のバイキング…。世界 24 カ国、国内 21 軒で味わったたくさんのおいしいやびつくり、しあわせな旅ごはんをイラストとともに紹介。『OZ magazine』連載をもとに書籍化。

2016:10./ 143p

978-4-396-61579-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/10/09



鎌倉佐弓全句集

鎌倉 佐弓 著

沖積舎

木枯しにゆれる一葉に夕日の輪 さびしくて海月は海に入りっぱなし 初期句集「夕日の輪」、未刊句集「雲の領分」を含む全 7 句集、全 1878 句を収めた句集。年譜も収録。

2016:8./ 365p

978-4-8060-1688-5

本体 ¥7,000+税



毎日新聞 2016/10/10



母型論 新版

吉本 隆明 著

思潮社

言語にとって美とはなにか、心的現象論、共同幻想論。このもつとも重要な 3 つの仕事のひとつに統合して捉え返す。吉本理論の中心をなす到達点と新たな出発点を世界史的視点から大きく開示する。95 年学研刊の新版。

2004:4./ 263p

978-4-7837-1619-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/16



麻雀放浪記<1> 青春篇(文春文庫)

阿佐田 哲也 著

文芸春秋

戦後まもなくの上野ドヤ街を舞台に、坊や哲、ドサ健、上州虎、出目徳ら博打打ちが、人生を博打に賭けてイカサマの限りを尽くして闘う「阿佐田哲也麻雀小説」の最高傑作。

2007:10./ 369p

978-4-16-732304-2

本体 ¥670+税



毎日新聞 2016/10/16



うらおもて人生録 改版(新潮文庫 い-21-2)

色川 武大 著

新潮社

優等生がひた走る本線のコースばかりが人生じゃない。いくたびか人生の裏街道に踏み迷い、勝負の修羅場もぐり抜けてきた著者が、愚かしくて不格好な人間が生きていくうえでの魂の技術とセオリーを静かに語る。

2014:7./ 404p

978-4-10-127002-9

本体 ¥630+税



毎日新聞 2016/10/16



高群逸枝全集<第1巻> 母系制の研究

高群逸枝、橋本憲三 著
理論社
毎日新聞 2016/10/16

1991:6./ 633p
978-4-652-08101-3
本体 ¥4,800+税



柳田国男全集<12>(ちくま文庫)

柳田国男 著
筑摩書房
毎日新聞 2016/10/16

1990:3./ 699p
978-4-480-02412-1
本体 ¥1,097+税



評論ウィリアム・モリス

蛭川 久康 著
平凡社
デザイン・詩・社会主義に巨大な功績を残した万能人モリス。その華やかな生涯と多彩な仕事の全てを概観した、本邦初の書き下し評伝。

2016:6./ 547p
978-4-582-83731-5
本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2016/10/16



帝都東京を中国革命で歩く

譚 美 著
白水社
(明治維新)と(中国革命)が交錯した早稲田、本郷、そして神田……街歩きで見つけた帝都東京の新たな相貌。カラー図版多数。

2016:7./ 246p
978-4-560-09250-7
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/10/16



ヤクザになる理由(新潮新書 678)

廣末 登 著
新潮社
グレない人、グレたが更生した人、グレ続けてヤクザになった人。人生の分岐点はどこにあるのか。元組員たちの証言から、その人生を丹念に辿り、家庭、学校、仲間、地域、個人的資質等が与える影響を浮かび上がらせる。

2016:7./ 234p
978-4-10-610678-1
本体 ¥760+税



毎日新聞 2016/10/16



マンガじんぐるじゃむっ〜保育の世界がまるっとわかる笑〜

おおえだ けいこ、汐見 稔幸 著
小学館
保育でもっとも大事なことは、困ったな、と思ったときにみんなで懸命に考えること。現場の事例をあげて、「こうしたら合理的に解決していける」という考え方を、コミックタッチで紹介する。『エデュカーレ』掲載を加筆・修正。

2016:8./ 162p
978-4-09-388510-2
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2016/10/16



犯罪小説集

吉田 修一 著

KADOKAWA

人間の深奥に潜む、弱く、歪んだ心。どうしてもなく罪を犯してしまった人間と、それを取り巻く人々の業と哀しみを描ききった珠玉の 5 篇。2007 年『悪人』、14 年『怒り』、そして……著者最高傑作の誕生。

2016:10./ 331p

978-4-04-104738-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/10/16



「他者」の倫理学～レヴィナス、親鸞、そして宇野弘蔵を読む～

青木 孝平 著

社会評論社

私の「自我」をはるかに超越して、向こう側から不意に訪れる「他者」とはいったい何ものなのか。レヴィナス、親鸞、宇野弘蔵の思想をクロスオーバーさせ、あらゆる知見を総動員してこの問いに答えをだす。

2016:9./ 351p

978-4-7845-1838-8

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2016/10/16



『神曲』とは何か～「地獄篇」から「天国篇」まで文学史上最大の叙事詩を読み解く～(別冊宝島 2502)

宝島社

ミケランジェロ、ロダン、ボッティチェリなど巨匠たちが体現する「神曲」の世界を紹介するとともに、「地獄篇」「煉獄篇」「天国篇」をそれぞれひととき、文学史上最大の叙事詩「神曲」の謎に迫る。

2016:9./ 127p

978-4-8002-6111-3

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/16



黄金有情～金工のものがたり～

大角 幸枝 著

里文出版

金属が織り成す美の世界は、人類が手に入れた最も恒久的な表現世界のひとつであると思う。金工の美学とその魅力を語り、工芸の明日を模索する創作と思考の記録。作品のカラー写真と解説も掲載。

2016:9./ 350p

978-4-89806-444-3

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/10/16



ラ・タウロマキア<闘牛術>ロス・ディスパラテス～視覚表現史に革命を起した天才ゴヤの第三・四版画集～

谷口 江里也、フランシスコ・デ・ゴヤ 著

未知谷

視覚表現史に革命を起した天才画家フランシスコ・デ・ゴヤの第三・四版画集。闘牛という芸術を画題とした「ラ・タウロマキア<闘牛術>」と人間の行動の不可解さを描いた「ロス・ディスパラテス」の全作品を解説とともに収録。

2016:10./ 174p

978-4-89642-510-9

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/10/16



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

国家、貨幣、企業……虚構が他人との協力を可能にし、文明をもたらした!ではその文明は、人類を幸福にしたのだろうか?現代世界を鋭くえぐる、40 カ国で刊行の世界的ベストセラー!

2016:9./ 267p

978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/10/16、朝日新聞 2016/10/23、日本経済新聞 2016/10/30



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

近代世界は帝国主義・科学技術・資本主義のフィードバック・ループによって、爆発的に進歩した!ホモ・サピエンスの過去、現在、未来を俯瞰するかつてないスケールの大著、ついに邦訳!

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/10/16、朝日新聞 2016/10/23、日本経済新聞 2016/10/30



真実の久女～悲劇の天才俳人 1890-1946～

坂本 宮尾 著

藤原書店

高浜虚子の『ホトギス』同人除名問題などから、根拠のない“伝説”が横行していた悲劇の人、杉田久女。その珠玉の俳句作品を丁寧に鑑賞し、伝説を排した実像に迫る。

2016:9./ 387p

978-4-86578-082-6

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2016/10/17



街道をゆく<40> 台湾紀行(朝日文庫)

司馬 遼太郎 著

朝日新聞出版

「国家とはなにか」をテーマに、1993、94 年に訪れた台湾を描き長編となった「台湾紀行」。当時の台湾は、蒋家の支配が終了し、急速に民主化がすすみ、歴史が見直されようとしていた。著者は台北、高雄、台東、花蓮などを訪ねる。

2009:5./ 431p,8p

978-4-02-264494-7

本体 ¥940+税



毎日新聞 2016/10/23



統合の終焉～EU の実像と論理～

遠藤 乾 著

岩波書店

ポスト統合を生きるヨーロッパをどう捉えるか。EU の形成過程やその内的なダイナミズムの分析、統合の思想的検討などを通じて、ヨーロッパ統合のもつ豊かな含意を引き出す。気鋭の国際政治学者が EU の実像と論理に迫る。

2013:4./ 20p,473p,15p

978-4-00-025899-9

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2016/10/23



「再国民化」に揺るぐヨーロッパ～新たなナショナリズムの隆盛と移民排斥のゆくえ～(龍谷大学社会科学研究所叢書 第110巻)

高橋 進、石田 徹 編

法律文化社

西欧デモクラシーの問題点と課題を提示し、国家や国民の再編・再定義が進む西欧各国における「再国民化」の諸相を分析する。

2016:3./ 6p,229p

978-4-589-03737-4

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2016/10/23



欧州の危機～Brexit ショック～

庄司 克宏 著

東洋経済新報社

欧州債務危機、難民への対応、イギリスの離脱決定と、EU は極めて困難な状況に直面している。欧州統合の歴史を踏まえ、「2 速度式欧州」「アラカルト欧州」をキーワードとして、EU が抱える課題の行方を読み解く。

2016:9./ 254p

978-4-492-44435-1

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/10/23



四人の交差点(CREST BOOKS)

トミ・キンヌネン、古市 真由美 著

新潮社

助産師として強く生きた祖母。写真技師だった奔放な母。物づくりに長け、若くして亡くなった父。それぞれの声で語られる喜びと痛みの記憶は、やがて一つの像を結び、ある秘密を照らし出す…。「家」をめぐる長篇小説。

2016:9./ 380p

978-4-10-590130-1

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/10/23



人材覚醒経済

鶴 光太郎 著

日本経済新聞出版社

一億総活躍、同一労働同一賃金、性格スキル…。働き方だけで日本は変わる！成長のアキレス腱となった無限定正社員システム。その問題点を解決できるのはジョブ型正社員だけ。実力派経済学者が労働改革の具体策を提示する。

2016:9./ 311p

978-4-532-35702-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/10/23



新聞力〜できる人はこう読んでいる〜(ちくまプリマー新書 263)

齋藤 孝 著

筑摩書房

記事を切り取り、書き込み、まとめる。身体ごとで読んで、社会を生き抜くための問題解決型の学力、新聞力を身につけよう。

2016:10./ 175p

978-4-480-68968-9

本体 ¥780+税



毎日新聞 2016/10/23



日本浮世絵切手総図鑑(切手ビジュアルアート・シリーズ)

稲垣 進一 著

日本郵趣出版

切手は小さな窓。その窓にはまった浮世絵。切手収集ブームをもたらした「見返り美人」を先頭に、歌麿・写楽・広重などの浮世絵切手 300 余点を歴史順に編集し、オールカラーで掲載する。

2016:10./ 103p

978-4-88963-800-4

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/10/23



脂肪の塊/ロンドリ姉妹〜モーパッサン傑作選〜(光文社古典新訳文庫 KA モ 2-2)

モーパッサン 著

光文社

人間のもつ醜いエゴイズム、好色さを痛烈に描いた「脂肪の塊」、イタリア旅行で出会った娘との思い出を綴った「ロンドリ姉妹」など、モーパッサンの初期作品からヴァリエティに富む中・短篇全 10 作を収録。

2016:9./ 334p

978-4-334-75339-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2016/10/23



クモの糸でバイオリン(岩波科学ライブラリー 254)

大崎 茂芳 著

岩波書店

「クモの糸にぶら下がる」など数多の挑戦を経て、クモの糸でバイオリンの弦をつくることに。暗中模索、数年がかりで完成した弦が、世界的な反響を巻き起こす。たゆまぬ好奇心が生んだ成功物語のすべてをレポートする。

2016:10./ 7p,114p,2p

978-4-00-029654-0

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/23



新・論理考究～論理がはじめてわかる～

本橋 信義 著

幻冬舎メディアコンサルティング

「論理とは何か?」という問題の答えを提示。対象論理とメタ論理の違いを明らかにしたうえで、メタ論理としての日常論理を用いて対象論理を作る方法を説明する。

2016:9./ 191p

978-4-344-99473-7

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/10/23



台湾少女、洋裁に出会う～母とミシンの 60 年～

鄭 鴻生 著

紀伊國屋書店出版部

『主婦之友』『婦人倶楽部』…。日本統治下の 1930 年代の台湾で日本の婦人雑誌に魅了された少女は、親の反対を押しきって洋装店の見習いとなる。やがて台南に自ら洋裁学校を開校し…。母が息子に語った“小さな近代史”。

2016:10./ 268p

978-4-314-01143-3

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/10/23



文学ご馳走帖(幻冬舎新書 の-2-1)

野瀬 泰申 著

幻冬舎

志賀直哉「小僧の神様」のすし、田山花袋「田舎教師」の氷…。文芸作品を手がかりに、江戸、明治、大正、昭和と、日本人の食文化がどう変遷を遂げてきたかを浮き彫りにする。『日本経済新聞』日曜版連載を改題し、加筆・改訂。

2016:9./ 198p

978-4-344-98431-8

本体 ¥780+税



毎日新聞 2016/10/23



もう日は暮れた(徳間文庫)

西村望 著

徳間書店

毎日新聞 2016/10/23

1989:10./ 381p

978-4-19-568892-2

本体 ¥505+税



筒井富栄全歌集

筒井 富栄 著

六花書林

加藤克巳門下としてモダニズムの系譜に連なり、重き時代の抵抗としての<軽短歌>を提唱。あざやかな口語、軽やかな詩想を追求した筒井富栄の歌業の集大成。歌人論、息子である村田馨による解題、年譜も収録。

2016:10./ 465p

978-4-907891-20-6

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/10/24



真青～抜井諒一句集～

抜井 諒一 著

文学の森

手袋の白き敬礼初列車 立春を口実に酌む昼の酒 初夏の森生れたての影ばかり コスモスのひとつは蝶となりにつけり 焚火から目を逸らさずに話しをり 自然から得た直感を逃さずに、心の動きを表現する著者の第1句集。

2016:10./ 173p

978-4-86438-568-8

本体 ¥1,667+税



毎日新聞 2016/10/24



シェイクスピアはわれらの同時代人 新装版

ヤン・コット、蜂谷昭雄 著

白水社

シェイクスピアとわれわれの同時代性を見事に結びつけ、大胆な解釈で展開する、危険な魅力に満ちた画期的演劇論。

2009:7./ 370p

978-4-560-08018-4

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2016/10/30



思い出トランプ(新潮文庫)

向田 邦子 著

新潮社

浮気の相手であった部下の結婚式に、妻と出席する男。おきやんで、かわうそのような残忍さを持つ人妻…。日常生活の中で、誰もが持っている弱さや、狡さ、後ろめたさを人間の愛しさとして捉えた 13 編を収録する。

1983:5./ 225p

978-4-10-129402-5

本体 ¥460+税



毎日新聞 2016/10/30



江戸看板図聚

三谷 一馬、三谷 勲彦 編

三谷 一馬 著

中央公論新社

錦絵、浮世草紙、黄表紙等々、豊富な資料をもとに描かれた看板のいろいろ。元禄から昭和まで庶民の生活に寄り添いつつ、伝統文化を継承して芸術品に仕上げた三谷一馬の作品を集めた図聚。江戸時代の看板に纏わる史料も収録。

2013:2./ 288p

978-4-12-004470-0

本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2016/10/30



日本戯曲大事典

白水社

明治初期より現代に至るおよそ 150 年間に発表・上演された新作戯曲約 1 万作品について、約 1000 名の劇作家別に紹介する。新作文楽、新作能・狂言、レビュー、人形劇、高校演劇などについてはジャンル別に解説。

2016:9./ 792p,221p

978-4-560-09410-5

本体 ¥24,000+税



毎日新聞 2016/10/30



翻訳のダイナミズム～時代と文化を貫く知の運動～

スコット・L.モンゴメリ、大久保 友博 著

白水社

古代ギリシアの科学・文化はいかに中世アラビア・近代日本へと継承されたのか。叡知の伝播を壮大に描く前人未踏の《翻訳の世界史》

2016:9./ 441p,59p

978-4-560-09510-2

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2016/10/30



独仏「原発」二つの選択(筑摩選書 0136)

篠田 航一、宮川 裕章 著

筑摩書房

フクシマ・ショック以降、世界の原発政策は揺れている。激しい対立と軋轢、直面するジレンマ。国民の選択が極端に分かれた隣国、ドイツとフランスの最新ルポ。

2016:9./ 254p

978-4-480-01641-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/10/30



氷の轍

桜木 紫乃 著

小学館

釧路市の海岸で男性の他殺死体が発見された。北海道警釧路方面本部刑事第一課の大門真由は、被害者の自宅で北原白秋の詩集「白金之獨樂」を発見し…。『STORY BOX』連載に書き下ろしを加え単行本化。

2016:9./ 349p

978-4-09-386450-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/10/30



ごはんの時間～井上ひさしがいた風景～

井上 都 著

新潮社

楽しかった子供時代。父と母の離婚。和解出来ぬまま亡くなった父…。井上ひさしの長女である著者が、あのごはん、このおかずの懐かしい記憶とともに綴るエッセイ集。『毎日新聞』連載を書籍化。

2016:9./ 173p

978-4-10-350281-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/10/30



憲法と君たち 復刻新装版

佐藤 功 著

時事通信出版局

人間の歴史の中で、憲法は何のために、どのようにして作られてきたのか。そして、なぜ大切にしなければならないのか。憲法制定に関わった若き憲法学者が、憲法の本質をやさしく語り掛けるように解説した名著の復刻新装版。

2016:10./ 5p,197p

978-4-7887-1491-5

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/10/30